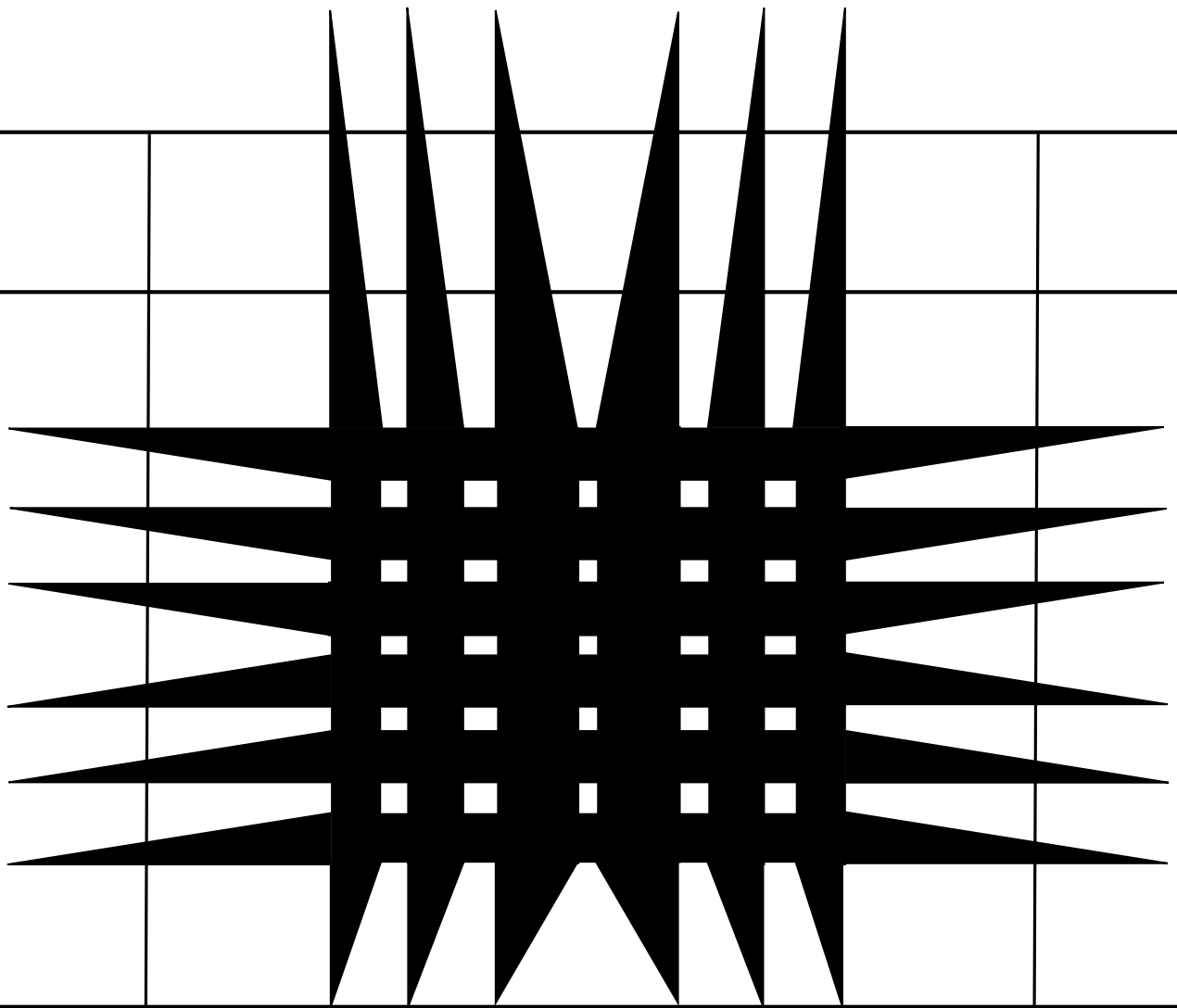


社会教育要覧

No.68



令和3年度 川崎市教育委員会 2021

令和3年度
社会教育要覧 No.68
 (令和3年度活動計画)・(令和2年度活動報告)
 も く じ

計画編 (令和3年度活動計画)	頁	報告編 (令和2年度活動報告)	頁
I 川崎市の概要	1	I 審議会・協議会等の活動	47
1. 市政概要	1	1. 活動内容	47
2. 教育施設設置状況	1	2. 審議会・協議会等委員名簿	53
3. 人口の推移	1		
II 機構と財政	2	II 令和2年度事業の評価と課題	58
川崎市社会教育関係機構図	2	1. 生涯学習推進課	58
令和3年度社会教育関係予算(目別)比較表	3	2. 文化財課	63
III 令和3年度川崎市生涯学習推進活動方針	4	3. 図書館・図書館分館	64
I. 基本方針	4	4. 教育文化会館・市民館・分館	66
II. 施策の方向性	4	5. ふれあい館(社会教育関連施設)	68
III. 令和3年度の主な事業	5	6. 視聴覚センター(総合教育センター内)	69
1. いきいきと学び、活動するための環境をつくる	5	7. 博物館・文化施設	70
2. 家庭・地域の教育力を高める	6	(1) 日本民家園	
3. 文化財の保護活用と魅力ある博物館づくりを進める	6	(2) 青少年科学館(かわさき宙と緑の科学館)	
IV. 教育基本方針資料	8	(3) 市民ミュージアム	
同和教育に対する基本的な考え方	8	(4) 岡本太郎美術館	
川崎市外国人教育基本方針	9	(5) 大山街道ふるさと館	
IV 令和3年度の重点施策及び事業内容	13	8. 公益財団法人川崎市生涯学習財団	73
1. 生涯学習推進課	13	9. 有馬・野川生涯学習支援施設(アリーノ)	74
2. 文化財課	17	10. 市民スポーツ室	75
3. 図書館・図書館分館	19	11. スポーツ施設	76
4. 教育文化会館・市民館・分館	20	(1) とどろきアリーナ	
5. ふれあい館(社会教育関連施設)	24	(2) カルッツかわさき	
6. 視聴覚センター(総合教育センター内)	25	(3) ~ (7) スポーツセンター	
7. 日本民家園	26	(8) 石川記念武道館	
8. 青少年科学館(かわさき宙と緑の科学館)	27	12. 青少年教育施設	79
9. 市民ミュージアム	28	(1) 青少年の家	
10. 岡本太郎美術館	29	(2) 八ヶ岳少年自然の家	
11. 大山街道ふるさと館	30	(3) 黒川青少年野外活動センター	
12. 東海道かわさき宿交流館	31	(4) 子ども夢パーク	
13. 公益財団法人川崎市生涯学習財団	31	III 社会教育関係団体	81
14. 有馬・野川生涯学習支援施設(アリーノ)	33	1. PTA(川崎市PTA連絡協議会)	81
15. 市民スポーツ室(市民文化局)	34	2. 女性団体(川崎市地域女性連絡協議会)	82
16. とどろきアリーナ	37	3. 青少年団体	83
17. カルッツかわさき	38	4. 文化団体	84
18. 川崎市スポーツセンター	39	5. スポーツ団体	85
19. 石川記念武道館	43	IV 社会教育関係資料	86
20. 青少年の家	44	1. 図書館利用状況及び蔵書冊数	86
21. 八ヶ岳少年自然の家	44	2. 社会教育施設利用状況	87
22. 黒川青少年野外活動センター	45	3. 学校施設開放校一覧表	108
23. 子ども夢パーク	46	4. 市内所在指定文化財一覧	111
		5. 施設一覧	120

計 画 編

(令和3年度活動計画)

I 川 崎 市 の 概 要

1. 市政概要

川崎市は、神奈川県北東部に位置し、市域の大部分が平坦で北は多摩川を境として東京都と接し、南西部はその大半が丘陵をなし横浜市に接している。南東部は東京湾に面し、東西に細長い地形となっており、令和3年4月1日現在では人口は1,539,946人、面積は144.35k㎡となっている。

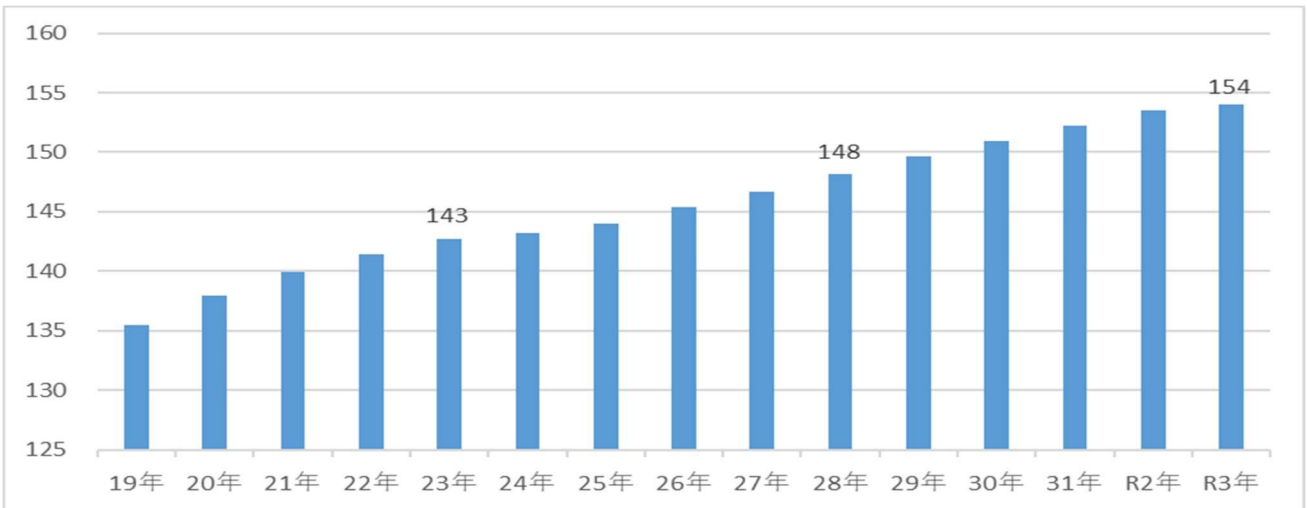
わが国有数の工業都市として発展してきたが、近年は研究開発の拠点都市として臨海部にイノベーション企業の誘致を進めるとともに、2021年の東京オリンピック・パラリンピックを「誰も置きざりにされないまち」づくりの契機とするため、パラムーブメントを提唱し取り組みを進めている。

2. 教育施設設置状況

区分	全 市	川 崎 区	幸 区	中 原 区	高 津 区	宮 前 区	多 摩 区	麻 生 区
人 口	1,539,946	232,560	170,871	264,684	234,436	233,842	222,510	181,043
世 帯 数	752,694	124,105	80,219	136,078	114,544	103,032	114,644	80,072
小 学 校	114	20	13	19	15	17	14	16
中 学 校	52	11	5	8	5	8	7	8
高 等 学 校	5	1	2	1	1			
特別支援学校	4	2		1	1			
社会教育 関連施設	48	教育文化 会館 田島分館 大師分館 川崎図書館 田島分館 大師分館 川崎市スポー ツ・文化総合 センター ふれあい館 東海道かわさ き宿交流館	幸市民館 日吉分館 幸図書館 日吉分館 幸スポーツ センター 石川記念 武道館	中原市民館 中原図書館 市民ミュージ アム とどろき アリーナ 生涯学習 プラザ	高津市民館 橘分館 高津図書館 橘分館 大山街道 ふるさと館 高津スポー ツ セ ン タ ー 視聴覚 センター (総合教育セ ンター) 地名資料室 子ども夢 パーク	宮前市民館 菅生分館 宮前図書館 宮前スポーツ セ ン タ ー 有馬・野川生涯 学習支援施設 青少年の家	多摩市民館 多摩図書館 菅閲覧所 日本民家園 青少年科学館 岡本太郎 美術館 川崎市多摩 スポー ツ セ ン タ ー 藤子・F・ 不二雄 ミュージアム	麻生市民館 岡上分館 麻生図書館 柿生分館 麻生スポー ツセンター 黒川青少年 野外活動 センター 市外： 長野県富士 見町 八ヶ岳少年 自然の家

※ 太字は教育委員会が直接所管している施設です。

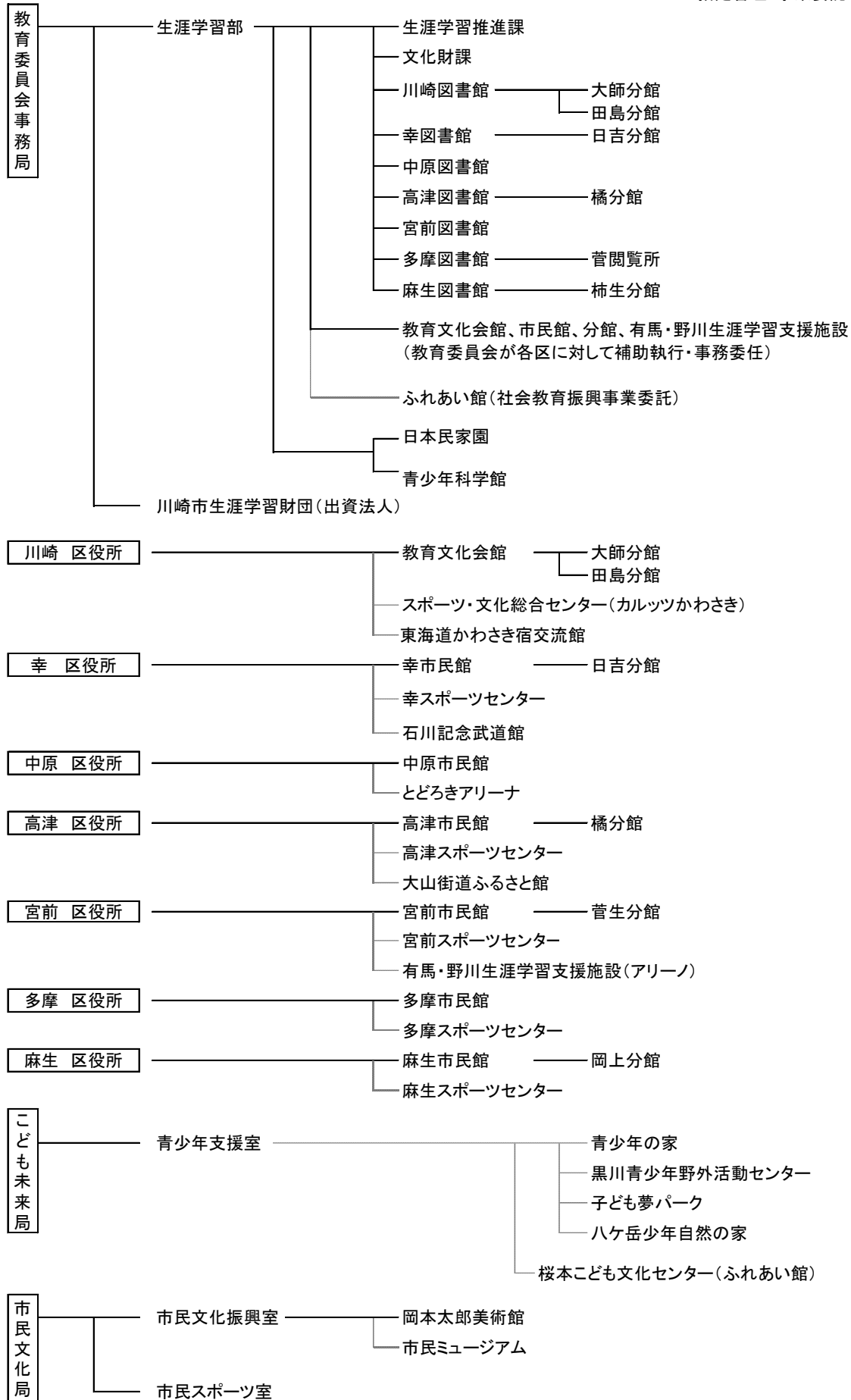
3. 人口の推移 (単位: 万人)



注) 人口統計は各年とも4月1日現在

II 機構と財政

指定管理・事業委託



(令和3年4月1日現在)

令和3年度 川崎市社会教育関係予算（目別）比較表

単位：千円

科 目	当 初 予 算			
	令和3年度	令和2年度	比較増減	増△減率
教 育 費	114,131,374	101,194,431	12,936,943	12.8
社 会 教 育 費	3,335,723	3,017,766	317,957	10.5
社会教育総務費	1,119,824	1,107,625	12,199	1.1
社会教育振興費	231,416	230,096	1,320	0.6
文化財保護費	724,623	152,452	572,171	375.3
教育文化会館・市民館費	29,035	320,709	▲ 291,674	▲ 90.9
図 書 館 費	756,273	747,880	8,393	1.1
博 物 館 費	474,552	459,004	15,548	3.4
教 育 施 設 費	15,949,524	9,808,749	6,140,775	62.6
社会教育施設整備費	575,949	0	575,949	-
社会教育関係予算合計	3,911,672	3,017,766	893,906	29.6

Ⅲ 令和3年度川崎市生涯学習推進活動方針

I 基本方針

「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く」と定められた教育プランの基本理念を受け、民主主義の精神にのっとり、平和と基本的人権を尊重し、市民が自ら考え学びを創造するとともに、高め合いながらその成果を適切に活かすことのできる、豊かで活力のある社会の実現を目指します。

II 施策の方向性

1 いきいきと学び、活動するための環境をつくる

市民の自主的な学びの機会を提供し、地域づくりに繋がる学びや、学びを通じた出会いを促進するとともに、地域における生涯学習の担い手を育成していきます。

社会教育施設について市民サービスの向上に向けた取組を進めるとともに、学校施設の有効活用などを推進し、市民の学びの場の充実を図ります。

2 家庭・地域の教育力を高める

各家庭における教育や、地域による子どもや若者の育ちを支える取組を支援するとともに、地域の様々な大人が子どもたちの学習や体験をサポートする仕組みづくりを進めることによって、大人も子どもも学び合い、育ち合うための環境づくりや、子どもたちが地域の一員として夢や希望を持って豊かに育つことができる環境づくりに取り組んでいきます。

子どもや各家庭を取り巻く厳しい社会環境を踏まえ、家庭教育の支援や地域全体で子どもの育ちを支える仕組みづくりの重要性が高まっていることから、これまで各種事業を受講できなかった家庭の方々が、家庭教育の重要性に気づき、学びを深める機会や場の提供の一つの手段として、企業等へ出向いて講座を開催するというような企業等との連携による家庭教育の推進に力を入れていきます。

また、「地域の寺子屋事業」のさらなる拡充を目指すとともに、子ども会議や国の示す「地域学校協働本部」の役割を兼ねる地域教育会議の活動の充実に取り組み、子ども達の地域での活動や、地域の大人との関係づくりを促進します。

3 文化財の保護活用と魅力ある博物館づくりを進める

「川崎市文化財保護活用計画」に基づき、平成29年12月に運用を開始した「川崎市地域文化財顕彰制度」の仕組みも活用しながら、文化財の保護・活用を推進します。

博物館施設「日本民家園」及び「かわさき宙と緑の科学館」の博物館活動の充実により、各施設のさらなる魅力向上を図り、本市の魅力として発信します。さらに、青少年科学館開館50周年に伴う記念事業や関連イベント等、年間を通じた様々な取組を推進します。

また、平成27年3月に市内初の国史跡に指定された橘樹官衙遺跡群^{たちばなかんがいせきぐん}について、国史跡橘樹官衙遺跡群整備基本計画に基づき、短期計画第1期の遺構整備、史跡整備等を推進します。

Ⅲ 令和3年度の主な事業

() 内の額は前年度予算額

1 いきいきと学び、活動するための環境をつくる	1,606,984千円(1,321,106千円)
(1) 自ら学び、活動するための支援の充実	869,348千円 (794,357千円)
ア 社会教育振興事業	54,651千円 (46,477千円)
●地域人材の育成や活動支援事業の実施 市民による主体的かつ持続可能な地域の学びの仕組みを検討	
●寺子屋コーディネーターの養成(再掲:「地域の寺子屋」事業費を含む。)	
●社会参加・共生推進学習事業の実施 識字学習活動、社会人学級、障がい者社会参加学習活動他	
●市民自治基礎学習事業の実施 平和・人権・男女平等推進学習、シニアの社会参加支援事業、家庭・地域教育学級、市民館保育活動他	
●市民学習・市民活動活性化学習事業の実施 市民自主学級・自主企画事業、市民エンパワーメント研修、学習情報提供・学習相談事業他	
●市民・行政協働・ネットワーク学習事業の実施 課題別連携事業、各行政区・中学校区地域教育会議推進事業(再掲:地域における教育活動の推進事業費を含む。)	
●社会や地域のニーズに対応した学習事業の実施 地域コミュニティ交流・学習事業、現代的課題学習事業他	
●視聴覚教材の活用等学習環境整備事業の実施(2,305千円 ※総合教育センター費)	
●大学等高等教育機関との連携促進	
イ 図書館運営事業	717,890千円 (747,880千円)
●多様な市民ニーズに応え、市民の課題解決に役立つために、多様な図書館資料を収集・提供	
●来館困難者や視覚障害者等への支援サービス実施	
●レファレンスの向上やインターネットやICTの活用	
●関係機関や学校図書館との連携促進	
(2) 生涯学習環境の整備	737,636千円(526,749千円)
ア 生涯学習施設の環境整備事業	593,167千円 (383,907千円)
●既存施設(労働会館)を活用した「(仮称)川崎市立労働会館・川崎市川崎市民館管理運営計画」策定に向けた取組や、実施設計 など	
●地域の身近な市民活動拠点として、学校施設の更なる有効活用を促進	
●鷺沼駅前地区市街地再開発事業に伴う宮前市民館・図書館の移転・整備に向けた「(仮称)新しい宮前市民館・図書館管理運営計画」の策定に向けた取組や、基本設計 など	
●老朽化した社会教育施設の維持補修 など	
イ 社会教育関係団体等への支援・連携事業	144,469千円(142,842千円)
●関係団体との協働や他都市との交流事業など、各種生涯学習機会の提供の支援	
●シニア活動支援事業への支援	
●市民のニーズに応じた多彩な体験講座等の実施への連携	
●全市的な生涯学習情報の収集と効率的な提供に向けた情報提供システム構築の支援、連携	

2 家庭・地域の教育力を高める	131,999 千円 (122,063 千円)
(1) 家庭教育支援の充実	2,241 千円 (2,438 千円)
ア 家庭教育支援事業	2,241 千円 (2,438 千円)
● 市民館等における家庭・地域教育学級等家庭教育に関する学習機会の提供 (家庭・地域教育学級は、社会教育振興事業費)	
● P T Aによる家庭教育学級開催の支援	
● 地域団体や企業等との連携による家庭教育事業の実施	
(2) 地域における教育活動の推進	129,758 千円 (119,625 千円)
ア 「地域の寺子屋」事業	94,832 千円 (89,636 千円)
● 地域の寺子屋の拡充	
● 寺子屋先生、寺子屋コーディネーターの養成	
● 地域の寺子屋推進フォーラムの開催	
イ 地域における教育活動の推進事業	34,926 千円 (29,989 千円)
● 各行政区・中学校区における地域教育会議の推進	
● 中学校区地域教育会議（地域学校協働本部）における地域教育コーディネーター（地域学校協働活動推進員）の設置	
● 川崎市子ども会議の推進と各行政区・各中学校区子ども会議との連携	
● 子どもの泳力向上プロジェクト事業の推進	
● 学校支援センター事業の実施	
3 文化財の保護活用と魅力ある博物館づくりを進める	1,199,175 千円 (611,456 千円)
(1) 文化財の保護・活用の推進	724,623 千円 (152,452 千円)
ア 文化財保護・活用事業	64,114 千円 (93,287 千円)
● 川崎市文化財保護活用計画に基づく文化財の調査・保護・活用事業の推進	
● 指定文化財の保存修理等の実施	
● 地域文化財顕彰制度の運用	
● 文化財ボランティアの育成・確保	
● 埋蔵文化財の発掘調査等の実施	
イ 橋樹官衙遺跡群保存整備・活用事業	660,509 千円 (59,165 千円)
● 国史跡に指定された橋樹官衙遺跡群の整備基本計画策定に向けた検討	
● 史跡指定地の公有地化の推進	
● 橋樹官衙遺跡群調査整備委員会の開催	
● 橋樹官衙遺跡群とその周辺における史跡めぐり等活用事業の実施	
● 市民との協働による史跡等環境整備・維持管理の実施	
(2) 博物館の魅力向上	474,552 千円 (459,004 千円)
ア 日本民家園管理運営事業	349,843 千円 (330,341 千円)
● 文化財建造物・民具などの保存・整理	

調査研究及び補修（屋根補修、耐震補強等）の推進

●展示及び教育普及事業の充実

ボランティア支援等

イ 青少年科学館管理運営事業

124,709 千円（128,663 千円）

●自然・天文・科学の3分野における資料収集・展示・調査研究・教育普及活動等博物館活動の充実

●ボランティア、市民活動団体等の育成・支援と体験学習の推進

●青少年科学館開館50周年に伴う記念事業、関連イベントの着実な実施

IV. 教育基本方針資料

同和教育に関する基本的な考え方

川崎市教育委員会
制定 昭和57年3月23日

同和問題は、日本国憲法に保障されている基本的人権の侵害にかかわる重要な問題である。

わが国においては、封建時代の歴史的過程で形成された身分階層構造に基づくいわれなき差別が、今日なお人々の懸念や意識あるいは生活実態の中に多様な形で発現している。

これは、人類普遍の原理である自由と平等に関する深刻にして重大な社会問題である。

この問題の解決のためには、すべての人々が同和問題を自らの課題として正しく認識し、その解消に努力しなければならない。

そのために教育の果たす役割は極めて重要である。

川崎市教育委員会は、以上の認識に立って、部落差別の現実をふまえ、日本国憲法・教育基本法さらに同和対策審議会答申・同和対策事業特別措置法及び本市同和対策事業に対する基本的考え方(方針)に基づき、教育の主体性と責任のもとに人権尊重の理念の実現をめざす同和教育を積極的に推進する。

- 1 同和問題についての正しい認識と理解を深めるために、あらゆる機会をとらえて啓蒙啓発活動を進める。
- 2 学校教育においては、人権尊重の精神に徹し、差別や偏見に対する正しい認識と、これを克服する意欲をもつ人間を育成する。
- 3 社会教育においては、市民一人ひとりの自覚のもとに差別と偏見をなくし人権が真に尊重される明るい社会を築くために、指導者の養成をはじめ同和教育の目的を遂行するに必要な社会教育諸条件の整備に努める。

川崎市外国人教育基本方針

—多文化共生の社会をめざして—

川 崎 市 教 育 委 員 会
制定 1986 年（昭和 61 年）3 月 25 日
改定 1998 年（平成 10 年）4 月 28 日

I. 人権尊重としての教育

差別を排除し、人権尊重の精神を貫くことは、人間が人間として生きるための不可欠な事柄であるとともに、民主主義社会を支える基本原理である。日本国憲法は基本的人権を保障し、教育基本法ではその確立をはかることが根本においては教育の力にまつべきものであるとうたっている。さらに日本は、1979年に内外人の平等と外国人が教育を受ける権利及び市民生活上のすべての実質的差別の排除を明確にうたっている国際人権規約を批准した。

その後、1982年に難民条約、1994年に子どもの権利条約、1995年には人種差別撤廃条約の批准が実現し、民族差別を含むあらゆる差別の禁止のみならず、社会における少数の立場の者（マイノリティ）の文化を尊重し支援することも、人権保障の一環として位置づけられている。

今や世界は人権と共生の時代であり、平和の実現と人権尊重の取組は、国としてはもとより、地域社会における人権文化の構築とも結びつけて考えていかなければならない時代となっており、そのために果たす教育の役割と責任は極めて大きい。

II. 本市の外国人市民の成り立ちと現状

1 〔歴史的な経緯 …… 在日韓国・朝鮮人〕

川崎市の外国人登録者は、現在2万人を超え、全人口の2%、国籍数では107ヵ国を数えるようになった（1997年末現在）。そのうち、韓国・朝鮮国籍者は、全外国人の45%を占めており、本市は依然として韓国・朝鮮人の多住地域といえる。

このように本市に韓国・朝鮮人が多く住むようになったのは、京浜工業地帯の中核都市である本市に日本の植民地支配によって工場労働者等としてつれてこられた結果である。

これらの人々の多くは、今なお日常生活において深刻な民族差別を受けており、そのため学校や地域社会において日本名を名のるなど、民族としての自らの存在を明らかにできないような場合もある。

韓国・朝鮮人に対する差別や偏見は、本市だけでなく広く日本社会に根強く存在しており、多くの韓国・朝鮮人は教育、就労、福祉等あらゆる生活面で厳しい民族差別を受け深刻な問題となっている。さらに見落としてはならない重要なことは、これらの偏見が歴史的に作られたものであるという点である。

すなわち、1910年「韓国併合」により、日本が朝鮮を植民地として以来、一方では多年にわたり植民地支配の合理化につながるような民族優越意識を教育を通じて国民に浸透させ、他方において朝鮮民族固有の文化や言語を否定されるべきものであるかのごとくとらえ、創氏改名制度などを通じて日本への同化政策を進めた結果生まれたものである。

川崎市教育委員会は、こうした事実の持つ意味を厳しく受けとめ、教育の課題としてとらえ、本市における公教育を推進するにあたっては、市民一人ひとりの差別解消のための不断の努力を促していかなければならない。

2〔国際化の動向 …… 世界各地からの外国人〕

近年、さまざまな分野における国際化の流れは世界各地で著しく進展しており、日本においても、1980年代後半から、国際結婚や就学生・留学生等として新たに来日する外国人が増加している。加えて、1990年の出入国管理法の改正に伴う日系労働者や技能研修生の受入れにより、さまざまな国の外国人が生活するようになっており、本市も例外ではない。また、数の上では少ないが、中国帰国関係者やインドシナ難民として日本に定住するようになった人たちもいる。このことは、さまざまな文化的背景をもつ外国人が同じ地域社会に暮らし、また、日本語の理解が十分でない外国人も多数生活していることを意味している。

これらの外国人は生活上の不自由さをかかえながら、国籍条項や在留資格による制限に加え、人種や民族等の違いにより、さまざまな生活の局面において差別や偏見にさらされている。また、社会参加や政治参加の権利も未だ十分に保障されているとはいえ、母語や母文化等を表現したり学ぶことのできる場も限られたものになっている。

さらに配慮しなければならないことは、国籍上では見えない民族的・文化的な側面として、国際結婚により生まれた子や多文化を受け継いでいる日本国籍者等が直面している問題がある。かれらは多文化を受け継いでいることにより、本来、文化をつなぐ豊かな可能性を有しているにもかかわらず、ともすると日本人と見なされることにより、日本と異なる文化の獲得や表現ができにくく、安定した自己の主体形成にゆがみをもたらされかねない状況に追いやられている。これに似た問題は、海外からの帰国児童・生徒をめぐっても見受けられる。

このような新たな課題解決にむけた取組も、教育の役割として問われている。

Ⅲ. 多文化共生の社会をめざして

川崎市教育委員会は、これらの教育課題の解決に向け、まず、すべての子どもの学習権を保障し、教育の世界における内外人の平等、人間平等の原則の徹底に努め、社会における少数の立場の者（マイノリティ）の文化を尊重し、あわせて外国人市民の社会参加を積極的に支援していかなければならない。そして、在日外国人が、民族的自覚と誇りを持ち自己を確立し、市民として日本人と連帯し、相互の立場を尊重しつつともに生きる地域社会の創造をめざして活動することを保障しなければならない。このことはまた、日本人の人権意識と国際感覚を高めることにもつながる。そして、このような環境を整えることは人間都市の創造をめざす本市教育行政の責務でもある。

在日外国人教育は、多文化共生の社会をめざす教育の営みでもあり、日本人と外国人の双方の豊かさを育み、違いが豊かさとして響き合う人間関係や社会をつくりだしていくことをめざさなければならない。そのためには、日本社会に根強い同化と排除意識からの脱却をはかり、過去の歴史的経緯をしっかりと認識することが、偏見や差別意識を取り除く上で欠かせない視点となる。

さらに多文化共生の社会をめざす教育は、日本人と外国人の間だけにかぎらず、あらゆる人が、相互の違いを認め合い尊重しあい、ともに生きていく地域社会をつくりあげていく力になるように展開していかなければならない。

川崎市教育委員会は、以上のような認識に立脚して、教育の主体性と責任のもとに、次に示す基本事項にのっとり、人権尊重と国際理解そして多文化共生をめざす在日外国人教育を積極的にすすめる。

IV. 教育関係者の役割とめざすべき方向性

1 基本的な考え方

- (1) 国籍・民族等にかかわらず、すべての子どもの学習権を保障し、教育における内外人の平等、人間平等の原則の徹底に努める。
- (2) 社会における少数の立場の者（マイノリティ）の文化を尊重し、あわせて外国人市民の積極的な社会参加を支援する。
- (3) 日本人と外国人の相互の豊かさにつながる共生の教育をめざし、過去の歴史的な経緯をしっかりとさえ、同化や排除意識からの脱却をはかる。

2 教育行政および教育関係者の取り組み（注：児童の中には幼児を含む）

- (1) 本市に在住する児童・生徒をはじめとする外国人の実態把握に努める。
- (2) 在日外国人が民族的自覚と誇りを培い、生活文化の向上をはかるための自主的活動に対して支援協力する。
- (3) 研修会や研究会等を通して、多文化共生社会への理解を深め、在日外国人に対する正しい教育観の確立と指導力の向上をはかる。
- (4) 在日外国人教育を充実するために関係機関との連携を深め、施策の拡充や推進体制の整備に努め、各種資料を作成する。
- (5) 児童・生徒をはじめ、外国人保護者等の思いを大切に受けとめ、多文化共生をめざす教育の推進に生かすよう努める。
- (6) 在日外国人が、自由に自ら多様な生き方を選択できるよう、進路保障の取組をすすめる。
- (7) 戦後の困難な時代から民族教育を推進してきた市内の外国人学校との交流を深め促進する。

3 児童・生徒に対して

- (1) すべての児童・生徒に対して、相互の豊かな人間関係を育むように努め、違いを認め合い尊重し合う意識や態度を培う。
- (2) すべての児童・生徒に対して、命を大切にし、自分を信頼し、自分に誇りがもてるような支援と生きる力の基礎となる学力の保障に努める。
- (3) すべての児童・生徒に対して、豊かな人権意識や感性を育み、民族差別や偏見を見抜き、それを批判し、許さない力を養う。
- (4) すべての児童・生徒に対して、日本と外国、特に韓国・朝鮮との歴史的・文化的関係を理解させ、国際理解、国際協調の精神を養うとともに、ともに生きる態度を培う。
- (5) 在日外国人児童・生徒に対して、その民族としての歴史・文化・社会的立場を正しく認識することを励まし助け、自ら本名を名のり、民族差別や偏見に負けない力を身につけることができるよう支援する。
- (6) 在日外国人児童・生徒に対して、自由に自ら多様な生き方を選択し、たくましく生きぬくことができるよう進路指導の充実をはかる。
- (7) 日本人児童・生徒に対して、これまでの歴史的経緯を踏まえ、多様な文化を学び受容する教育活動を通じて、日本人としての豊かな国際感覚を育む。

4 すべての市民に対して

- (1) 在日外国人に対する差別や偏見を取り除くための啓発活動を推進する。
- (2) 広く市民に対して、在日外国人問題についての理解を深める学習活動を推進する。
- (3) 日本人と在日外国人が、ともに手をたずさえて地域社会の創造をめざす活動を推進する。

IV 令和3年度の重点施策及び事業内容

※新型コロナウイルス感染症対策として、事業内容等について縮小・休止している場合があります（令和3年8月時点）

1. 生涯学習推進課

市民の学習を推進・支援するために、「かわさき教育プラン」に基づき、学習機会の提供や市民館・図書館等社会教育施設の整備などを図ると共に、市民の学習意識や社会の変化に応じて、社会教育行政・事業への市民参加を促進し、市民の自主的な学習・活動の活性化に向けた支援事業を展開する。また大学等高等教育機関や生涯学習関連諸機関との連携・協力の強化や、市民の学習成果の地域還元に関する事業促進を図っていく。

さらには、安全で安心な、より豊かな地域社会の形成を目指して、子ども達から大人までが元気でのびのびと活動するために、「川崎市子どもの権利に関する条例」を基盤として、家庭・地域社会の教育力を高め、学校や関連行政との連携・協力を図りながら、諸事業を展開する。

- (1) 生涯学習の基盤整備
 - ア 社会教育委員活動の充実
 - ・社会教育研究活動の充実
 - ・各種社会教育関係大会への積極的取り組み
 - イ 区生涯学習推進会議の充実
 - ・全庁的な取り組みと区単位の活動との連携
 - ・教育プランに位置付けられた取組の推進
 - ウ 生涯学習大学等高等教育機関連携事業の推進
 - ・生涯学習大学等高等教育機関連絡会議の開催
 - ・公開講座の実施
- (2) 社会教育・生涯学習施設整備
 - ア 社会教育施設の長寿命化対策
 - イ 労働会館・教育文化会館の再編整備
 - ウ 宮前市民館・図書館の移転・整備
- (3) 「読書のまち・かわさき」の支援
「読書のまち・かわさき子ども読書活動推進計画」に基づき、「かわさき読書の日のつどい」など家庭、地域、学校等と協力した子どもの読書活動への推進の取り組みを行う。また、図書リユースコーナー等の実施や、大学図書館との連携を継続する。
- (4) 人権教育推進事業の充実
 - ア 外国人市民とともに生きる地域社会の実現
地域日本語教育振興事業（地域日本語連絡会、地域日本語ネットワークのつどい）の充実
 - イ 人権感覚豊かな地域社会づくり
 - ・障がい者ボランティア研修の充実
 - ・ふれあい館社会教育事業（委託事業）の充実
- (5) 家庭教育推進事業の充実
文部科学省補助事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業」の活用等により、各家庭教育事業を展開していく。
 - ア PTA家庭教育学級の充実
 - イ 子育て支援啓発事業の実施
 - ウ 家庭教育支援講座の実施
- (6) 市民学習・市民活動など支援事業の充実
教育文化会館・市民館・分館において様々な社会教育振興事業を実施する。
 - ア 社会参加・共生推進学習事業
 - イ 市民自治基礎学習事業
 - ウ 市民学習・市民活動活性化学習事業
 - エ 市民・行政協働・ネットワーク学習事業
 - オ 現代的課題対応学習事業
 - カ 教育文化会館・市民館学習環境整備事業
- (7) 地域教育会議の推進
51 中学校区及び7行政区において地域教育会議事業を実施する。
 - ア 中学校区地域教育会議を国の示す地域学校協働本部に位置づけ、地域教育コーディネーター（地域学校協働活動推進員）の設置等を進める。
 - イ 行政区地域教育会議による中学校区地域教育会議の支援・補完を通じ、活動の活性化及びネットワーク化を進める。
 - ウ 区内の地域教育会議の連携、全市の地域教育会議の交流と連携を促進する。
- (8) 子どもの権利を生かす参加システムの拡充
 - ア 子ども会議の推進
川崎市子ども会議及び中学校区・行政区子ども会議を開催し、子どもの意見を市政に反映させる取り組みを進める。
 - イ 「川崎市子ども夢パーク」での、子どもの活動、子どもの交流拠点としての活用を支援する。
- (9) 学校施設の活用促進
 - ア 市民の生涯学習の場としての学校施設有効活用の充実を図る。
 - イ 学校図書館における図書の地域貸出事業の実施
- (10) 学習相談、生涯学習情報の収集・提供
 - ア 生涯学習情報の収集・提供
 - イ 学習相談への対応

- (11) 資料の作成・収集・提供と広報活動
 ア 社会教育要覧・社会教育事業ガイドの発行
- (12) 社会教育関係団体の活動促進
 ア 川崎市PTA連絡協議会
 イ 川崎市地域女性連絡協議会
 ウ 神奈川県下市立高等学校PTA連絡協議会
- (13) 公益財団法人川崎市生涯学習財団の支援
- (14) 職員の資質の向上及び専門的職員の養成
 ア 社会教育職員研修
 初任者、指導・経営、生涯学習、人権尊重、課題、自主グループ、施設種別研修（市民館職員、図書館職員、博物館職員）
 イ 資格取得研修への派遣
 社会教育主事講習、図書館司書・司書補講習
 ウ 国・県等研修への派遣
 文部科学省、県教育委員会、県公民館連合会等
 主催研修
- エ 市民館事業担当者会議の開催
 オ 図書館担当者委員会の開催
 資料選定委員会、児童サービス委員会、地域資料担当者会議、雑誌担当者会議、端末担当者会議、企画委員会
- (15) 地域で学校や子ども達を支える仕組みづくりの推進
 ア 地域の寺子屋事業の推進
 イ 学校支援センター事業の実施
 ウ 地域教育ネットワーク推進会議の実施
- (16) 子どもの泳力向上プロジェクト事業の推進
 地域のスイミングスクール等と連携した水泳教室の実施

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額（千円）
社会教育委員会議活動	社会教育法第15条に基づき設置し、社会教育に関する諸計画の立案や教育委員会の諮問に対する答申のほか、必要に応じて調査・研究を行い教育委員会への助言を行う。	5,967
社会教育委員会議活動（専門部会）	社会教育施設の円滑な運営を図るため、専門部会を設置して事業の企画・運営に関する調査・審議や、施設の管理・運営状況に関する点検・検証を行う。 <input type="checkbox"/> 教育文化会館専門部会 <input type="checkbox"/> （幸・中原・高津・宮前・多摩・麻生）市民館専門部会 <input type="checkbox"/> 有馬・野川生涯学習支援施設専門部会 <input type="checkbox"/> 図書館専門部会 <input type="checkbox"/> 青少年科学館専門部会 <input type="checkbox"/> 日本民家園専門部会 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設専門部会	
生涯学習支援施設の管理運営	社会教育委員会議専門部会を設置して、事業の企画・運営に関する調査・審議や、施設の管理・運営状況に関する点検・検証を行う。	—
「読書のまち・かわさき」の支援	市立図書館のオンラインシステムを利用した学校図書館の情報化を支援するとともに、「読書のまち・かわさき子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動支援に向けた取り組みを行う。	—
地域日本語教育振興事業	地域における外国人市民の識字・日本語学習の広がりや多文化共生社会の実現をめざして、地域日本語連絡会、地域日本語ネットワークのつどい等を開催する。	144

事業名	事業内容	予算額 (千円)
ふれあい館社会教育委託事業	社会福祉法人青丘社に委託 人権尊重学級、家庭教育学級、多文化交流学級、世代間交流学級、母国語学級、識字学習活動、識字等ボランティア講座 (各1学級)、ハンゲル基礎講座 (3学級)、民族文化講座 (2学級)、社会教育研究集会、啓発活動 (講演会、広報誌発行等)	1,422
家庭教育推進事業	子育てをめぐる幅広い観点から、親等の学びや交流等を支援することにより、家庭・地域の子育て状況の改善を図り、家庭の教育力の向上をめざす。	2,241
学校支援センター事業	地域人材による学校支援活動をコーディネートし、学校・家庭・地域の連携を促進するため、川崎市生涯学習プラザ内に学校支援センターを設置する。	3,723
市民学習・市民活動の支援	生涯学習の振興を図るために、教育文化会館・各市民館・生涯学習推進課に社会教育指導員を配置し、地域の市民の学習・活動の支援や社会教育関係団体の育成等に努める。	— (各館は各区への委任事務)
地域教育会議事業 (地域学校協働本部推進事業)	川崎市教育懇談会の提言を受けて、51 中学校区・及び7行政区に設置。学校・家庭・地域社会の連携により、子育てや生涯学習のネットワークづくり、教育への市民参加システムづくりを通して、地域の教育力の向上をめざす。中学校区地域教育会議を国の示す「地域学校協働本部」の役割を持つ組織として位置づけ、取組を推進。	22,525
川崎市子ども会議	川崎市子どもの権利に関する条例に基づき、子どもの意見を市政に反映させる。	777
学校施設有効活用事業	市内の小・中学校等の校庭、体育館、特別教室、学校図書館を地域活動やスポーツ、学習の場等として開放する。 校庭開放 145 校 体育館開放 166 校 特別教室開放 134 校 校庭夜間開放 7 校 学校図書館 10 校 ・学校施設有効活用あり方検討委員会 ・市民ニーズに対応したモデル開放の実施 ・特別教室などの有効活用を進めるため、様々な実証実験に取り組みながら研究を進める Kawasaki 教室シェアリングの実施	74,951

事業名	事業内容	予算額（千円）
コミュニティルームの運営	虹ヶ丘小学校コミュニティルームを地域における生涯学習や地域活動の拠点として活用し、市民主体の生涯学習のまちづくりを展開する。	491
生涯学習大学等高等教育機関連絡会議	市内大学等高等教育機関との連携を進め、連携事業（公開講座）の実施など、市民への生涯学習支援の方策を協議する。	247
生涯学習情報収集・提供	生涯学習情報の収集・提供を行うとともに、市民の学習相談に対応し、市民の自主的な学習活動を支援する。	4,696
社会教育広報資料等作成	社会教育関係事業の資料や報告書を作成し配布する。	2,867
P T A活動促進	川崎市P T A連絡協議会及び県下市立高等学校P T A連絡協議会の活動活性化に向け、機関紙の発行、研究・研修事業実施、各種大会派遣に対しての補助等の支援を行う。	2,228
女性団体活動促進	環境・平和・子育て・高齢者福祉など、様々な地域課題に対し学習・実践を行っている女性団体を支援するとともに、男女共同参画社会をめざして女性リーダーの育成をはかる。	429
生涯学習財団補助	生涯学習に関する講座、講演会の開催、情報の提供、相談、調査研究を行うとともに、指定管理者として施設の効率的な管理運営を行い市民の生涯学習の振興に寄与する生涯学習財団の運営を支援する。	141,812
社会教育職員研修	社会教育職員として、各施設の役割や課題を理解し必要な基本的知識や実践的能力を養うのみならず、様々な課題についての問題意識・専門性を高める。 研修成果の報告については、研修報告会を開催すると共に報告書を作成し関係者・機関等に配布する。	178
社会教育職員の外部研修派遣	職員の資質向上を図るため、業務に関連した資格取得のための研修等様々な外部研修に派遣する。	—
夏休み親子工作教室	木工作などの工作体験をとおした親子のふれあいの場として、P T Aを主体として各小学校において開設する。	—
地域の寺子屋事業	地域ぐるみで子どもの教育、学習をサポートし、シニア世代の知識と経験を活かして多世代で学ぶ生涯学習の拠点づくりを進める。	94,832
子どもの泳力向上プロジェクト	地域のスイミングスクール等と連携して、小学校入学前までに水に親しんでいない子どもや、入学後も泳ぎが苦手な子どもを対象に、水泳教室を開催する。	10,832
教育文化会館及び労働会館再編整備	「川崎市立労働会館・川崎市教育文化会館再編整備基本計画」（令和3年1月策定）に基づき、管理運営計画の策定に向けた取組や実施設計を行う。	20,300
宮前市民館・図書館整備事業費	鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針を踏まえた新しい宮前市民館・図書館基本計画に基づき、管理運営計画の策定に向けた取組や基本設計を行う。	14,894

2. 文化財課

生活環境の急速な変化と様々な開発の進行により、祖先の生活文化を物語る文化財が変容し、失われていこうとしている。それに伴い、文化財の調査・保護及び博物館活動を含めた文化財の普及・啓発のための施策が必要となっている。こうした状況を踏まえ、文化財の指定、調査、記録作成、保護管理及び公開等の各種事業を行う。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 文化財調査活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ア 埋蔵文化財緊急調査(個人専用住宅の建設に伴う緊急調査等) イ 専門家による各種文化財の緊急調査及び指導等 ウ 川崎市文化財調査員等による調査と研究 エ 埋蔵文化財内容確認調査(市内重要遺跡等) (2) 文化財の保護・公開及び記録の作成 <ul style="list-style-type: none"> ア 文化財の指定等 イ 地域文化財顕彰制度の運用 ウ 指定文化財修理事業の実施 エ 指定文化財の管理奨励(市指定文化財所有者への管理奨励金の交付) オ 無形民俗文化財保存団体の育成・補助 カ 県指定史跡(馬絹古墳等)の保存管理 キ 埋蔵文化財収蔵施設の管理及び活用 ク 文化財ボランティアの育成・活用 ケ 文化財調査集録等の刊行物製作 コ 埋蔵文化財発掘調査報告書及び年報の刊行 | <ul style="list-style-type: none"> サ 文化財解説板の製作及び設置 シ 指定文化財等の現地特別公開 ス 発掘調査現地見学会の開催 セ 文化財講座の開催 (3) 史跡等の整備と保全 <ul style="list-style-type: none"> ア 史跡等の環境整備(橘樹官衙遺跡群・子母口貝塚・馬絹古墳・五所塚・芭蕉の句碑) イ 史跡「春日神社・薬師堂・常楽寺境内及びその周辺」の管理奨励 ウ 橘樹官衙遺跡群保存活用事業 エ 橘樹官衙遺跡群確認調査事業 オ 橘樹官衙遺跡群保存整備事業 カ 史跡保守管理 (4) 文化財審議会の運営 (5) 川崎市域博物館に関する普及啓発 (6) 文化施設(モニュメント「希望」)の維持管理 (7) 地名資料室の運営 (8) 市民ミュージアム収蔵品(考古系)の修復 |
|---|---|

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額(千円)	
文化財審議会運営事業	文化財の指定、現状変更等に関し、教育委員会の諮問に応じる。(委員10名・3回開催)	375	
文化財調査集録刊行事業	各種調査成果を刊行する。第56集。	249	
史跡整備管理事業	史跡天然記念物管理奨励	市史跡指定地の地権者に奨励金を支払う。(春日神社、常楽寺)	158
	史跡環境整備	橘樹郡家跡・子母口貝塚・馬絹古墳・五所塚・芭蕉の句碑の環境整備を地域の保存団体に委託する。(41,250円×5団体)	207
	史跡保存管理	馬絹古墳の保存活用のため隣接地の一部を借用するとともに石室の保存管理を委託する。(馬絹神社より借用)	1,745
史跡における公園施設補修や樹木剪定等の保守管理を行う。		1,967	
文化財刊行物製作事業	刊行物の製作・送付を行う。(地域文化財パンフレット等)	600	
文化財普及・活用事業	指定文化財等現地特別公開等を実施する。また、文化財ボランティアを養成・活用し、文化財の普及啓発に努める。	113	
指定文化財管理奨励事業	市指定文化財の維持管理及び活用の向上を図るため、所有者に管理奨励金を交付する。(39団体)	1,430	

事業名	事業内容	予算額（千円）
文化財保護措置事業	指定文化財等の解説板の設置及び維持補修を行う。	737
指定文化財保存修理等事業	菅の獅子舞の伝承等事業（子ども教室）及び保存修理事業への県費随伴補助の実施	57
埋蔵文化財緊急調査事業	周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内での開発行為に伴う試掘調査や、市内重要遺跡の内容確認調査及び個人住宅建設等に伴う発掘調査を行うとともに、発掘調査報告書及び年報を刊行する。	6,815
公益事業関連埋蔵文化財発掘調査事業	公益性が高い諸事業に関して遺跡に影響を与える箇所についての埋蔵文化財の発掘調査を行う。	8,705
埋蔵文化財収蔵施設管理事業	出土した埋蔵文化財の収蔵及び管理を行う。	2,925
市域文化財調査事業	市域に所在している古文書の所在状況及び指定文化財（彫刻・絵画・民俗等）の保存状況を調査する。また、修理文化財等の調査・指導を専門家に依頼する。	1,219
塚越古墳確認調査事業費	川崎市内古墳確認調査事業の一環として、幸区塚越2丁目に所在する塚越古墳の確認調査を実施する。	1,850
橘樹官衙遺跡群管理事業	橘樹官衙遺跡群とその周辺における史跡めぐり等活用事業推進のため、橘樹郡家跡の「たちばな古代の丘緑地」周辺の剪定・除草を行い、史跡の保存整備を図るほか、活用事業を通じ市民への普及を行う。	2,050
橘樹官衙遺跡群確認調査事業	学識者による調査整備委員会調査部会の指導・助言を踏まえ確認調査を行う。	7,949
橘樹官衙遺跡群保存整備事業	調査整備委員会整備部会の学識者などの意見を踏まえ、橘樹官衙遺跡群の整備を進める。	650,510
無形民俗文化財保存育成補助	県・市指定無形民俗文化財保存団体及び川崎市民俗芸能保存協会への補助を行う。	1,837
地名資料室運営管理事業	地名関連資料の収集を行い、市民の閲覧や研究への資料提供、講座の開催等を行う。	3,192
二ヶ領用水保存整備事業費	国登録記念物についてのパンフレット製作等により、二ヶ領用水の歴史的価値を市民へ啓発するとともに、地域資源として活用する。	209
市民ミュージアム収蔵考古資料復旧事業費	市民ミュージアム収蔵考古資料の修復・台帳作成	21,642
その他経費	会計年度任用職員報酬、需用費、役務費等の諸経費	8,082

3. 図書館・図書館分館

令和3年度の図書館活動目標

令和3年3月に策定された「今後の市民館・図書館のあり方」では、今後のめざす方向性として、

- ・行きたくなる図書館 ～利用及び参加の更なる促進～
- ・まちに飛び出す図書館 ～身近な地域に立脚した取組の推進～
- ・地域の“チカラ”を育む図書館 ～地域資源や担い手づくりの推進～

が示された。

図書館では、この方向性にに基づき基本的な運営の考え方として、「市民にとって役立つ、地域の中で頼れる【知と情報の拠点】をめざして」を基本理念に、次の3つの基本方針、

- (1)一人ひとりの市民が使いやすいくみづくり ～使いやすく、居心地よく～
- (2)多様な利用ニーズに対応した読書支援 ～お役立ち情報をナビゲート～
- (3)地域や市民に役立つ図書館づくり ～頼れる“知と情報の拠点”に～

に沿って今後の図書館活動を推進していく。

また、今後の図書館オンラインシステムについては、「図書館のあり方」の基本理念、基本方針を踏まえ、新たな次期システム導入に向けて調査、検討をさらに進めていく。

新宮前図書館の整備等については、パブリックコメントなどを経て策定された基本計画等に基づき、市民とともに管理運営の検討や、図書館として必要な協議を関係者等と進めていく。

事業内容と予算 ※予算額の（ ）内は1.生涯学習推進課「社会教育委員会議活動（専門部会）」の再掲

事業名	事業内容	予算額（千円）
図書資料整備事業	市民の一般的教養及び調査・研究等の一助として、乳幼児から高齢者までを対象として各種図書館資料を購入する（データベース使用料、図書整理委託費を含む）。	111,605
障害者サービス	視覚障害者を対象に対面朗読を実施する。	300
	身体障害者等に対する図書の郵送貸出サポートサービスを実施する。	81
講演会等	講演会・郷土研究・サークル活動指導者派遣・人形劇上演等	300
閲覧奉仕	地区館・分館等での図書館資料の閲覧、予約、個人貸出、団体貸出による提供を行う。	39,797
自動車文庫	本館・分館等のサービスの及ばない地域に対し、移動図書館車により巡回貸出を行う。	4,835
コンピュータ管理	図書館コンピュータ使用料、システム保守管理（川崎・幸・中原・高津・宮前・多摩・麻生・田島・大師・日吉・橘・柿生・菅）等	117,601
ICT推進	全蔵書に貼付したICTタグを活用した新機器を導入し、効率的な資料管理・活用を推進する。	14,073
図書館業務委託	貸出・返却カウンター、予約巡回処理、配架、書庫出納業務等の委託	224,411
返却図書回収委託	返却ボックス（市内6箇所）に返却された図書の回収、アリーノ（有馬・野川生涯学習支援施設）との図書運搬	7,615
運営管理	館の維持・管理運営	159,359
館内外改修工事	各種補修工事等	57,016
菅閲覧所整備	菅閲覧所運営管理	37,913
社会教育委員会議 図書館専門部会	部会を年4回開催し、館の運営及び図書館奉仕について意見を述べる。	(368)

4. 教育文化会館・市民館（幸・中原・高津・宮前・多摩・麻生）・分館（大師・田島・日吉・橘・菅生・岡上）

基本方針

教育文化会館・市民館・分館は、民主主義の精神にのっとり、平和と基本的人権を尊重し、市民が自らの学びを創造する豊かで活力のある地域社会の実現をめざして、次の基本方針により社会教育振興事業を実施する。

- (1) 市民一人ひとりの学習する権利と自由を保障し、市民の主体的な学習活動を振興する。
- (2) 人権尊重の精神に基づき、市民一人ひとりが互いに認め合い共に生きる社会の創造をめざす。
- (3) 市民の主体的な学習活動の振興を通して、市民参画と協働による市民自治の実現をめざす。

令和3年度は、学び合いを通じた市民の相互理解を推進し、地域の様々な課題の解決に市民が主体となって取り組んでいくための学びと関係づくりを支援するとともに、そのための職員の力量形成に努める。また、家庭教育の推進や、学習情報提供・相談事業の充実の他、地域における生涯学習をコーディネートし、地域の各関係機関や団体・グループなどとの連携・協働をさらに深め、有機的なつながりの中で地域課題解決をめざす生涯学習を展開していく。

事業の柱

(1) 社会参加・共生推進学習事業

社会参加の機会を得にくい方を対象に、必要な知識の習得や体験等の学習機会の提供を通して、社会参加促進に向けた支援を推進する。また、学習活動に市民ボランティアが共同学習者として参画することを通して、共に生きる地域社会の実現をめざす。

事業：識字学習活動、社会人学級、障がい者社会参加学習活動など

(2) 市民自治基礎学習事業

絶え間なく変化する社会のなかで生じる様々な問題を、共通の課題として主体的に学び合うことを通して、市民自治の実現に向けた基盤づくりを推進する。

事業：平和・人権・男女平等推進学習、市民館保育活動、家庭・地域教育学級、家庭教育推進事業など

(3) 市民学習・市民活動活性化学習事業

地域課題や生活課題の解決に向け、市民が、市民館との協働により自ら学びの場を創出することを通して、市民の主体的な学習活動を振興するとともに市民活動の活性化をめざす。

事業：市民自主学級・市民自主企画事業、市民エンパワーメント研修、PTA活動研修、学習情報提供・学習相談事業など

(4) 市民・行政協働・ネットワーク学習事業

市民の主体的な学習活動や市民活動の活性化に向け、市民と学校、区役所や市民館などが連携・協力して行う学習活動の振興を図るとともに、広く学習にかかわる情報や人などのネットワークづくりを推進する。

事業：行政区・中学校区地域教育会議推進事業、課題別連携事業、学社融合推進事業など

(5) 現代的課題対応学習事業

社会の変化や折々の時代の要請に的確に対応し、喫緊な地域課題の解決に向けた柔軟な学習活動を推進する。

事業：シニアの社会参加支援事業、高齢者セミナー、地域コミュニティ交流・学習事業

(6) 教育文化会館・市民館学習環境整備事業

市民館を市民の生涯学習、市民活動の拠点とするために、市民等の参画に配慮しながら良好な学習環境を整備する。

事業：各種広報活動、社会教育委員会議専門部会など

事業内容と予算 ※予算額の（ ）内は1. 生涯学習推進課「社会教育委員会議活動（専門部会）」の再掲

	事業名・実施館	事業内容	予算額（千円）
社会参加・共生推進学習事業	識字学習活動 教文、6 市民館	川崎市多文化共生社会推進指針、外国人教育基本方針、川崎市識字・日本語学習活動の指針に基づき、外国人市民等が日本での生活が円滑に営めるように、日常生活に必要な基礎的日本語を身につけるための学習を支援する。学習者と支援者（ボランティア）が学び合う関係づくりをとおして、多文化共生社会の実現をめざす。	3,351
	識字ボランティア研修 教文、6 市民館	川崎市識字・日本語学習活動の指針に基づき、地域で識字の学習を支援するボランティアの資質の向上を図ることにより多文化共生社会の実現をめざす。	619
	社会人学級 川崎市生涯学習財団	様々な事情で十分学習できなかった人に対して、中学課程の学習領域で、国語、数学など日常生活を送るため不可欠な基礎的知識と教養を学ぶ機会を提供し、学習者が共に学びあい、より主体的に生きることをめざす。	650
	障がい者社会参加学習活動 教文、6 市民館	地域での体験活動や交流をとおして障がいのある人の社会参加を図るとともに、ノーマライゼーションの理念に基づき共に生きる地域社会の実現をめざす。	1,011
市民自治基礎学習事業	平和・人権・男女平等推進学習 教文、6 市民館	憲法、教育基本法の理念に基づき、世界の平和及び人権の尊重、性による差別や人権に関する問題解決に向けた学習機会を提供し、共に生きる地域社会の創造や男女共同参画社会の形成をめざす。	1,116
	保育ボランティア研修 幸、中原、高津、宮前、麻生市民館	子育てを支援する保育ボランティアの資質の向上を図ることにより、地域で支え合う子育ての環境醸成をめざす。	311
	市民館保育活動 全館	親等の学習活動への参加や、乳幼児の社会的成長を支援するために、保育を実施する。	1,192

事業名・実施館		事業内容	予算額（千円）
市民自治基礎学習事業	家庭・地域教育学級 全館	子どもを豊かに育む地域社会の創造をめざし、子育てに関する家庭・地域課題の学習機会を提供し、親として市民としての学びを支援する。	1,753
	家庭教育推進事業 教文、6 市民館	各区において、PTA家庭教育学級、子育て支援啓発活動等、家庭教育の推進を目指した事業を実施する。	2,241
市民学習・市民活動活性化学習事業	市民自主学級 全館	地域や社会の問題の解決に市民自らが取り組んでいく上で必要な学びの場づくりを、市民と各館が協働で行う。	2,527
	市民自主企画事業 全館	地域の特性に応じた生涯学習・文化芸術の振興や市民の交流・ネットワーク活動など、多様な形態の学習事業を市民と各館が協働で実施する。	1,220
	市民エンパワーメント 研修 全館	市民活動・ボランティア活動に関する学習機会を提供することにより、市民自らが考えながら生活・地域課題等に取り組むことができるように、市民主体の地域づくりを支援する。	1,054
	PTA活動研修 教文、6 市民館	各学区や行政区の特色を生かしながら、子どもの健やかな成長を支えるPTA活動の更なる活性化を共に考えあう研修とする。	501
	生涯学習交流集会 教文、6 市民館、大師、日吉、橘、菅生、岡上分館	いきいきとした各区の社会教育の展開に向け、市民と職員が率直な意見を交流し、市民主体の地域の生涯学習を創り出すことをめざす。	341
	表現・舞台活動支援事業 麻生市民館	様々な手法による市民の主体的で自由な表現活動を振興し、地域に根ざした市民の文化創造に資する。	50
	学習情報提供・ 学習相談事業 教文、6 市民館、橘、菅生、岡上分館	市民の学習と活動の支援策の一環として、様々な学習情報・市民活動情報を収集・整理し、適切な形で公開・提供する。また、求めに応じ市民及び市民グループなどの生涯学習に関する相談に情報提供、助言を行う。	364

事業名・実施館		事業内容	予算額（千円）
市民・行政協働・ネットワーク学習事業	行政区・中学校区 地域教育会議推進事業 教文、6 市民館	行政区・中学校区における学校・家庭・地域の連携による教育への市民参加システムづくりとネットワークづくりを支援・促進し、地域の教育力の向上をめざす。	22,525
	課題別連携事業 幸、中原、宮前市民館、 大師、田島、菅生分館	地域での子育てや福祉・環境、まちづくりなどの課題の解決に協働して取り組むため、関係機関との連携会議および必要な事業を実施する。	208
	地域学習・文化団体 連携推進事業 全館	地域の学習活動を推進している学習・文化団体（サークル連絡会・文化協会・PTA等）とのネットワーク化や事業連携を図ることを通じ地域の文化や教育力の向上をめざす。	—
現代的課題対応学習事業	シニアの社会参加支援 事業 全館	シニア世代等を対象として地域の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供し、シニア世代等の市民が、これまで社会で培った豊富な経験と知識、多様な能力を活かし、これまで関わりの少なかった地域社会での様々な活動に参加できるように支援する。	1,015
	高齢者セミナー 教文、6 市民館	高齢期の課題解決に向けた学習機会を提供する。また、学習を通じた生きがいづくりや健康づくりを促進するとともに、幸福な高齢期を迎えるための支援をする。	561
	地域コミュニティ交 流・学習事業 中原市民館、田島、日 吉分館	地域コミュニティの活動・交流に係る学習機会を提供し、市民自らは地域の課題解決や活動・交流に参加していけるよう支援する。	356
教育文化会館・市民館学習環境整備事業	社会教育委員会議専門 部会 教文、6 市民館	川崎市社会教育委員条例、川崎市社会教育委員会議規則に基づいて行う。館における各種事業の企画実施について調査審議を行う。	(2,300)
	刊行・広報活動 全館	(1) 教文・市民館活動報告書、学習記録や調査研究報告書の作成を行い、学習活動や地域情報の蓄積と公開を図る。 (2) 生涯学習に関する情報を提供するため、館日より、ホームページなどの作成を行う。	4,309
	情報機器等整備 教文、6 市民館	視聴覚ライブラリー用の情報機器は、総合教育センターで一括整備充実し、市民への直接的な窓口として、教文・市民館で貸出しを行う。	総合教育センター予算による

5. ふれあい館（社会教育関連施設）

ふれあい館は、地域に暮らす外国人と日本人が、市民として子どもからお年寄りまで相互にふれあいを進めることを目的としている。

基本的人権尊重の精神に基づき、差別をなくし、ともに生きる地域社会を創造していくため、こども文化センターとふれあい館を統合施設として川崎市が設置した。この地域で様々な取組を進めてきた社会福祉法人青丘社が、指定管理者として館の運営・管理にあっている。

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額（千円）
人権尊重学級	外国人市民と日本人市民が、川崎市外国人教育基本方針に則り、ともに学び合うことにより、人権尊重の啓発、民族差別の克服、ともに生きる地域社会の創造をめざす。	120
家庭教育学級	外国人市民と日本人市民が、子どもの成長に係わる課題について、相互理解を深めながらともに学び合い、子どもたちの健全育成と地域教育力の向上をめざす。	60
多文化交流学級	外国人市民と日本人市民が、自分たちが暮らす地域の文化や歴史等とともに学び合うことをとおして、地域への理解を深めるとともに、参加者間の相互理解を深め、ともに生きる地域社会の創造をめざす。	50
世代間交流学級	在日韓国・朝鮮人を中心とした高齢者を対象に生涯学習の機会を提供することにより、これまで培った豊富な経験や知識、能力を活かした、地域活動参加や地域内でのネットワーク形成の促進をめざす。	30
母国語学級	外国につながる子どもの母国語・母文化の保持や仲間づくりに向けた学習機会を提供することにより、自我の確立へ向けた支援を行い、ともに生きる地域社会の創造をめざす。	220
ハングル基礎講座 （3講座）	外国人市民と日本人市民が、韓国・朝鮮語とともに学び合うことにより、韓国・朝鮮人のアイデンティティの確立と日本人の国際性を養い、文化の相互交流と国際理解の向上をめざす。	300
民族文化講座 （2講座）	外国人市民と日本人市民が、韓国・朝鮮の歴史や文化について、相互理解を深めながらともに学び合うことにより、国際性豊かな地域文化の創造をめざす。	240
識字学習活動	外国人市民等が、日常生活を円滑に営むために不可欠な日本語の基礎を共同学習者とともに学び合うことにより、学習者の自立とともに生きる地域社会の実現をめざす。	260
識字等ボランティア講座	識字、高齢者等の活動に係わるボランティアに必要な研修を実施し、各活動の充実をめざす。	40
社会教育研究集会	ふれあい館の社会教育事業が、生活課題・地域課題に迫り、あらゆる世代にとって魅力ある内容となるよう、市民と職員が一堂に会し年間の取組の総括と反省を行い、次年度への継承と発展をめざす。	20
啓発活動	「人権尊重」の啓発に向けて、講演会の実施等諸活動を広く行うことにより、外国人市民と日本人市民の学び合いの場、創造の場づくりをめざす。	74
その他経費	各種講座、講演会用消耗品費、印刷費、郵便代等	8

6. 視聴覚センター（総合教育センター内）

総合教育センター情報・視聴覚センターは、市内団体、グループ等による視聴覚教材や機材を活用した学習を支援するため、教育文化会館及び市民館を視聴覚ライブラリーとした視聴覚センター事業を行っている。

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額（千円）
視聴覚教育事業	視聴覚教材・機材の貸出業務。目録のWeb掲載、各種機材の整備等を行う。	1,686
平和教育推進事業	平和・環境・人権教育等に関する映像教材の収集・整備を行う。	619

7. 日本民家園

日本民家園は、わが国の伝統的な木造建造物である古民家を永く将来にわたって残すため、昭和42年に開園した野外博物館である。江戸時代の建造物を中心に、25件を移築・復原しており、国指定重要文化財7件、国指定重要有形民俗文化財1件、県指定重要文化財10件、市重要歴史記念物7件から成る。また、本館には民家の基礎知識が学べる常設展示室と、テーマを設けて展覧会を開催する企画展示室がある。平成25年度より統括業務・学芸業務は直営、管理運営業務は指定管理者(平成30年度からは生田緑地共同事業体)が担っている。なお、令和3年度は、旧太田家住宅の耐震補強工事を実施する。

(1) 運営管理・事業

園内の古民家等を活用して各種の博物館事業を実施する。体験講座、民俗芸能公演、各種催し物などの教育普及事業や、企画展示・年中行事展示、床上公開などの展示公開事業、調査研究活動、収蔵資料の整理、調査報告などの刊行物発行、広報活動、総合管理、植栽整備、伝統工芸館運営などを行う。

(2) 施設整備

旧太田家住宅の耐震補強工事を予定。他の文化財建造物の維持保存や園内整備、旧井岡家・旧山田家住宅の耐震診断を実施する。

(3) 社会教育委員会議日本民家園専門部会

6月、8月、12月、3月の年4回開催。園の運営に関し意見を述べるとともに事業評価を行う。

事業内容と予算 ※予算額の()内は1. 生涯学習推進課「社会教育委員会議活動(専門部会)」の再掲

事業名	事業内容	予算額(千円)
運営管理 (事業含む)	直営業務 ○展示 ・企画展示「暑さ寒さも彼岸までー民家と四季ー」 「二足のわらじはなぜわらじ?ーことわざになった道具考ー」 「病と向き合うー祈りと医療をめぐるー」 ・常設展示 ・年中行事展示等 ○教育普及活動 ・体験講座(わら細工・竹細工・はた織り・藍染め) ・民家園まつり ・民俗芸能公演(農村歌舞伎) ・催し物(お正月を遊ぶ等) ・旧所在地交流事業 ・博物館実習生の受入れ ・解説 ・民具製作実演 ・床上公開 ・学校向けレクチャー ほか ○調査研究・資料整理 ・収蔵資料の整理・企画展示図録の刊行 ○委託(消防設備点検・体験講座など) 指定管理者業務 ○維持管理業務(建物管理、樹木等管理、清掃・警備) ○運営業務(施設利用、電話受付、入園料徴収、広報・利用促進、伝統工芸館運営、物品販売、自主事業、統計・調査等) ○非常時、災害時対応等業務	直営分 32,011 指定管理料 100,841
社会教育委員会議 日本民家園専門部会	○部会を年に4回開催し、園の運営に関し意見を述べるとともに事業評価を行う。	(350)
施設整備 (補修費含む)	○古民家屋根等修理工事(旧鈴木家住宅) ○古民家補修等軽易工事ほか ○耐震診断(旧井岡家・旧山田家住宅) ○耐震補強工事(旧太田家住宅)	216,991

8. 青少年科学館（かわさき宙と緑の科学館）

川崎市唯一の自然系博物館として昭和46年8月15日に開館し、改築整備工事を経て平成24年4月28日に通称名「かわさき宙と緑の科学館」としてリニューアルオープンした青少年科学館は、自然、天文、科学の各分野において、展示事業、教育普及事業、調査研究事業、収集保存事業、ネットワーク事業を実施している。

令和3年度においては、展示事業では各種館内展示やプラネタリウム投影の実施、教育普及事業ではサイエンスワークショップ、地層観察等の各種体験学習事業の実施、調査研究事業では各分野での専門的取組みのほか市民との協働により行う市域の生物調査の実施など、引き続き各事業の充実を図る。併せて、最新鋭のプラネタリウム設備を最大限に活用し、毎月番組を制作する一般投影、子どもやシニアを対象とした投影、星空コンサートを始めとする特別投影等を新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施する。

ネットワーク事業では日本民家園との「七夕」「お月見」の連携事業等、生田緑地他施設との連携のほか、指定管理者や大学、地域団体との連携事業を実施する。

開館50周年に伴い、指定管理者、多摩区役所等の関係機関と連携して広報活動を行うとともに、記念事業や関連イベント等、年間を通じた様々な取組を実施する。

(1) 展示事業

- ア 自然・天文に関する常設展示
- イ 自然・天文・科学に関する特別展示
- ウ プラネタリウム投影（一般・学習）

(2) 教育普及事業

- ア アストロテラスの公開
- イ 天文知識普及啓発、観望会等の開催
- ウ 科学知識普及啓発、実験教室等の開催
- エ 自然知識普及啓発、観察会等の開催
- オ 学校及び文化施設との協力

(3) 調査研究事業

- ア 市域の生物調査（昆虫・植物・その他）
- イ 気象観測、太陽活動・黒点の観測と調査研究

(4) 収集保存事業

自然史資料、天文資料、科学教育に関する資料の収集・保存管理

(5) ネットワーク事業

関連施設・団体・機関と連携し、生田緑地、地域のにぎわいを創出する事業の展開

(6) 管理運営

施設管理・広報・事業評価等

事業内容と予算 ※予算額の（ ）内は1.生涯学習 推進課「社会教育委員会議活動（専門部会）」の再掲

事業名	事業内容	予算額(千円)
青少年科学館運営管理事業	自然・天文・科学の各分野の教育振興等に向け、学芸業務の円滑な執行を確保する。	11,712
青少年科学館指定管理	館施設の維持管理業務・広報業務を指定管理者に委託する。	65,859
メガスター運営	世界最高水準の投影システムであるメガスターⅢフュージョンの保守管理、プラネタリウム番組制作等を行う。	42,523
21世紀子どもサイエンス事業	科学実験セット（ワクワドキドキ玉手箱）の活用により、子どもの理科離れ防止に向けた体験学習事業を実施する。	3,529
社会教育委員会議 青少年科学館専門部会	部会を年に4回開催し、館の運営に関し意見を述べるとともに、事業評価を行う。	(322)
ホトケドジョウ人工飼育事業	絶滅危惧種であるホトケドジョウの人工飼育、増殖研究により種の保存を図る。	186
青少年科学館50周年記念事業	プラネタリウムコンサート、科学講演会等、50周年記念に係る業務を行う。	12,806

9. 市民ミュージアム

平成 29 年度から指定管理者制度による管理運営を行っており、令和 3 年度も引き続き、学芸部門を博物館美術館グループ・教育普及グループとし、各事業を実施していく。また、令和元年東日本台風の影響により浸水被害を受けた収蔵品の修復や、新たな博物館、美術館の開設に向けた取組を推進する。

(1) 展示

第 55 回かわさき市美術展を開催する。

(2) 広報

展覧会等のチラシを作成し、配布、プレス発表、マスコミの取材対応、ホームページ、SNS の運用、館内外の広報物掲示など、市民ミュージアムの情報発信を行う。

(3) 教育普及

社会科教育推進事業や出張プログラム、企画展関連ワークショップなどを実施する。

(4) 資料調査・研究

歴史、民俗、考古、美術文芸、写真、映画、グラフィック、漫画、映像の分野における調査研究から横断的なテーマ、デジタルアーカイブなど、収蔵品の整理と研究を行う。

(5) 収蔵品修復等

被災収蔵品の応急処置、冷凍倉庫での保存、修復作業などを行う。施設再整備の検討、調査を行う。

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額 (千円)
運営管理	<ul style="list-style-type: none"> ○展示 ・ 第 55 回かわさき市美術展 ○広報 ・ メディア等情報発信 ・ 広報物の作成・発行 ○教育普及・社会科教育推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出張スクールプログラム ・ 企画展関連ワークショップ ・ 大学との連携事業 ○資料調査・研究 	(指定管理料) 477,756
施設整備事業	○市民ミュージアム施設整備	3,960
復旧事業	○市民ミュージアム収蔵品修復など	408,983

10. 岡本太郎美術館

岡本太郎美術館は、平成3年に川崎ゆかりの芸術家岡本太郎氏より、氏の所有する主要作品1,779点が川崎市に寄贈されたことを契機に建設され、平成11年10月に開館した。

岡本太郎氏は、画家、彫刻家であるにとどまらず、文筆家であり、書家であり、民族学者であり、文明評論家であった。その多彩で広汎な活動領域は芸術全般に及んでおり、現代芸術の体現者として、今も日本の現代芸術に強い影響を与えている。

岡本太郎美術館では、その芸術と人間岡本太郎の全貌を余すことなく伝え、また、氏の間像や芸術観の形成に大きな影響を与えた、母岡本かの子、父岡本一平の芸術、並びに岡本太郎と関連のあった近現代芸術に関する事業を展開している。

令和3年度も資料の収集・保存・調査研究等に基づき、魅力ある展覧会の開催等美術館活動の充実に努め、市民文化の振興と個性あふれる魅力あるまちづくりにつなげていく。

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額（千円）
運営管理事業	直營業務	
	○展覧会	
	企画展4回	
	「挑む 岡本太郎」展	4月25日～7月4日
	「太郎写真曼陀羅」展	7月17日～10月11日
	「戦後デザイン運動の原点ー デザインコミッティの人々とその軌跡」展	10月23日～1月16日
	「第25回岡本太郎現代芸術賞」展	2月中旬～5月上旬
	常設展4回	
	「岡本太郎の食」展	4月15日～7月4日
	「太郎さんの心の中を楽しもう！」展	7月8日～10月11日
「タイトル未定」展	10月15日～1月16日	
「タイトル未定」展	1月20日～5月上旬	
○教育普及活動		
講演会、ワークショップ等		
○寄贈作品整備		
○美術作品・資料の収集		
○情報システム賃貸借 他		
指定管理者業務		
○維持管理業務、運営業務他		
		直営分 63,077
		指定管理料 115,211
資料デジタル化事業	○収蔵資料のデジタル化保存とその活用	4,950
施設整備事業	○美術館維持補修工事	12,508
	○岡本太郎作品等補修工事	5,408

11. 大山街道ふるさと館

高津地域(二子・溝口)は、市域を横断する脇往還の一つである矢倉沢往還(大山街道)が通り、古い歴史を持つ。大山街道ふるさと館は、こうした地域に関わる歴史・民俗等に関する資料や、地域にゆかりのある美術・文学作品などの展示を行うとともに、市民に学習の場や交流の場を提供する文化施設である。

なお、平成18年度から、指定管理者による管理運営を行っている。

(1) 博物館事業

企画展を次のとおり、年5回開催する。第1回「ふれあいクラブ高津 趣味の作品展」第2回「絵図・絵葉書・雑誌にみる 高津」第3回「給水開始100年ー近代川崎を切り拓いた水道ー」(市民ミュージアム・市上下水道局と共催)第4回「二子と多摩川」(仮称)第5回「地域が創出するカルチャー展」、第2回・第3回・第4回企画展では企画展記念講演会を開催する。企画展開催時以外の時期は、常設展「大山街道ー二子・溝口宿ーふるさとの歴史・民俗・生活」展を開催する。館内スロープではミニ企画展(大山街道の宿場めぐりや切り絵作品展等)を年7回開催する。常設展の随時更新など。

(2) 歴史文化探究事業

大山街道や地域の歴史を伝え、学ぶ講座として、「ふるさと探究講座」を年3回、「街道学習講座」を年5回、「ふるさとまち歩き講座」を年2回開催する。また、「子ども大山街道探検クラブ」「ふるさと子ども出前授業」「キッズセミナーin 大山街道ふるさと館」など小学生等を対象とした体験的な活動を通して、郷土への愛着心や郷土学習理解のための支援を行う。など。

(3) 地域活性化事業

地域の活性化、ふるさと館諸事業の地域との連携などをねらいとして大山街道ふるさと館地域コーディネーター、サポーターズクラブ、大山街道アクションフォーラム等と連携し、ふるさと館まつり等各種イベント事業を開催する。地域の特色ある専門店からプロの技と知識を学ぶ「まちのマイスター体験講座」を年3回開催し、まちの新たな発見や魅力あるまちづくりに寄与する。「ぶらり散歩」を開催し、二子を散策後、二子唯一の老舗料亭「やよい」を訪ね、地域の歴史を学ぶ。川崎ウォーキング協会との連携により、ウォーキングステーション事業を実施し、市内唯一のウォーキングステーションとして、健康増進とともに、地域の歴史・文化等の魅力を体感する機会とする。など。

(4) 貸館事業

イベントホール、第1会議室、第2会議室、和室の4室について、ふれあいネットによる予約を通じて、各種文化活動等の場として貸館業務を行う。

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額(円)
運営管理費	施設の管理運営に係る経費	22,887,000
設備等保守・修繕費	建物の保守・修繕及び施設整備等	4,992,000
事業費	事業実施に係る諸謝金・印刷費・消耗品費等	737,000

12. 東海道かわさき宿交流館

東海道川崎宿に関する歴史・民俗等の資料展示を行うとともに、市民相互の交流を推進し、市民文化の振興を図るために、平成25(2013)年10月に開館した。

タッチパネルで操作できる映像や模型などによって、川崎市の歴史・文化を掘り下げて学ぶことができる文化交流拠点である。

(1) 通常展示活動

東海道川崎宿に関する歴史、民俗等の資料の展示を行う。

(2) 企画展示活動

リピーター確保の観点から、年4回以上の企画展を行う。

(3) 情報の収集及び提供

東海道川崎宿に関連する施設、機関及び団体等に関する情報の収集に努め、広く市民に対して提供をする。

(4) 活動支援活動

市民等が主体的に行う東海道川崎宿に関する活動に対して支援をする。また、市内小中学校等と連携をし、交流館が児童及び生徒の学習の場や市民等との交流の場となるよう運営をする。

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額(円)
運営管理	施設の維持・管理及び環境整備	(指定管理料) 41,987,000
展示制作業務委託料	展示制作更新費用	2,221,000
工事請負費	施設の修繕費用(1件あたり50万円以上)	2,000,000

13. 公益財団法人川崎市生涯学習財団

公益財団法人川崎市生涯学習財団は、川崎市における豊かな生涯学習社会の実現を図るため、教育、学術及び文化に関する各種の事業を推進するとともに、市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、活力に満ちた市民自治社会の構築に寄与することを目的としている。

川崎市民が生涯学習活動に参画する機会を得ることは、市民一人ひとりが幸せな日々と豊かな人生を築き上げ、人生の目的を達成する上で大変有意義なことであり、当財団は市民のライフステージに応じた生涯学習事業を推進する。

生涯学習を通じて市民相互のコミュニケーションや連携が一層図られるよう、地域における様々な活動への参加や取組を支援するとともに、積極的に生涯学習に関する情報を市民に提供することによって豊かな生涯学習社会の実現と市民の参加と協働による市民主体のまちづくりに貢献する。

(1) 生涯学習に関する学習機会提供事業

「かわさき市民アカデミー」は平成23年度から「NPO法人かわさき市民アカデミー」に運営を移管し、財団は引き続き協働事業として推進する。また、青少年地域間交流事業やキッズセミナー、子ども陶芸教室など青少年事業を実施する。生涯学習プラザ施設を提供する。

(2) 生涯学習に関する活動支援事業

シニア世代がこれまで社会で培ってきた豊富な経験・能力を生かし、主体的に地域社会の多様な課題に向けた様々な活動ができるよう養成講座等を行う。

(3) 生涯学習情報の収集・提供の充実

情報収集・提供体制の充実を図る。

(4) 指定管理施設等の効率的な運営と事業の活性化

指定管理2施設(子ども夢パーク、大山街道ふるさと館)の運営。寺子屋先生養成講座、生涯学習情報収集・提供事業業務、社会人学級事務

(5) 体験講座・研修事業

生涯学習スポーツ講座、文化・生活関連講座(陶芸・文化教室)、放課後子ども総合プラン関係職員研修

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額 (千円)
学習機会提供事業	1 かわさき市民アカデミー協働事業 2 青少年地域間交流事業 (ふれあいサマーキャンプ) 長野県富士見町 島根県益田市 和歌山県古座川町 3 キッズセミナー 4 子ども陶芸教室 5 施設提供事業 生涯学習プラザ施設	70,105
生涯学習活動支援事業	1 シニア活動支援事業 ・シニア活動支援講座 (市民アカデミー地域協働講座) 2 生涯学習ボランティアの養成・派遣 ・生涯学習ボランティア養成 ・生涯学習ボランティア派遣 (小学校P C活用授業、保育、環境学習、陶芸) 3 シニア活動講演会	13,303
生涯学習情報事業	1 生涯学習情報の収集並びに学習相談の実施 2 ホームページ及び生涯学習情報誌による情報発信 ・ホームページ更新回数 ・「ステージアップ」 年4回 各5,000部 ・「メールマガジン」	8,505
施設運営管理受託事業	1 指定管理施設 子ども夢パーク、大山街道ふるさと館 2 受託事業 ・寺子屋先生養成講座 ・生涯学習情報収集・提供事業業務 ・社会人学級業務 ・学校支援センター業務	116,679
体験講座・研修事業	1 生涯スポーツ関連講座 ・スポーツ教室 ピラティス、おとなバレエ、ZUMBA、筋力アップトレーニング、こども体操 他 2 文化・生活関連講座 ・文化教室 写真教室、色えんぴつ画入門、俳句入門 他 ・陶芸教室 陶芸教室、陶芸「一般開放」教室、初心者陶芸教室 3 その他 特別教室 4 放課後子ども総合プラン職員資質向上研修業務 (受託事業)	26,846

14. 有馬・野川生涯学習支援施設（アリーノ）

有馬・野川生涯学習支援施設は、地域における市民の主体的な学習活動の支援を行うことにより生涯学習の振興を図り、個性豊かで活力に満ちた地域社会の構築に寄与することを目的としている。また、地域の人々の自発的な学習や文化活動の拠点である。開設12周年を迎えるにあたり、多世代が「集い、学ぶ、楽しむ」をテーマに市民活動、地域活動の更なる活性化に取り組んでいる。

なお、施設の開館当時より、指定管理者による管理運営を行っている。

主たる事業内容

(1) 生涯学習関連事業の実施

地域における多様性に満ちた市民の社会参加支援、各種主催講座等による学習機会の提供、活動発表の場を提供していく。

(2) 市民活動支援事業の実施

ボランティア活動や市民活動、地域活動などの団体の活動を支援し、市民活動支援コーナーの利用促進、団体交流を行うとともに、地域活動に貢献する人材の育成を図る。

(3) 地域図書室の運営

- ・地域図書室図書の見直し、貸出、返却に関する業務。
- ・地域図書室の活性化。

(新規利用者の拡大、室内演出の充実、地域の学校との連携等)

- ・利用者サービスを充実する。

(蔵書検索システムの導入、タイムリーな新着本の購入、テーマを決めたコーナー紹介、地域図書室からの様々な情報発信等)

- ・市立図書館資料の予約本の取り寄せ、返却業務。

事業内容と予算 ※予算額の（ ）内は1. 生涯学習推進課「社会教育委員会活動（専門部会）」の再掲

事業名	事業内容	予算額（千円）
川崎市社会教育委員会 （有馬・野川生涯学習支援施設専門部会）	有馬・野川生涯学習支援施設の運営に関する重要事項について調査審議する。	(207)
運営管理	施設の維持・管理及び環境整備、地域図書室の利用提供、有料貸館施設の利用提供、各種イベント・講座・教室の実施等	(指定管理料) 44,361

15. 市民スポーツ室（市民文化局）

川崎市では、川崎市スポーツ推進計画において、「スポーツを身近に親しむことができるまち」、「生涯にわたってスポーツを元気に楽しめるまち」、「スポーツを通して仲間とふれあい、地域での交流が深まるまち」、「スポーツに挑戦する喜びがあるまち」、「スポーツを通して川崎の魅力・活力が感じられるまち」という本市が目指す5つの「スポーツのまち」の具体像を示しており、その実現に向けて世代に応じたスポーツ教室の提供や地域の特色となるようなスポーツイベントの開催、スポーツ施設の改修・機能向上、かわさきスポーツパートナーとの連携など、市民一人ひとりがスポーツを楽しむことができるよう多種多様な取組を行っている。

令和3年度においては、次の事業を実施する。

事業内容と予算

	事業名	事業内容	予算額（千円）
市民スポーツ 推進事業	市民体力テストの集い	20歳～79歳を対象とした体力テストを開催し、広く市民に体力の向上と健康増進についての認識を高める。	0
	企業内スポーツ施設一般利用事業	市民のスポーツ施設の利用機会拡充を図るため、市内の企業・学校等と協定を結び、所有するスポーツ施設を一般市民へ開放する。	0
	対外競技派遣	市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会へ川崎市代表選手団を派遣するとともに、国民体育大会等への参加を推奨・激励する。	943
	福島県スポーツ交流事業	川崎市民がスポーツの魅力・楽しさを多面的に感じ、生涯を通じてスポーツを楽しむ契機とするとともに、被災地の復興支援を図るため、市内スポーツ団体に対し、福島県でのスポーツ交流にかかる費用を助成する。	3,000
	各種スポーツ大会等	市民がスポーツ活動を通じて、明るく生き生きとした市民生活の充実を図るために、スポーツ活動への参加の機会として、市民スポーツ大会を開催する。また、健康増進、スポーツ活動の機会提供の一助とするため、「ハートフルエンジョイ事業」の実施や参加型のイベント「川崎市スポーツフェスタ」を開催する。	4,026
	スポーツ指導者派遣	川崎市スポーツ協会の加盟団体が持つ人材を活用し、市民団体の要望に応じてスポーツ指導者を派遣する。	841
	競技スポーツ選手・指導者育成	スポーツ人口のすそ野を広げるとともに指導者育成を通じて、市内競技スポーツの振興を図る。また、本市に縁のあるトップアスリートの輩出の可能性を高めるため、選手の育成・強化支援に取り組む。	2,047
スポーツ・レクリエーション団体補助事業	川崎市スポーツ協会補助金	スポーツの普及振興、指導者の養成、スポーツ団体の育成・援助、競技力の向上等に資するため、スポーツ協会に対し管理運営費等を補助する。	14,322
	川崎市レクリエーション連盟補助金	明るく健康な市民生活に不可欠なレクリエーション活動の普及・振興に資するため、川崎市レクリエーション連盟に対し補助する。	300

総合型地域スポーツクラブ育成事業		幼児から高齢者までの誰もが参加でき、市民に身近な地域でスポーツを通して交流を広げる「総合型地域スポーツクラブ」の設立・運営に向け、地域の自主的な活動を支援する。	425
多摩川を活用したスポーツ大会の開催事業	2021 川崎国際多摩川マラソン	多摩川の河川敷を活用し、多くの市民が参加できる「多摩川ランフェスタ in 川崎」として、「川崎国際多摩川マラソン」及び「多摩川リバーサイド駅伝 in 川崎」を全国に向けて発信し、市民の健康増進とスポーツ交流の一助とする。 また市民の多摩川とのふれあいの機会として「多摩川カヌー教室」を開催する。	19,420
	2022 多摩川リバーサイド駅伝 in 川崎		
	多摩川カヌー教室		
スポーツ推進計画策定事業		令和4年度からを計画期間とする次期「川崎市スポーツ推進計画」を策定する。	800
障害者スポーツ推進事業		障害のあるなしに関わらず、誰もが日常的にスポーツに親しめる環境づくりを進めるため、「障害者スポーツ普及促進事業」「障害者スポーツ振興事業」「障害者スポーツ実施環境整備事業」等を実施する。 また、川崎市障害者スポーツ協会と協会の実施する事業に対し、大会負担金等を補助する。	54,342
スポーツのまちづくり事業	ホームタウンスポーツ推進事業	本市を活動の拠点（ホームタウン）としているトップチームを「かわさきスポーツパートナー」等に認定し、広報・PRを行うとともに、パートナー等と連携した事業等を通じ、本市のスポーツの推進とシティセールスを図る。	3,312
	川崎フロンターレ連携事業	スポーツを通して川崎への愛着と誇り、市民の連帯感を育むため、「川崎フロンターレ」と連携した地域の魅力づくり、市のイメージアップにつながる催事等を企画、実施する。	3,671
	川崎フロンターレ後援会支援	川崎フロンターレ後援会の支援を通じて、市民クラブ「川崎フロンターレ」を支援し、市民との連携を深め、サッカーをはじめとするスポーツの普及と地域活性化を図る。	20,000
	アメリカンフットボールを活用したまちづくり推進事業	富士通スタジアム川崎を拠点として、競技団体、地域、市民と連携して地域活性化や青少年の健全育成を推進するなど、アメリカンフットボールを活用したまちづくりを進める。	8,060
各種委員会活動事業	スポーツ推進審議会	スポーツ基本法第31条に基づき、スポーツの推進に関する重要な事項について調査審議する。	813
	スポーツ推進委員	スポーツ基本法、川崎市スポーツ推進委員規則に基づき、地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の推進者として活動する。	11,923

スポーツ施設運営管理事業	スポーツ施設指定管理事業	区役所と連携し、スポーツセンター等の施設において市民に対し多様なスポーツ活動の場を提供する。 市民のスポーツ活動の拠点として、幼児から高齢者まで誰もがスポーツや健康づくりを楽しみ、またスポーツを通じた人々のふれあいや地域コミュニティの活性化を図る。 施設の管理運営については、指定管理者等の制度により効率的・効果的な運営を行う。	491,070
	スポーツ・文化総合センター事業		424,650
スポーツ施設整備事業	スポーツ施設維持補修	各区のスポーツセンター等について、事故などにより突発的に発生する設備等の故障や破損に対応し、維持補修を行う。	41,350
	スポーツ施設整備	各区のスポーツセンター等について、天井改修、空調設置等の改修を行う。	87,447
スポーツ振興基金の積立		スポーツを振興するため、スポーツ振興基金を積立てる。	200
一般管理事業		消耗品費等の経費	653

16. とどろきアリーナ

「健康・スポーツ都市川崎」のシンボルとして「いつでも、誰でも、身近な生活環境の中で安心して自由に運動できる場」をめざし、平成7年8月にオープンした川崎市最大規模の屋内スポーツ施設である。全国・国際規模のスポーツ競技会から音楽・集会・式典・展示会等多目的ホールとしての機能を持つメインアリーナと市民の日常スポーツ活動振興の場としてのサブアリーナからなり、川崎市の生涯スポーツの拠点としての役割を担っている。平成18年4月から指定管理者による管理運営となり、いつでも誰でも楽しみながらスポーツに親しむことができる「場」と「プログラム」を市民に積極的に提供する施設として、サービス向上と施設の効率的運用を図っている。

事業内容と予算

事業名	期日	対象	内容	指定管理料 (円)
スポーツデー	通年	幼児以上(種目によっては中学生以上) 乳幼児と保護者	健康体力増進を目的とした種目と各種球技種目を行う場を提供し、市民スポーツの普及と向上に努める。 バレーボール・バドミントン・バスケットボール・卓球・パドルテニス・小学生スポーツ・太極拳・キッズコーナー等	219,673,420
トレーニング室	通年	中学生以上	中高生から高齢者まで老若男女から各種競技力向上コースまで、専門トレーナーがそれぞれに合ったメニューを提供し、体力の維持向上を図る。肩こり・腰痛対策、いきいき元気教室等も実施している。 体力測定・体成分測定も予約実施する。	
スポーツサウナ	通年	15歳以上	遠赤外線低温サウナにより身体の各種機能が活性化され、スポーツ後のリフレッシュ効果を図る。※令和3年5月現在利用休止中	
スポーツ教室	年4期	※教室による	幼児から高齢者まで、あらゆる年齢層に対応した各種教室を実施する。スポーツを楽しむ場やプログラムを提供し、市民のスポーツ活動の機会を広げ、基礎技術のマスターと仲間づくりを進める。 親子の触れ合いを深め体力向上を図る教室、高齢者の健康維持向上を図る教室も積極的に実施する。	
スポーツの日 記念事業	スポーツの日	一般市民	施設を無料開放し、気軽にスポーツに親しむ場とする。 メインアリーナ・サブアリーナでは各種スポーツ体験。体育室・研修室では健康体操系並びに子どもの運動広場、トレーニング室も無料開放。	
イベント事業	夏休みなど 3月中旬	小学生以上 一般市民	「鉄棒・跳び箱レッスン」などの短期教室 「アリーナまつり」「防災イベント」など	

17. カルッツかわさき（川崎市スポーツ・文化総合センター）

スポーツや文化、レクリエーションの諸活動に加えて、市民や来訪者が相互に交流するコンベンションなどの多目的な市民活動に対応できる施設とすることで、公園と一体となった賑わいと活力を創出し、都心における総合公園にふさわしい富士見公園の再生と活性化を目指し、平成29年10月にオープンした施設である。主要な施設である大体育室及びホールについては、旧川崎市体育館及び教育文化会館大ホールがこれまで果たしてきた機能を引き続き確保しながら、さらなる機能向上を図っている。

事業内容と予算

事業名	期日	対象	内容	指定管理料（円）
スポーツデー	通年	幼児以上(種目によっては中学生以上) 乳幼児と保護者 一般市民	初心者にスポーツの楽しさを伝えることを目的として、ひとりからでも楽しく参加できるよう、参加者間のコミュニティ形成に努める。 卓球・バドミントン・バスケットボール・はじめて太極拳・はじめてヨガ・はじめてエアロ・アロマストレッチ・健康体操・親子体操等	404,933,972 (文化施設の運営・維持管理に係る費用も含む)
トレーニング室	通年	中学生以上	初めての利用者にも配慮し、希望者にはトレーニング機器等の利用方法の説明を随時実施する。また、身体機能チェックを実施し、チェック結果をもとに安全で効果的な運動アドバイスを実施する。	
教室事業	年4期	*教室による	アクティヴ、カルチャー、調整、スポーツ競技、高齢者、親子・キッズ・ジュニア・健康体操など多分野を設定し、様々な世代が参加しやすいように配慮した各種教室を実施する。	
カルッツ★パラスポサマーフェスタ	8月14日	一般市民	東京パラリンピック開催に合わせ、「パラスポーツ」に興味を持ってもらうため、障害者スポーツ啓発イベントを実施する。	
体育の日記念事業	7月23日	一般市民	体育の日を記念して、カルッツかわさきスポーツ施設を無料開放する。各諸室にて、スポーツ教室やイベント等を開催して、市民がスポーツに親しむ場を提供する。	

18. 川崎市スポーツセンター（幸・高津・宮前・多摩・麻生）

市民が健康で明るく、豊かで活力ある生活を営むためには、スポーツの果たす役割と意義は大変大きなものがある。市民の主体的なスポーツへの取り組みを基本としながら市民のニーズに応え、市民一人ひとりがスポーツ活動を継続し実践することができるように、スポーツセンターの運営管理及び環境整備に努め、様々なスポーツ活動参加の機会を作り、生涯スポーツ社会の構築に寄与することが必要である。

それぞれの施設が地域のスポーツセンターとして機能し、その使命と役割を果たすため、次の点を重点項目として令和3年度の事業を展開する。

- | | |
|--|---|
| <p>(1) 生涯スポーツの活動の場として、施設・整備の充実、スポーツ情報の提供等に努め、市民が利用しやすい施設運営を行う。</p> <p>(2) 個人がいつでも利用できるようスポーツデー・スポーツ教室を開催し、スポーツコミュニティづくりを進め生涯スポーツの振興に資する。</p> <p>(3) 生涯スポーツ推進事業を通して、ライフステージに対応した健康、体力づくりのためのスポーツメニューを提供する。</p> <p>(4) 既存の一般的な種目だけでなく、ニュースポーツ種目の普及を図る。</p> | <p>市民のスポーツニーズに応えるために、各種スポーツ団体とのネットワークシステム化を図る。</p> <p>(5) 利用者が安全にスポーツを行うために、高度の知識と技術を養うための職員研修システムを確立し、事故防止や施設間の情報交換・連携に努める。</p> <p>(6) 個人開放事業（スポーツデー）・団体開放事業（団体貸し出し）・スポーツ教室事業等のバランスのとれた事業展開を図る。</p> <p>(7) 利用者の要望、意見を収集し、スポーツ団体や個人のニーズに応じたスポーツ活動の充実発展に努める。</p> |
|--|---|

事業名	期日		対象	内容	予算額（円）
スポーツデー	幸	月～水、金～日曜	小学生以上 ※種目によっては中学生以上のものもあります。	卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、障害者スポーツ、小学生の日（水曜日午後）の個人開放	(指定管理料)
	高津	月～金曜		中高年のためのリズム体操 バスケットボール・卓球・エアロビクス・健康体操・バドミントン・ヨガ・柔道・剣道、カーディオフィットネスキックボクシング	幸スポーツセンター 39,876,000 高津スポーツセンター 48,850,000
	宮前	月～木、土曜		卓球・バドミントン、リフレッシュ体操、ソフトリフレッシュ体操、太極拳、エアロビクス、シェイプアップエアロ	宮前スポーツセンター 36,000,000
	多摩	月～土曜		バスケットボール、卓球、合気道、バドミントン、やさしいエアロビクス、剣道、ピラティス、アクアウォーキング、アクアビクス、泳法ワンポイントレッスン、認知症予防運動	川崎市多摩スポーツセンター 89,325,000
	麻生	火～日曜		卓球・バドミントン・剣道・柔道・空手・マット運動・健康体操・ヨガ・エアロビクス	麻生スポーツセンター 40,770,417

事業名	期日		対象	内容
体力づくり コース	幸	火曜・水曜 金曜・土曜	中学生 以上	シェイプアップ、リフレッシュ体操、エアロ&リンパ調整、ヨガ初中級、ヘルシーヨガ、エンジョイエアロ
	宮前	火曜（午前） 水曜（午後） 木曜（午前） 土曜（夜間）		リフレッシュ体操、ソフトリフレッシュ体操、エアロビクス・太極拳・シェイプアップエアロ
	多摩	火～土		シェイプアップ教室、楽しむフラダンス、骨盤調整とセルフリフレクソロジー・サタデーナイトはディスコダンス・エアロビクス初級、フロアバレエ・太極拳、モーニングヨガ、アフタヌーンヨガ、サタデーヨガ、ファイティングエクササイズ、おなかスッキリエクササイズ、合気道、ピラティス&ストレッチ、楽しむZUMBA、夜ヨガ
	麻生	火曜（午前・午後） 金曜（午前・午後）		エアロビクス健康体操・ヨガ
障がい者対象 プール教室	多摩	年4期制	18歳以上の 肢体障がい者	肢体障がい者アクアムーブメント
障がい児対象 プール教室	多摩	年4期制	養護学校、支援 学校に通う小学 生知的障がい児	知的障がい児アクアムーブメント
トレーニング室 開放事業	休館日を除く毎日		中学生以上	各種トレーニング器具を利用した体力づくり
健康体力相談	幸	随時	中学生以上	個人相談&健康プログラム
	高津	予約制（有料）	中学生以上 高津のみ 15歳以上	個人相談&健康プログラム、氣功整体、雀スポ
	宮前	随時		個人相談&健康プログラム（体成分測定有り）
	多摩	予約制（有料）		個人相談&健康プログラム
高齢者向け スポーツ教室	幸	年4期制		高齢者
	高津	通年	高齢者	元気塾、貯筋運動
	宮前	年4期制・通年	高齢者	いきいき体操、椅子に座って脳トレ、骨盤すっきりエクササイズ
	多摩	年3期制 年4期制（プール）	高齢者	シニアスイミング、シニアアクアムーブメント ちよきん運動
	麻生	年4期制	高齢者	はつらつ元気体操、生き生き体操、らくらくエアロ、シニアヨガ、いす掛け筋トレ体操
少年・高齢者 スポーツ教室	幸	年4期制	幼児・小学生・ 高齢者	フットサル教室・ジュニアダンス リズム体操
	高津	年3期制	幼児・親子 小学生・高齢者	太極拳、バドミントン、卓球、骨盤姿勢改善、氣功教室、テニス、幼児体操、児童体操、空手、ケイキフラ、チアリーディング、自遊自在からだで遊ぼう、みんなでたのしくダンス！ダンス！、バク転、バスケットボール
	宮前	年4期制	小学生	小学生体育、こどもダンス、アイドルダンス、ジュニアテニス、ジュニアフットサル、キッズチア
	多摩	年3期制 年4期制（プール）	年中～小学生	ジュニアフットサル、剣道、合気道、ジュニアスイミング、ジュニアテニス、キッズチアリーディング、子どもバドミントン
	麻生	年4期制	小学生	ジュニアリトミック、ジュニア器械体操、ジュニアチアリーディング、はじめてのヒップホップ、ジュニア新体操、ジュニアファンクショナル、はじめての剣道、ジュニアバレーボール、ボールで遊ぼう

事業名	期日		対象	内容
幼児・児童 スポーツ教室	宮前	年4期制、夏休み	幼児～小学生 ※種目によって異なります	こどもダンス、アイドルダンス、小学生体育、夏休み特別体操教室、キッズチア、幼児からだ遊び、ジュニアテニス、幼児フットサル
	幸	年4期制	幼児～小学生 ※種目によって異なります。	フットサル・ミニバスケットボール・親子スポーツ・ジュニアダンス
	高津	年3期制 通年 ※種目によって異なります	幼児～中学生 ※種目によって異なります	ジュニアテニス、ジュニアテニスレベルアップ、幼児体操教室、児童体操教室、児童体操チャレンジコース、チアリーディング、チアリーディングレベルアップ、自遊自在からだで遊ぼう、ケイキフラ、ケイキフラレベルアップ、小学生エンジョイバスケ、空手教室、みんなでたのしくダンス！ダンス！、小学生バドミントン、GO!GO!キッズバスケ、新体操
	多摩	年3期制 年4期制（プール）	幼児（年中）～小学生 ※種目によって異なります。	キッズスイミング、ジュニアフットサル、キッズチアリーディング
	麻生	年4期制	幼児～小学生	キッズチアリーディング、ボールで遊ぼう、キッズ器械体操・キッズ新体操、わんぱく体操
成人 スポーツ教室	幸	年4期制	15歳以上	マットコアエクササイズ、ストレッチ&簡単ヨガ、フラダンス（3コース）フットサル、ランニング教室、初心者・初中級バドミントン、バスケットボール、ストレッチ&ジャズ、リズム体操、やさしい健康体操、背骨コンディショニング
	高津	年3期制 通年 ※種目によって異なります		テニス、バドミントン、バドミントンレベルアップ、リセットヨガ、ボディメイキングエクササイズ、卓球、ピラトレ、ベリーダンス、ハワイアンフラ、ナニアロハ、太極拳、ピラティスシェイプ、体幹トレーニング&ストレッチ、パワーヨガ、骨盤姿勢改善、night ヨガ、ZUMBA、夜間バドミントン
	宮前	年4期		卓球、やさしいヨガ、パワーヨガ、ヨガ、バドミントン、ピラティス、ペルビックエクササイズ、ZUMBA GOLD、フットサル、42式太極剣、骨盤すっきりエクササイズ、ナニアロハ、バレーボール、大人のテニス、格闘エクササイズ
	多摩	年3期制 年4期制（プール）		バドミントン、卓球、弓道、テニス、成人スイミング、アクアビクス、4種目泳法指導、剣道、フットサル
	麻生	年4期制		ストレッチ&かんたん体操、骨盤体操、ポールウォーキング、太極拳入門からだリセット、ボディウエイトトレーニング、体幹バランス運動、カーディオエクササイズ、音楽&ストレッチ
親子スポーツ (体操) 教室	幸	年4期制	2・3歳児と保護者	親子スポーツ
	高津	年3期制	未就学児と 保護者	親子体操教室
		年3期制		ぴよんぴよん親子体操
		毎週月曜日		親子リトミック
	宮前	年4期制	0～3歳児と保護者	ママのリカバリービクス
			2～4歳児と保護者	親子スポーツ
	多摩	年3期制	2・3歳児と保護者	健やか親子体操教室（A・B）
年4期制		2歳6か月以上の未就学児と保護者（オムツの習慣が取れた方のみ）	親子スイミング	
麻生	年4期制	幼児と保護者	親子げんき体操、親子音楽うんどうひろば	

事業名	期日		対象	内容
共催事業	多摩	不定期 4月～	一般市民	川崎水泳協会・一般社団法人 AtoZ Sports と共催で乳がん術後のリハビリを目的とした水中運動、水泳教室
		年1回	一般市民	総合型スポーツクラブ・ビルネとの共催事業
	麻生	年1回	一般市民	総合型スポーツクラブ「わ・わ・わクラブ」、「GET」等との共催事業「スポーツのまち麻生わくわくイベント」
	麻生	年1回（7月）	一般市民	麻生区スポーツ推進委員会との共催事業「ニュースポーツイベント」カローリング等の紹介
スポーツの日 記念事業	全館	7月23日	一般市民	スポーツの日を記念して、施設の無料開放・スポーツイベント等を開催する
多摩区スポーツフェスタ	多摩	3月	一般市民	誰もが安心して参加でき、気軽にスポーツを楽しむ機会を提供し、優れたスポーツ選手との交流などを通じて、区民のスポーツの関心を高め、スポーツを通じた健康で元気のあるまちづくりを推進することを目的として実施
幸区民祭	幸	10月中	小学生以上	幸区民祭の開催に併せてスポーツイベントを開催
幸区バスケットボール大会	幸	9月	一般市民	幸区民を対象としたバスケットボール大会の実施
こどもフットサル大会	幸	2月上旬	小学生低学年	フロンターレ幸アシストクラブと連携したこどもフットサル大会の実施
高津区民祭	高津	7月28日	一般市民	タカスポ祭り
高津スポーツセンター提案事業	高津	年1回	一般市民	民間スポーツクラブとの連携でエアロビクスイベントを開催
宮前スポーツセンター提案事業	宮前	年1回	一般市民	宮スポフェスタ（市民スポーツ団体発表会・施設無料開放・他イベント）
宮前スポーツセンター提案事業	宮前	年2回	小学生	夏休み特別体操、レベルアップ体操
川崎市多摩スポーツセンター自主事業	多摩	年1回	指導者 一般市民	日本赤十字社救急法救急員養成講習会
		年1回	指導者 一般市民	着衣泳・水の事故予防講習会
		年2回	高校生以上	認知症サポーター養成講座
川崎市多摩スポーツセンター特別主催事業	多摩	年1回：（夏休み期間中5日間【3回】）	満4歳～中学3年生	夏休み短期水泳教室
		年1回：（春休み期間中5日間）	満4歳～新6年生	春休み短期水泳教室

19. 石川記念武道館

川崎市唯一の武道館として、武道の普及・振興を通して健全な社会環境の発展に役立つように事業を展開する。初心者から高段者まで、小学生から中高年まで幅広く利用することができ、剣道・なぎなた・空手道・柔道・少林寺拳法・合気道の6種目とその他の種目を対象としている。

スポーツセンター同様、指定管理者による管理運営により、主に以下の事業を行い、サービスの向上と施設の効率的運用を図り、その使命と役割を果たすため、次の点を重点項目として令和3年度の事業を展開する。

(1) 個人利用・団体利用・武道教室等のバランスのとれた事業展開を図る。武道教室は初歩から武道に入門するための初心者教室を年2～3回計画している。

個人利用の武道練習・暑中げいこ・寒げいこ・武道演武会の指導については「川崎市石川記念武道館指導者連絡協議会」の武道指導員に委嘱して行う。

(2) 施設の有効活用を図ると共に、石川記念武道館を多くの市民に知ってもらうために、武道以外の施設利用の開拓を行い、ヨガ・ピラティス、幼児スポーツ広場等の教室を行う。

事業名	期日	対象	内容	予算額 (円)
武道練習 (個人利用)	毎週月・火・木・土曜日	小学生以上	個人練習日として、有段者の指導員が実技指導を行う。 (種目) (曜日) (実技指導時間) 女性剣道 火 9:00～12:00 剣道 火・木 18:30～21:30 なぎなた 月 18:30～21:30 火 12:10～15:10 土 15:20～18:30 合気道 火・土 18:30～21:30 柔道 火・木・土 〃 少林寺拳法 木・土 〃 空手道 月・土 〃	(指定管理料) 14,400,000
武道教室	年2回	小学生以上	上記6種目で実施。初歩からの入門基本実技指導をする。	
暑中げいこ	7月	小学生以上	暑さに負けずに心技体の向上を目的に、集中的にげいこをする。	
寒げいこ 鏡開き	1月	小学生以上	寒さに負けずに心技体の向上を目的に、集中的にげいこをする。参加者により鏡開きを行う。	
武道演武会	2月	小学生以上	武道練習による心技体向上の成果を発表し、武道の普及・振興・交流を通して、健全な社会環境の発展に役立つ。	
スポーツの日 記念事業	7月	一般市民	スポーツの日を記念して体験会等を行う。	
体づくり コース	毎週月曜日	中学生以上	ヨガ 13時15分～14時30分	
スポーツ教室	月・木曜日	15歳以上	ヨガ・ピラティス	
	火曜日	2・3歳児 と保護者	幼児スポーツ広場	

20. 青少年の家

青少年のための団体宿泊研修施設として、団体宿泊研修等を通じて、心身ともに健全な青少年の育成を図るため、各種事業を実施する。青少年関連団体の宿泊研修の受入れを行っている他、青少年の社会参加を支援する活動や乳幼児を含めた様々な世代に向けたイベントや講座を多数展開しており、中学校や特別支援学校の職場体験受入れなども行っている。

(1) 事業内容

- ア 団体宿泊研修その他団体研修（以下「団体宿泊研修等」という。）を行うこと。
- イ 団体宿泊研修等に関する指導及び助言を行うこと。
- ウ 団体宿泊研修等に関する調査研究を行うこと。
- エ 資料を収集し、保管し、並びにこれを青少年及びその指導者の利用に供すること。
- オ 本施設及び設備を利用に供すること。
- カ 青年の家その他青少年関係施設、青少年教育団体等と連絡し、協力すること。

(2) 施設設備の整備

利用者が快適な環境のもとで研修が行えるよう自然環境の保護・整備及び施設の保守・管理に努める。

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額（千円）
運営管理	利用団体受け入れ、施設の維持管理、食堂運営 広報、研修等、	80,291
主催事業	ユースワーカーズクラブ、チャレンジ体験クラブ、 ほのぼのスクール、おはなし会、親子リトミック等	

21. ハケ岳少年自然の家

恵まれた自然環境の中で、団体宿泊生活を通して、心身を鍛錬し、もって健全な少年の育成を図るため、川崎市では少なくなった自然の中での活動を子どもたちが自主性をもって取り組めるようサポートする施設である。

川崎市内の小中学校の自然教室等や青少年関連団体の受入れを行っている他、一般の利用も可能であり、施設内の大規模な屋外野外炊飯設備ではバーベキュー等の野外炊事ができ、施設内のアストロハウスでは大型望遠鏡を使用した季節ごとの天体観測が体験できる。

(1) 事業内容

- ア 団体宿泊訓練に関すること。
- イ 野外観察、自然探究その他自然に親しむ学習指導に関すること。
- ウ 野外活動、体育及びレクリエーションに関すること。
- エ 市内の少年団体の指導及び育成に関すること。
- オ 市内の小中学校及び中学校その他の教育機関と連絡し、協力すること。
- カ その他少年自然の家の設置目的を達成するために必要な事業に関すること。

(2) 施設設備の整備

広大な敷地内の整備や森作り（間伐、植樹エリアの整備など）を行い、所内の環境整備を図るとともに、老朽箇所の改修等を計画的に進める。

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額（千円）
運営管理	各種利用団体(自然教室・社会教育団体・家族など)受け入れ、施設の維持管理、食堂運営、広報、研修等	263,829
主催事業	ふじみ星座観察会、ふれあいイベント、指導員講習会等	

2.2. 黒川青少年野外活動センター

野外活動による体験を通して、青少年の自主性及び協調性をはぐくみ、もってその心身の健やかな発達に寄与することを目的として、青少年体験事業、指導者育成事業、黒川・里山事業を実施する施設である。青少年関連団体の受け入れを行っている他、自然体験を始めとする野外活動の知識習得や体験の提供を行う事業を、乳幼児を含む幅広い世代向けに多数行っている。

(1) 事業内容

- ア キャンプ、自然観察等の野外活動に必要な指導及び助言に関する事。
- イ 野外活動の振興及び普及を図るための各種講座の開催に関する事。
- ウ 市内の青少年教育指導者の育成に関する事。
- エ 本施設及び設備を利用に供すること。
- オ 市内の学校その他の教育機関等と連絡し、及び協力すること。

(2) 施設設備の整備

宿泊室、共用施設の内部・外観の日常点検、定期点検による破損・故障箇所等の早期発見と修繕を行う。

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額（千円）
運営管理	利用団体受け入れ、施設の維持管理、敷地内整備、広報、研修等	30,454
主催事業	くろかわプレーパーク、いちにちのあそび(森のようちえん)、焚火カフェ、親子ブッシュクラフト講座ネイチャーボランティア、BBQインストラクター講習会、親子ツリークライミング体験等	

23. 子ども夢パーク

「川崎市子どもの権利に関する条例」の理念が生かされ、子どもが自分の責任で自由に遊び、学び、つくり続けていく子どもの諸活動の拠点施設として、平成15年7月23日に開所した。

自分の責任で自由に遊び、ありのままにいられる場として、水遊びなどができるプレーパーク（冒険遊び場）やサイクリングロード、全天候型スポーツ広場、本格的な機材がそろった音楽スタジオ、ログハウス、乳幼児の部屋「ゆるり」、本が置いてある部屋「ごろり」等がある。また、学校外で子どもたちが多様に育ち、学ぶことを保障する場として、「フリースペースえん」を開設している。

平成18年4月から指定管理者制度の導入により、公益財団法人川崎市生涯学習財団と認定特定非営利活動法人フリースペースたまりばが、管理運営を行っている。令和3年度から4期目となる。

夢パークの3本柱

【子どもの活動拠点】

子どもが自由に安心して集い、自主的及び自発的に活動する拠点。子どもが夢パークの運営等に意見を表明し、参画するために、夢パーク子ども運営委員会が開かれている。（横丁会議・スタジオプロジェクトなど）そして、川崎市長が市政について子どもの意見を求めるために開催している「川崎市子ども会議」の事務室があり、さまざまな活動を展開している。

【プレーパーク】

冒険遊び場（プレーパーク）は、土や水、火や木材などの自然な素材や道具や工具を使い、子どもたちの遊び心によって自由につくりかえられる遊び場。ここでは、子どもたちの『やってみよう』という気持ちを大切に、遊びを制限するような禁止事項をできるかぎりつくらないことで、子どもたちが自分で決めたり、危険を判断したりできるようにしている。

【フリースペースえん】

おもに学校の中に居場所を見出せない子どもや若者たちが、学校の外で多様に育ち、学ぶ場。毎日お昼ご飯を作って食べるなど暮らしをベースにしている。一日の過ごし方は、それぞれの子どもが自分のペースに合わせて、自分でプログラムを考えて活動している。子どもたちの希望に応じて、各種講座がある。※利用には登録が必要。

事業内容

(1) 運営管理

利用者受け入れ、施設の維持管理、視察・見学・実習生等の受け入れなど

(2) イベント事業等

夢パまつり、こどもゆめ横丁、初夢！新春イベント、KUJIROCK（スタジオ利用者によるライブ）、毎日がプレーパークの日（5月GW）、クリスマス、親子でもっとあそぼう会（月1回）、おはなしおはなしパーク（絵本読み聞かせ）月3回、野球・スポーツ大会（年10回程度）、スタジオ講習（月数回）、スタジオ利用、畑の日、おさがりバザール年6回、子ども運営委員会（スタジオプロジェクト、横丁会議等）ほか

(3) 不登校児童・生徒の居場所事業（フリースペースえん）

(4) スタッフ・ボランティア等研修事業

(5) 協働・連携事業

川崎市子ども夢パーク運営会議、夢パーク支援委員会、夢パークをつくりつづける会、世話焼き会、かわさき遊び場ネット、川崎市子ども会議、高津区地域教育会議、高津区子ども・子育てネットワーク会議、子どもの権利の日事業実行委員会、高津区子ども・子育てフェスタ、みやまえ子育てフェスタほか

(6) 情報発信事業

「夢パークつうしん」の発行、ホームページの作成・更新、各種情報誌等への広報、InstagramなどのSNSの活用ほか

事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額（千円）
運営管理	利用者受け入れ、施設の維持管理等	79,747
イベント事業等	プレーパーク運営、子どもの遊びに関わる運営	
スタッフ・ボランティア等研修事業	各種研修、講演会の開催	
協働・連携事業	運営協議会、子ども運営委員会等の運営	
情報発信事業	広報紙発行、ホームページ管理等	
不登校児童・生徒の居場所事業	不登校児童・生徒の受け入れ・支援等	

報 告 編

(令和2年度活動報告)

I 審議会・協議会等の活動

1. 活動内容

(1) 社会教育委員会議の活動

社会教育委員会議は、社会教育法第15条に基づき、川崎市社会教育委員条例により設置され、社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に対する答申のほか必要に応じて調査・研究を行う。委員は公募による市民委員2人を含む20人で構成されている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年度後半からテレビ会議システムを用いた会議開催手法を併用して行った。研究協議については、この新型コロナウイルス感染症のもたらした影響を、様々な角度から捉えることを着眼点としているが、感染拡大防止のための行政運営方針等に基づき、会議時間の短縮を余儀なくされ、十分な協議時間を確保することに困難を生じた。また、県内及び指定都市・全国の社会教育委員との交流、協議の機会についても、概ね書面開催とされた。

ア 審議経過

年 月 日	会議名	会 場	主な内容
令和2年			
6月25日	第1回定例会	中原市民館	令和2年度川崎市社会教育関係予算及び主な事業について
7月31日	第2回定例会	多摩市民館	今期の社会教育委員会議 研究・協議内容について
9月28日	第3回定例会	宮前市民館	全国社会教育研究集会 参加委員の選出について
11月5日	第4回定例会	高津市民館	川崎市議会報告について
12月23日	第5回定例会	宮前市民館	川崎市立労働会館・川崎市教育文化会館の再編整備について
令和3年			
1月25日	第6回定例会	宮前市民館	今期の社会教育委員会議 研究・協議内容について
2月24日	第7回定例会	中原市民館	市民自主企画事業・市民自主学級の実施について
3月24日	第8回定例会	中原市民館	生涯学習推進活動方針について
4月28日	第9回定例会	宮前市民館	「今後の市民館・図書館のあり方」に対する市民意見募集の結果について
※第5回以降はテレビ会議システムを併用			

イ その他

年 月 日	会議名	会 場	主な内容
令和2年			
5月25日	県社教連理事会①	書面開催 (～6/12)	事業報告・決算、事業計画・予算、役員、会則の一部改正について
7月1日	県社教連総会	書面開催 (～8/20)	事業報告・決算、事業計画・予算、役員、会則の一部改正について
7月3日	指定都市社会教育委員連絡協議会	書面開催	各都市提出の協議題及び回答(当番市:北九州市)
10月16日	県社教連理事会②	かながわ県民センター	令和2年度実施事業、研修会、地区研究会について
12月1日	全国社会教育研究大会	書面開催 (～2/5)	講演「社会教育と社会教育委員の役割」
12月23日	県社教連研修会	新潟県	事例発表、シンポジウム、記念講演 (県外は書面及び動画配信～12/31)
令和3年			
	県社教連地区研究会 ① ②	書面開催(配布)	葉山町:人権講和、活動紹介 山北町:人権講和、研究発表

(2) 図書館専門部会の活動

川崎市立図書館の円滑な運営を図るために、令和2年度川崎市社会教育委員会議図書館専門部会を設置した。今期は「新型コロナ、災害時等における図書館」、「図書館の情報発信、アピールの必要性」、「これからの図書館のあり方に基づく取組み」といった課題が挙げられる中、「新しい生活様式における図書館活動について」を調査・研究活動のテーマとした。

年 月 日	会 場	主な内容
令和2年 7月15日	中原図書館 多目的室	1. 委嘱状伝達 2. 部会長・副部会長選任 3. 川崎市立図書館の現状について 4. 今期専門部会の進め方について
令和2年 9月16日	中原図書館 多目的室	1. 報告事項 2. 図書館のあり方に関する懇談会について 3. 宮前市民館・図書館のパブリックコメントについて 4. 図書館専門部会のテーマについて
令和2年 12月8日	中原図書館 多目的室	1. 報告事項 2. 今後の市民館・図書館のあり方について 3. 新しい宮前市民館・図書館を考えるワークショップについて 4. 図書館専門部会のテーマについて
令和3年 3月5日	書面会議にて開催	1. 新型コロナ、災害時等における図書館について

(3) 社会教育委員会議 教育文化会館、市民館専門部会の活動

昭和62年度まで、1審議会で全市的観点からの諮問事項について審議してきたが、昭和63年度から各館別に7審議会（1館10人以内の委員を委嘱）が発足した。また、平成12年度からは公募委員の枠が設けられ、市民参画を一層推進してきた。全庁的な附属機関の見直しに伴い、平成28年度から各館の運営審議会を廃止し、川崎市社会教育委員会議教育文化会館専門部会、各市民館専門部会として調査研究・協議を行っている。

各館別活動内容

館 名	諮問の内容もしくはテーマ	開催月日
教育文化会館	川崎区におけるシニア事業について	6月16日、9月24日、 12月3日、2月20日
幸市民館	「人とのつながり」「SNSを活用した情報発信」	6月26日、9月3日、 12月11日、2月13日
中原市民館	地域を子どもと一緒に学ぶ中原市民館	7月19日、9月24日、 12月15日、2月23日
高津市民館	外国につながる子どもの学習支援のあり方について	7月8日、10月27日 12月8日、2月13日
宮前市民館	人と人をつなぐ市民館とは	7月7日、9月15日、 12月8日、2月21日
多摩市民館	市民館と地域の協働	6月24日、9月30日、 12月17日、2月21日
麻生市民館	10年後の麻生市民館に求められる姿とそれに向けた対応	10月30日、 12月22日、2月21日

(4) 平和教育映像教材等連絡調整会議の活動

平和教育映像教材等連絡調整会議は、視聴覚センターにおける教材と作品の適正かつ公正な収集等を図るため、連絡調整を行う。

年 月 日	会 場	主な内容
令和2年11月24日	川崎市総合教育センター 会議室	平成31年度教材・作品収集報告 令和2年度教材・作品収集計画

(5) 川崎市文化財審議会の活動

川崎市文化財審議会は、川崎市文化財保護条例(昭和34年条例第24号)に基づき、川崎市の文化財指定、認定並びに現状変更等、必要と認められた事項に関して教育委員会の諮問に応じる。委員は10人で構成されている。

年 月 日	会 場	主な内容
令和2年8月3日	川崎市役所 第3庁舎 15階第2会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・二ヶ領用水の国登録記念物登録について ・国史跡橘樹官衙遺跡群の追加指定について ・令和元年度事業報告・令和2年度事業計画について ・その他
令和2年11月19日	川崎市役所 第4庁舎 4階第4・5会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・国登録有形文化財川崎河港水門の現状変更について ・橘樹郡家群跡第32次調査発掘調査現地見学会について ・市指定文化財のき損届等について ・第3回川崎市地域文化顕彰候補について ・その他
令和3年3月24日	川崎市役所 第3庁舎 15階第5会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・国登録有形文化財川崎河港水門の現状変更完了届について ・橘樹学連続講座の実施報告について ・令和2年度案内・説明板設置について ・川崎市民ミュージアム収蔵品レスキュー状況について

(6) 川崎市橘樹官衙遺跡群調査整備委員会の活動

川崎市橘樹官衙遺跡群調査整備委員会は、川崎市附属機関条例に基づき、史跡橘樹官衙遺跡群の調査及び保存整備等に関して教育委員会の諮問に応じる。委員は10人で構成され、調査部会および整備部会の2部会を置く。

年 月 日	会 場	主な内容
令和2年9月14日	市長応接室 川崎市役所第3庁舎 11階会議室	第30回(令和2年度第1回) <ul style="list-style-type: none"> ・整備基本計画(短期計画第1期)基本設計について ・史跡橘樹官衙遺跡群の調査成果について ・その他 ほか
令和2年11月30日	橘樹郡家跡 第32次調査現場 影向寺瑠璃光殿	第31回(令和2年度第2回) <ul style="list-style-type: none"> ・橘樹郡家跡第32次調査現場視察令 ・整備基本計画(短期計画第1期)基本設計について ・史跡橘樹官衙遺跡群におけるサイン案について ・その他 ほか
令和2年12月2日	橘樹郡家跡 第32次調査現場 影向寺瑠璃光殿	第32回(令和2年度第3回) <ul style="list-style-type: none"> ・橘樹郡家跡第32次調査の視察 ・橘樹郡家跡第32次調査成果について ・その他 ほか

令和3年3月25日	川崎市役所第3庁舎 12階会議室	第33回（令和2年度第4回） ・橘樹郡家跡第32次調査の成果について ・「国史跡橘樹官衙遺跡群整備基本計画」短期計画第1期に基づく基本設計の検討状況 ・その他 ほか
-----------	---------------------	---

(7) 社会教育委員会議日本民家園専門部会の活動

平成27年7月1日より、川崎市立日本民家園協議会を廃止し、社会教育委員会議日本民家園専門部会を設置。社会教育委員会議規則に基づき、園の運営に関し意見を述べるとともに事業評価を行う。委員は10人で構成されている。

年月日	会場	主な内容
令和2年7月26日	日本民家園	令和2年度及び令和3年度事業計画について 日本民家園運営基本計画について
令和2年12月19日	日本民家園	園内の視察及び民家園運営基本計画素案（案）について
令和3年3月26日	書面会議	令和2年度事業評価について

(8) 社会教育委員会議青少年科学館専門部会の活動

平成27年7月1日から青少年科学館運営協議会を廃止し、社会教育委員会議青少年科学館専門部会を設置。委員については、学識経験者及び市民委員、市立小・中学校長会の代表者等10人（定数10人以内）で構成されている。

年月日	会場	主な内容
令和2年9月18日	自然学習棟学習室	令和2年度事業計画について等
令和2年12月23日	自然学習棟学習室	青少年科学館運営基本計画について等
令和3年3月26日	（書面会議）	令和2年度事業評価について

(9) 川崎市文化芸術振興会議施設部会の活動（岡本太郎美術館）

川崎市文化芸術振興会議施設部会は、川崎市文化芸術振興条例第9条、川崎市文化芸術振興会議規則第6条に基づき、美術館等の円滑な運営を図るために設置されている。委員は学識経験者5人で構成されている。

年月日	会場	主な内容
令和2年9月18日	岡本太郎美術館	令和2年度事業経過について 令和2年度事業予定について
令和3年3月19日	岡本太郎美術館	令和2年度事業経過・報告について 令和3年度事業予定について 事業評価について

(10) 川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアムあり方検討部会の活動

川崎市文化芸術会議振興会議市民ミュージアムあり方検討部会は、川崎市文化芸術振興条例第9条第1項の規定に基づき行われた諮問により、川崎市市民ミュージアムの復旧・復興に向けたあり方等について審議するために設置され、委員は学識経験者7名で構成されている。

年 月 日	会 場	主な内容
令和2年7月28日	東海道かわさき宿交流館 4階第2集会室	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ミュージアムあり方検討部会について ・市民ミュージアムの活動について ・令和元年度東日本台風による被害の概要について ・市民ミュージアム収蔵品レスキューの状況について ・市民ミュージアムが抱える課題について ・博物館、美術館に関する各種調査について
令和2年9月29日	カルッツかわさき 大会議室1・2 ※委員はテレビ会議システムによる参加	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ミュージアムの役割 ・全国の博物館及び美術館の動向とその考察 ・これまでの市民ミュージアムの活動及び課題 ・現施設について ・現施設を活用する場合の整備手法について ・市民アンケートについて
令和2年11月16日	川崎市役所第4庁舎 4階 第4・5会議室 ※委員はテレビ会議システムによる参加	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートの結果について ・博物館及び美術館の検討ポイント ・現施設について
令和3年3月26日	川崎市役所第4庁舎 4階 第6・7会議室 ※委員はテレビ会議システムによる参加	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎市市民ミュージアムのあり方等に関する答申骨子（案）について ・新たな博物館、美術館の使命について

(11) 大山街道ふるさと館運営懇談会

平成27年度までは、大山街道ふるさと館条例に基づく運営協議会が設置されていたが、条例改正に伴い、引き続き地域の関係団体等からふるさと館の運営管理等について意見を伺い、ふるさと館の管理運営の充実につなげていくために、運営懇談会を設置・開催している。

年 月 日	会 場	主な内容
令和2年7月30日	大山街道ふるさと館 イベントホール	平成元年度、令和2年度活動報告について 令和2年度事業計画について
令和3年3月17日	大山街道ふるさと館 イベントホール	令和2年度活動報告について 令和3年度事業計画について

(12) 社会教育委員会議有馬・野川生涯学習支援施設専門部会の活動

社会教育委員会議有馬・野川生涯学習支援施設専門部会は、社会教育委員会議規則に基づき、施設の運営について調査審議するため設置され、委員は8人で構成されている。

年 月 日	会 場	主な内容
令和2年7月28日	有馬・野川生涯学習支援施設2Fフリースペース	令和元年度事業・収支決算報告及び所管課評価について 令和2年度事業計画・収支計画について
令和2年10月30日	有馬・野川生涯学習支援施設2Fフリースペース	令和2年度上半期の利用状況及び事業報告について
令和3年3月10日	有馬・野川生涯学習支援施設2Fフリースペース	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

(13) スポーツ推進審議会の活動

スポーツ推進審議会は、スポーツ基本法第31条の規定により、スポーツ推進審議会条例及び同条例施行規則に基づき設置される附属機関で、スポーツの推進に関する重要な事項について調査審議する。

年 月 日	会 場	主な内容
令和2年8月7日	川崎市役所第3庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ団体に対する補助金の交付について ・市民アンケートの実施について ・東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組について ・令和2年度スポーツ事業計画
令和2年11月9日	川崎市役所第3庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度スポーツ関係事業 実施状況 ・市民アンケートの実施について ・東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組について ・令和2年度上半期スポーツ事業報告
令和3年3月24日	川崎市役所第3庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ団体に対する補助金の交付について ・市民アンケートの実施結果について ・川崎市スポーツ推進計画の改定について ・令和2年度スポーツ事業報告

(14) 社会教育委員会議 青少年教育施設専門部会活動

社会教育委員会議規則に基づき、青少年の家、八ヶ岳少年自然の家、黒川青少年野外活動センター及び子ども夢パークの円滑な運営を図るため、施設における各種事業の企画実施について、調査審議している。委員は15人以内をもって組織している。

開催月日	館 名	主な内容
令和2年11月20日	青少年の家	・部会長・副部会長の互選について、青少年の家施設見学、令和2年度事業計画の進捗状況について
令和3年2月8日	子ども夢パーク	・子ども夢パーク施設見学、令和2年度事業計画の進捗状況について、令和3年度事業計画案について

2. 審議会・協議会等委員名簿

(1) 社会教育委員 ◎議長 ○副議長

氏名	役職名	氏名	役職名
◎平川 景子	明治大学文学部教授	遠藤 勝太郎	橘地区連合自治会 会計
○有北 いくこ	NPO法人ままとんきつず 理事	町田 順文	公益社団法人 川崎市幼稚園協会
小林 達也	川崎市立今井小学校長 (小学校長会)	大津 博之	川崎市青少年育成連盟理事
金子 清	川崎市立菅生中学校長 (中学校長会)	篠澤 惺子	宮前区地域教育会議 議長
安藤 勉	川崎市立川幸崎高等学校長 (高等学校校長会)	余郷 昌昭	市民委員
松本 圭司	川崎市PTA連絡協議会 副会長	井口 香穂	市民委員
嶋田 和明	川崎市教職員組合執行委員長	和田 悠	立教大学文学部教授
下田 良一	川崎市総合文化団体連絡会理事	丹間 康仁	千葉大学教育学部 准教授
丹野 典和	公益財団法人 川崎市スポーツ協会 事務局長	金 宝藍	地域コミュニティ・市民活動研究者
林田 奈保美	川崎市地域女性連絡協議会	奥平 亨	特定非営利活動法人 ファザーリングジャパン

(2) 市立図書館専門部会委員 ◎会長 ○副会長

氏名	役職名	氏名	役職名
◎青柳 英治	明治大学文学部教授	菅原 敬子	川崎市総合文化団体連合会 理事 麻生区文化協会 会長
○吉田 武	川崎郷土史研究会会長	秋元 英輔	市民委員
平木 薫	川崎市立宮前平小学校長	渡部 康夫	市民委員
元木 亮二	川崎市立田島中学校長	千 錫烈	関東学院大学社会学部現代社会学科 准教授
日吉 のぞみ	川崎市PTA連絡協議会副会長	渡邊 由紀江	柿生小学校、麻生図書館読み聞かせボ ランティア

(3) 教育文化会館・市民館専門部会委員 ◎会長 ○副会長

	氏名	役職名		氏名	役職名
教育文化会館	◎山澤 和子	日本女子大学客員准教授	高津市民館	笹子 まさえ	特定非営利活動法人 アクト川崎事務局長
	○村社 一夫	教育文化会館 サークル連絡会 会長		松崎 キヨエ	高津区全町内会連合自治会 理事
	今 延子	川崎市地域女性連絡協議会会計		齋野 保史	川崎市立東高津小学校長
	永野 直樹	川崎市立富士見中学校長		田村 富彦	高津区文化協会理事・事務局長
	平川 悦子	川崎区文化協会事務局長			
	野口 恵子	川崎区地域教育会議事務局		◎川西 和子	調査モデレーター
	坂田 友紀子	川崎区PTA協議会顧問		○杉田 壘生	菅生分館利用者懇談会前代表
	杉山 麻由美	市民委員		吉野 晶子	川崎市立土橋小学校長
幸市民館	◎館 勇紀	幸区PTA協議会副会長	宮前市民館	中村 布佐子	宮前文化協会副会長
	○伊藤 俊州	学校法人伊藤塾理事長		川田 和子	宮前区全町内自治会連合会副 会長
	平井 育子	川崎市立西御幸小学校長		山本 良子	宮前第4地区民生委員児童委 員協議会会長
	松井 節子	幸区文化協会評議員		近江 弓子	市民委員
	矢木 秀子	幸サークル連絡会 会長		上村 和弘	宮前区PTA協議会会長
	大塚 謙一郎	幸区地域教育会議議長		◎大下 勝巳	NPO法人かわさき創造 プロジェクト理事
	中川 文恵	市民委員		○小澤 章子	たま学習サークル連絡会会長
	片岡 了	明治大学兼任講師		千野 隆之	川崎市立下布田小学校
中原市民館	◎山田 雅太	かわさき子どもの権利フォーラ ム代表	多摩市民館	吉田 紀代子	多摩区社会福祉協議会副会長
	○日吉 のぞみ	中原区PTA協議会副会長		金丸 照光	多摩区PTA協議会書記
	森脇 晃司	川崎市立下沼部小学校長		近藤 清	多摩区町会連合会常任理事
	梶川 明美	中原区文化協会理事		吉良 幸子	市民委員
	山本 順子	中原市民館サークル連絡会庶務 担当		齊藤 潤	多摩区地域教育会議副議長
	野口 和恵	中丸子南町町内会会長		◎井上 俊夫	麻生区地域教育会議議長
	滝沢 甲子男	中原区子ども会連合会副会長		○橋本 周	麻生区文化協会役員(総務)
	鈴木 保	市民委員		山本 浩之	川崎市立王禅寺中央中学校長
高津市民館	◎迎 スミ子	前川崎市男女共同参画センター 館長	麻生市民館	高橋 慶子	麻生区町会連合会副会長
	○角田 仁	高津区地域教育会議議長		長谷見 香乃	麻生区PTA協議会副会長
	小菅 徹哉	高津区PTA連絡協議会会計監 査		杉森 正男	麻生市民館サークル連絡会会 長
	仙北谷 力	市民委員		角田 季美枝	和光大学現代人間学部非常勤 講師
			三上 由加利	市民委員	

(4) 平和教育映像教材等連絡調整会議有識者

氏名	役職名	氏名	役職名
高橋 弘子	川崎市地域女性連絡協議会理事	長谷川 雅之	中野島中学校校長 (中学校校長会)
加藤 弘行	教職員組合執行副委員長	戒田 洋一郎	宮前区役所生涯学習支援課 社会教育振興係長
遠藤 勝太郎	川崎市社会教育委員	暉峻 僚三	川崎市平和館 専門調査員
中村 ノーマン	多文化活動連絡協議会代表	大野 恵美	人権・多文化共生教育担当課長
小澤 洋一	南生田小学校校長 (小学校校長会)		

(5) 川崎市文化財審議会委員 ◎会長 ○副会長

氏名	専門分野・所属・役職	氏名	専門分野・所属・役職
◎相澤 正彦	美術工芸 (絵画) 成城大学文芸学部教授	大野 敏	建築史 横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院教授
○吉良 芳恵	歴史 日本女子大学文学部名誉教授	関沢 まゆみ	民俗 国立歴史民俗博物館教授
倉本 宣	天然記念物 明治大学農学部教授	星野 玲子	保存科学 鶴見大学文学部准教授
中野 達哉	歴史 駒澤大学文学部教授	御堂島 正	考古 大正大学文学部教授
八木橋 伸浩	民俗 玉川大学リベラルアーツ学部教授	山本 勉	美術工芸 (彫刻) 清泉女子大学名誉教授

(6) 川崎市橘樹官衙遺跡群調査整備委員会 ◎委員長 ○副委員長

氏名	所属・役職	氏名	役職名
◎佐藤 信	東京大学名誉教授	青木 敬	國學院大學文学部教授
○田尾 誠敏	東海大学非常勤講師	大橋 泰夫	島根大学法文学部教授
小澤 毅	三重大学人文学部教授	御堂島 正	大正大学文学部教授
倉本 宣	明治大学農学部教授	鹿野 陽子	岐阜県立国際園芸アカデミー 客員教授
箱崎 和久	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所都城発掘調査部 部長	松田 陽	東京大学大学院 人文社会学系研究科准教授

(7) 社会教育委員会議日本民家園専門部会 ◎会長 ○副会長

氏名	役職名	氏名	役職名
◎菅野 和郎	(博物館学) 玉川大学教授	高橋 正明	川崎市立平中学校校長
○大野 敏	(建築史) 横浜国立大学教授	佐川 昌広	川崎市立平間小学校校長
高橋 典子	(民俗学) シルク博物館副館長	柴田 武	炬端の会 会長
近藤 光雄	(建造物保存修理) 文化財建造物保存技術協会技術 監査役	野口 裕美	市民委員
牧田 伸子	NPO 法人ままとんきつず理事	佐藤 好美	市民委員

(8) 社会教育委員会議青少年科学館専門部会委員 ◎会長 ○副会長

氏名	役職名	氏名	役職名
◎服部 公俊	市民委員	栗芝 正臣	専修大学ネットワーク情報学部 准教授 (デザイン学)
○島田 秀雄	市民委員	白石 久美子	小学校理科教育研究会 会長 (富士見台小学校長)
網屋 直昭	中学校教育研究会 理科部会顧問 (南生田中学校長)	川島 逸郎	日本トンボ学会編集委員 (昆虫学)
田中 徳久	県立生命の星・地球博物館学芸部長 (植物生態学)	常喜 豊	昭和女子大学人間社会学部 特任教授 (動物生態学)
山岡 均	国立天文台天文情報センター 広報室長/准教授 (天文学)	眞壁 総子	NPO 法人ままとんきつず理事

(9) 川崎市文化芸術振興会議施設部会 (岡本太郎美術館) ◎部会長

氏名	役職名	氏名	役職名
◎勅使河原 純	美術評論家	光田 由里	D I C川村記念美術館学芸課長
杉浦 幸子	武蔵野美術大学芸術文化学科教授	室井 絵里	インディペンデントキュレーター
藤島 俊會	美術評論家		

(10) 川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアムあり方検討部会委員 ◎部会長

氏名	役職名	氏名	役職名
◎垣内 恵美子	政策研究大学院大学教授 川崎市文化芸術振興会議会長	榎木 野衣	多摩美術大学美術学部教授
大原 一興	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授	杉浦 幸子	武蔵野美術大学芸術文化学科教授 川崎市文化芸術振興会議施設部会委員
金山 喜昭	法政大学キャリアデザイン学部教授	田中 裕二	静岡文化芸術大学文化政策学部准教授
佐藤 慎也	日本大学理工学部教授		

(11) 大山街道ふるさと館運営懇談会委員及びアドバイザー

委員氏名	役職名	アドバイザー氏名	役職名
島崎 光順	高津区全町内会連合会理事	望月 一樹	神奈川県立歴史博物館学芸部長
川辺 清三	高津区社会福祉協議会 第1地区社会福祉協議会会長	川村 真生	高津区役所まちづくり推進部総務課
高橋 啓子	大山街道アクションフォーラム運営委員		
西村 勇一郎	川崎市立高津小学校長		
山本 喜美枝	高津区文化協会理事		

(12) 社会教育委員会議有馬・野川生涯学習支援施設専門部会委員 ◎部会長 ○副部会長

氏名	役職名	氏名	役職名
◎小倉 敬子	公益財団法人 かわさき市民活動センター理事長	井上 孝志	東有馬町会会長
○生駒 みを	菅生中学校区地域教育会議議長	津田 知充	宮前区第一地区社会福祉協議会会長
伊藤 裕見子	川崎市立有馬小学校長	永野 勝	市民委員
高倉 昭彦	川崎市立有馬中学校長	鴨志田 由美	市民委員

(13) スポーツ推進審議会委員 ◎会長 ○副会長

氏名	役職名	氏名	役職名
◎齋藤 実	学校法人専修大学文学部教授	小野 隆美	公益財団法人川崎市スポーツ協会 専務理事
○菊地 正	川崎市総合型地域スポーツクラブ 育成連絡協議会会長	室谷 龍子	川崎市レクリエーション連盟役員
萩 裕美子	東海大学スポーツ・レジャーマネ ジメント学科教授	浦野 一吉	川崎市スポーツ推進委員連絡協議会 会長
松澤 淳子	早稲田大学スポーツビジネス研究所 招聘研究所研究員 早稲田大学スポーツ科学部非常勤講師	横島 正志	川崎市障害者スポーツ協会事務局長
大橋 博樹	公益社団法人川崎市医師会理事	大原 甫	市民委員
増山 雅久	川崎商工会議所副会頭	高田 由美子	市民委員
鶴見 悦子	川崎市立小学校体育研究会 (川崎市立西梶ヶ谷小学校長)	田中 美恵子	市民委員
大内 孝二	川崎中学校体育連盟 (川崎市立宮内中学校長)		

(14) 川崎市社会教育委員会議青少年教育施設専門部会委員 ◎部会長 ○副部会長

氏名	役職名	氏名	役職名
◎小笠原 茂春	一般社団法人川崎市子ども会連盟 連盟長	小山 新生	日本ボーイスカウト川崎地区協議会 地区協議会長
○番匠 一雅	田園調布学園大学子ども未来学部 子ども未来学科教授	坂本 理恵子	ガールスカウト川崎市連絡会会長
岩本 陽児	和光大学現代人間学部心理教育学 科教授	芳賀 寛	市民委員
落合 隆	川崎市久地小学校長	原田 尚幸	和光大学現代人間学部人間科学科教 授
小沼 謙一郎	川崎市生田中学校長	谷島 義雄	一般社団法人川崎市子ども会連盟副 連盟長(宮前)

Ⅱ 令和2年度事業の評価と課題

1. 生涯学習推進課

(1) 生涯学習の基盤整備

ア 生涯学習推進会議

各区において生涯学習支援課の主管により生涯学習推進会議が開催され、市民の学習や活動に関わる様々な部署の情報交換等が進んだ。区ごとに、生涯学習に関する研修会の実施、施設間の連携推進、区の人材育成計画の策定など、特色ある活動が進められている。

イ 市内大学等高等教育機関との連携

市民への生涯学習支援の方策として、行政機関と市内大学等高等教育機関、また市内大学等高等教育機関相互の連携を推進するために「川崎市生涯学習大学等高等教育機関連絡会議」を開催し、3大学・3専門学校と42の市民向け事業を実施した。

連絡会議構成 川崎市内等12大学、専門学校代表3校、市民文化局、教育文化会館・市民館代表、川崎市生涯学習財団

連絡会議開催日 令和2年7月22日、令和3年3月26日（書面開催）

ウ 施設整備・計画・調査・研究等

概ね10年後の未来を見据え、施設運営や施設整備の方向性を示した「今後の市民館・図書館」のあり方を策定した。

川崎市立労働会館及び川崎市教育文化会館再編整備基本計画を策定した。

社会教育委員会議では、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつついくつかの課題を捉えて研究協議が進められた。

エ 学校施設の有効活用

昭和39年から子どもの安全な遊び場の確保を目的に始まった学校施設開放事業(学校施設有効活用事業)であるが、近年は成人、高齢者等、幅広い地域市民による生涯学習や市民活動の場として学校施設を有効活用していくことが求められている。

学校施設有効活用事業は、各学校に設置された学校施設開放運営委員会にその運営を委託し、校庭、体育館、特別教室の開放を行っており、平成26年1月からは、受益者負担の適正化のため、体育館の利用に伴う受益者負担を導入した。また、各区一校で実施している夜間校庭開放の受付・調整等については、各市民館等が担い、連携して事業を推進している。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大による学校の臨時休業等を受け、学校施設開放運営委員会及び学校等と連携し、必要に応じ、施設開放の中止又は夜間利用時間の短縮等の対応を行ったほか、児童生徒はもちろん、事業に関わるすべての方々の健康・安全の観点から、感染症対策を講じた運営及び利用に向けて、新たに手引きを作成した上で、各学校施設の利用のルールの見直しを依頼するなど、新しい生活様式に即した利用を促し、開放を実施した。

学校図書館の有効活用については、平成17年度から生涯学習推進課が所管課となり、市内学校図書館の開放及び図書の閲覧提供のサービスから、図書の貸出を含むサービスへ移行を図りながら実施してきた。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開放を休止した時期もあり、1校は年度内の再開が出来なかったが、他の9校については夏以降工夫しながら図書の貸出や閲覧のサービスを実施した。

また、社会教育施設に準ずる機能・規模をもつ土橋小学校多目的ホール、犬蔵中学校格技室、生田中学校特別創作活動センター（平成18年度までは川崎市青少年創作センター）、はるひ野黒川地域交流センター（平成30年度から）の4つの学校施設を特別開放施設とし、有料で市民に広く開放を行っている。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大による学校の臨時休業等を受け、必要に応じ、特別開放の中止や夜間利用時間の短縮等の対応を行ったほか、感染症対策を講じた利用に向けて、新たに手引きを作成した上で、新しい生活様式に即した利用を促し、開放を実施した。

さらに、特別教室の更なる活用を進めるため様々な実証実験を行うKawasaki教室シェアリングについては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う縮小などもあったが、継続して実施した。

学校施設有効活用事業の今後については、学校施設を市民の共有財産として、より多くの市民が幅広くかつ公平に学校施設を有効活用できるよう、推進していく必要がある。

(2) 生涯学習情報の収集・提供、学習相談への対応

平成5年から運用を開始した生涯学習情報システムを、平成11年度に「ふれあいネット（公共施設利用予約システム）」と統合し、現在は生涯学習財団のホームページ「かわさきの生涯学習情報」で情報検索することが可能となっている。

データの入力業務を生涯学習財団へ業務委託し、生涯学習財団の所有する豊富な人材情報や学習相談のノウハウを最大限に活用しながら、生涯学習情報の収集・提供事業を行っている。

令和2年度生涯学習情報収集・提供事業業務報告

項目	合計
指導者・人材登録件数	251件
団体・グループ登録件数	251件
相談件数	44件
ホームページ情報更新回数	1,661回
ホームページ閲覧件数	60,482件
講座イベント入力件数	1,623件

令和2年度 各登録件数等

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指導者・人材登録累計	225	227	228	230	232	236
団体・グループ登録数累計	231	235	236	239	241	243
相談件数	1	2	2	3	2	4
ホームページ情報更新回数	146	191	122	123	85	135
ホームページ閲覧件数	5,398	4,823	5,696	5,701	4,930	5,035
講座イベント入力件数累計	28	16	88	110	136	160
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
指導者・人材登録累計	240	241	244	246	248	251
団体・グループ登録数累計	244	244	246	248	249	251
相談件数	4	3	5	5	4	9
ホームページ情報更新回数	118	151	106	115	180	189
ホームページ閲覧件数	5,781	4,755	4,775	4,720	4,179	4,689
講座イベント入力件数累計	247	177	170	84	140	267

(3) 市民学習・市民活動等支援事業の充実

教育文化会館・市民館・分館を中心に、市民の自主的な学習・活動の充実を図るため、3つの「基本方針」と6つの「事業の柱」に基づき、社会教育事業を推進した。

今後、市民自主学級・市民自主企画事業等、市民参画・協働を図る事業をさらに充実させていくために、事業実施方法の見直しや職員の研修、学習情報提供、相談業務の充実が課題となっている。

(4) 人権教育推進事業の充実

共生のまちづくりに向けて市民館で実施している識字学習活動や障がい者社会参加活動等の事業の充実のために、関係機関と連携した協議の場や、事業に携わるボランティアの交流や研修の場を開設した。

ア 地域日本語連絡会 4回（月1回 定例会）

市内の識字・日本語学習活動に携わるボランティアや職員の情報・意見交換の場として実施した。ボランティアが中心となって運営を進める形が定着している。なお、1回～3回、5回、9回～12回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

イ 地域日本語ネットワークのつどい

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

ウ 識字ボランティア研修

各館の活動状況に応じて、それぞれ入門研修及びブラッシュアップ研修を行った。

エ 障がい者ボランティア研修

障がい者の社会参加を進める観点から、「障がい者社会参加活動」に参加するボランティアの人権意識の向上、活動のあり方を考える機会として、単館または複数館合同による「障がい者ボランティア研修」を実施している。令和2年度は全館合同により実施し、ボランティアと職員がともに学ぶ機会とした。

オ 男女平等推進

男女平等の推進に向けては、地域女性団体の自主的な活動を支援するとともに、川崎市男女平等推進行動計画などの動きとあわせて、関係局・機関・団体との連携強化を進めている。平成23年度から、男女共同参画センター（すくらむ21）との連携を進めている。

(5) 家庭教育推進事業

子育てに関する身近な地域での学びの場の提供と子育て情報の収集・提供により家庭の教育力向上を図ることを目的に、市立小中学校のPTAや区のPTA協議会等で家庭教育学級を実施する際に講師派遣等の支援を行うとともに、各区において子育て広場の開設や、家庭教育に関する講演会などを行った。

今後は、区役所等関係機関や地域の子育て支援グループはもちろん、大学や企業等とも幅広く連携しながら、より参加しやすい家庭教育支援の場づくりを進め、地域全体での支援事業を展開していくことが求められている。

(6) 社会教育関係団体活動促進

ア 川崎市PTA連絡協議会

子どもたちを取り巻く様々な課題解決や教育環境の改善に向けて、主体的なPTA活動を推進するとともに、会員誰もが積極的に参加できるような雰囲気の醸成に向け、その組織・運営のあり方や実施事業について適宜指導・助言を行った。今後は、共働き家庭の増加などのPTA活動の厳しい周辺状況も勘案しながら、さらに支援を強化していく必要がある。

イ 神奈川県下市立高等学校PTA連絡協議会

横浜・横須賀・川崎の市立高等学校PTAで構成する協議会の研修支援を行った。

ウ 女性団体（川崎市地域女性連絡協議会）

女性の地位向上や社会参加促進等をめざして行われる様々な事業実施、研究活動等に対して助成・支援を行った。今後の課題としては、基盤となる役員体制の強化、会員数の拡大などのほか、様々な事業展開の中で組織としての有効性をいかに実践に活かしていくかが問われている。

(7) 地域教育活動及び地域学校協働活動の推進

地域教育会議は、子どもがいきいき育つまち、おとなも楽しく学べるまち、あらゆる人々が共に生きる地域社会をめざし、子どもの豊かな成長の支援や生涯学習の推進を担う組織として取組を進めており、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、事業の企画実施に困難を伴う中、51中学校区及び7行政区において、感染症対策をはじめ工夫を凝らしながら、オンラインによる話し合いや事業の実施、コロナ禍を踏まえた広報物の企画発行など、地域の実情と特性に応じた取組を行った。また、令和2年度から、中学校区地域教育会議を国の示す「地域学校協働本部」を兼ねる組織として位置づけ、地域教育コーディネーター（地域学校協働活動推進員）の設置等に向けて、地域教育会議行政区議長会を中心に、地域と学校の調整や地域教育コーディネーター養成講座の開催等に取り組んだ。また、学校教育を支援する地域人材を学校へ紹介、派遣するために7区に設置していた学校支援センターについては、生涯学習プラザに集約をすることで、業務時間の延長や各区で管理していた支援者情報の統合等による支援体制の強化を図り、地域人材による学校支援活動を推進した。

地域教育ネットワーク推進会議は、本市におけるコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）と、地域教育会議（地域学校協働本部）を一体的に推進し、地域と学校の連携協働体制を構築するため、必要な事業の実施に向けて、連絡調整を行うために令和2年度から設置された会議である。初年度は、それぞれの団体の事業を互いに伝えあうことを目的に年3回の会議を開催した。今後は連携協力体制を築くための取り組みについて話し合いを進めていく予定である。

(8) 子どもの参加意見表明の場の拡充

「川崎市子どもの権利に関する条例」にもとづき、子どもの参加・意見表明の場としての第19期川崎市子ども会議を開催した。新型コロナウイルス感染防止のため6月からの実施となったが、13人の子ども委員が19回の会議に参加し、諸活動を展開した。3月には市長へ一年間の活動報告を行った。また、各7行政区、51中学校区の子ども会<60>'21 社会教育要覧 No68

議については、コロナ禍の影響でそれぞれの実情に応じた活動など行った。

12月に行われた「かわさき子どもの権利の日のつどい」には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、多摩区子ども会議が代表して参加し、あらかじめ行ったアンケート内容を踏まえ、コロナ禍や子どもの権利などについて話し合いを行った。2月に予定されていた「かわさき子ども集会」については、対面による開催を見合わせ書面開催とし、各子ども会議の活動の様子について情報共有を行い、今後の活動の参考にする取組を進めた。

(9) 地域の寺子屋事業の推進

地域の寺子屋事業は、①子どもたちに、さまざまな学習機会を提供することにより、学ぶ意欲の向上や豊かな人間性の形成を図る。②地域ぐるみで子どもの教育、学習をサポートする仕組みづくりにより、地域の教育力向上を図る。③シニア世代をはじめとする地域人材の知識と経験を活かして、多世代で学ぶ生涯学習の拠点をつくる。ことを目的に実施している。

令和2年度については、市内全小・中学校での実施に向け55か所から65か所へ拡充するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による規模の縮小や休止などもあったが、徹底した感染症対策のもと、平日週1回放課後の学習支援、土曜日等月1回の体験活動・世代間交流を行った。

小・中学校全校での実施に向けては、寺子屋先生やコーディネーターなど、寺子屋の活動を担う人材の確保が必要である。

(10) 社会教育職員研修

研修名	対象	回数	内容
初任者研修	社会教育職員（新任・未経験）	5回	社会教育初任者として必要な基本的知識や実践的能力を養う 124人
指導・経営研修	社会教育職員（主任～課長・施設長）	1回	職場をまとめ、指導・補佐する職員や施設を経営する職員として必要な能力を養う 9人
生涯学習研修	社会教育職員・学校教職員・市民	2回	生涯学習・学社融合に関する基本的な知識や実践的能力を養う 21人
人権研修	社会教育職員・学校教職員・市民	1回	人権に関する知識や感性を獲得し、基本的・実践的能力を養う 21人
課題研修	社会教育職員・学校教職員・市民	5回	社会教育における様々な課題について問題意識・専門性を高める 94人
自主グループ研修（3グループ）	社会教育職員（原則として社会教育職務経験2年以上）	32回	社会教育職員がその専門的能力の向上を図るための自主的研修を支援する 17人
市民館基礎Ⅰ研修	教育文化会館・市民館職員（新任・未経験）	5回	市民館の役割や課題を理解し、基本的な業務に必要な実践的能力を養う 39人
市民館基礎Ⅱ研修	教育文化会館・市民館職員（事業担当2年目）	5回	市民館の役割や課題を理解し、基本的な業務に必要な実践的能力を養う 27人
図書館職員研修	図書館職員・学校図書館関係職員	5回	図書館の役割や課題を理解し、基本的な業務に必要な実践的能力を養う（コロナウイルス感染拡大防止のため中止2回） 21人
博物館職員研修	博物館職員・学校教職員・市民	1回	博物館の役割や今日の課題を学び、業務に必要な実践的能力を養う（コロナウイルス感染拡大防止のため中止1回） 0人
研修報告会	社会教育職員・社会教育関係委員他	1回	自主グループ研修の成果を発表し共有する 22人

昨今の人事異動で、社会教育初任者が増えている傾向にあり、様々な施設の職員間の情報交流時間を多く取り入れ、これからの業務などで連携が取れるように心がけた。

また、経験を積んだ職員を対象とし相互学習型の研修である自主グループ研修のテーマ設定については、今年度も研修推進委員会の協力を得て設定することができた。そのような中でも、業務に直接つながる内容で、3つのグループが立ち上がり、「若者向け事業について」「図書館利用に困難のある方々に向けたサービスの今後の方向性について」「市民館EXPO事業について」をテーマに、3グループで実施することができた。

さらに、「人権研修」では、「子どもの人権について」、「課題研修」では、社会教育施設での課題を探り、「市民に向けた生涯学習事業の情報配信の方法を探る」をテーマとした研修を実施した。「指導・経営研修」では、「市民と行政の連携・協働を支える社会教育の役割」というテーマで前社会教育委員の大学教授による研修が実施で

きた。各研修の詳細については「社会教育職員研修報告書（川崎市社会教育情報 第34号）」に掲載する。
また、職員の専門性を高めるために、社会教育主事講習等の国や県等が開催する研修会に職員を派遣した。

ア 資格取得研修への派遣

- ・筑波大学 新任図書館長研修（1人）
- ・国立教育政策研究所 図書館司書専門講座（1人）
社会教育主事講習A（2人）

イ 神奈川県教育委員会が実施する研修への派遣他

- ・生涯学習指導者研修「公民館担当者コース」（5人）

ウ 事業担当者会議の開催

識字学習活動、障がい者社会参加学習活動、平和・人権学習、男女平等推進学習、家庭・地域教育学級、保育関係事業、家庭教育推進事業・PTA活動研修、市民自主事業等、学習情報提供・学習相談事業・広報、市民エンパワーメント研修、シニアの社会参加支援事業、オンライン事業

(11) 生涯学習施設の環境整備

川崎市立労働会館及び川崎市教育文化会館の再編整備については、令和3年1月に基本計画を策定した。鷺沼駅周辺再編整備に伴う宮前市民館・図書館の移転・整備については、令和2年8月に基本計画を策定した。また、老朽化した社会教育施設の維持補修等を行った。

本市の社会教育施設は、建築後30年以上経過している施設が約4割となるなど、老朽化等が課題となっていることから、市民の生涯学習活動を支えるとともに、多様なニーズに対応するため、社会教育施設の一層の利用環境の向上を図る必要がある。

2. 文化財課

(1) 「川崎市文化財保護活用計画」に基づく取組の推進

市内の歴史・文化資源である文化財を生かした魅力あるまちづくりを推進するために策定した川崎市文化財保護活用計画に基づき平成 29 年度から運用している「川崎市地域文化財顕彰制度」により、第 3 回地域文化財として 28 件を決定し、顕彰した。

(2) 文化財の調査

市域の文化財に関する調査を実施している。令和 2 年度は、川崎市域古文書所在調査団に委託し、麻生区の 1 ヶ所で古文書所在確認調査を行った。

建築行為及び開発行為等に伴う埋蔵文化財の照会・協議については、事前照会・相談業務 2,618 件、届出 289 件であった。その内、試掘・確認調査を実施したもの 72 件、さらに本調査となったものが 12 件あった。本調査では、道路拡幅工事に伴う野川神明社遺跡第 7 地点、個人住宅建設工事に伴う野川西耕地遺跡第 12 地点、個人零細事業に伴う十三菩提遺跡第 19 地点、宅地造成工事に伴う梶ヶ谷神明社上遺跡第 3 次調査、共同住宅建設事業に伴う小杉御殿町遺跡第 5 地点、中央新幹線建設事業に伴う片平富士塚遺跡第 2 地点、特別養護老人ホーム建設事業に伴う蟹ヶ谷四方之嶺遺跡第 1 地点、個人零細事業に伴う小台遺跡第 7 地点、霊園整備に伴う早野上ノ原遺跡第 5 次調査、個人零細事業に伴う下作延南谷遺跡、サービス付き高齢者住宅建設事業に伴う蟹ヶ谷四方之嶺遺跡第 2 地点、宅地造成事業に伴う向ヶ丘南原遺跡第 2 地点の発掘調査、橘樹官衙遺跡群の内容確認調査 1 件、塚越古墳の内容確認調査 1 件を行った。

(3) 文化財の指定

令和 3 年 3 月 26 日に橘樹官衙遺跡群が国史跡に追加指定となった。

(4) 指定文化財の保存修理・史跡整備等

指定文化財を良好な状態で保存し、後世に伝えるため、菅獅子舞保存会が所有する獅子舞が被る水引の新調に伴う事業に補助金を交付した。

国史跡橘樹官衙遺跡群については、「国史跡橘樹官衙遺跡群整備基本計画」短期計画第 1 期に基づき基本設計を実施した。

(5) 文化財の普及啓発

教育委員会では、平成 2 年度から所有者の協力を得て、指定文化財等の特別公開を実施している。令和 2 年度は、戦時中供出された半鐘の里帰りを受け「故郷に帰った半鐘展」を企画し川崎市役所第 3 庁舎において特別展示を実施した。

史跡・埋蔵文化財の調査成果や内容を市民が広く活用する機会を提供するため、様々な普及活動を実施した。史跡橘樹官衙遺跡群（平成 27 年 3 月 10 日指定）については橘樹郡家跡第 32 次確認調査現地見学会や史跡めぐり、橘樹学連続講座「古代橘樹を知り、活用する！！」を開催し、史跡の認知度向上に努めた。

文化財調査・研究の成果を『文化財調査集録』第 55 集、『平成 31 年度・令和元年度 川崎市埋蔵文化財年報』、『川崎市リーフレット②令和 2 年度橘樹官衙遺跡群保存活用事業 橘樹学連続講座 古代橘樹を知り、活用する！！Ⅰ』として刊行した。

(6) 地名資料室の活動

地名に関する図書・地図等を収集保存、公開する施設として、平成 8 年に高津区のとくのかわさき 4 階に設置された。地名に関する蔵書数は 6 万点以上、全国郡誌も 300 点を超える。地名散歩や地名塾といった公開講座に加え、小中学生を主な対象に「シールで学ぶ川崎の地名」事業・夏休み宿題相談を実施した。

3. 図書館・図書館分館

(1) 図書館利用

令和2年度については、新型コロナウイルス感染防止対策による臨時休館等の影響から図書館全体の利用状況に様々な影響が出た。特に貸出利用に関わる統計では前年度に比べ大幅な減少を余儀なくされた。まず、個人貸出の冊数は548万冊となり、前年度654万冊から約16%減少した。さらに貸出人数については約18%減の233万人と大きく減少した。また登録人数は一定期間利用のない登録を整理したこともあり、1万9千人減の39万4千人になり、その内、令和2年度に1回以上貸出等を行った利用者人数は約20%減の14万人にとどまる結果となった。

しかし、約2ヶ月間予約の受付を中止していたにも関わらず予約受付冊数については約5%の減少にとどまり、180万冊以上の予約件数があった。これは在宅時間の増加等とともに、コロナ禍においても市民の読書への意欲が大きく下がっていないことを示していると考えられる。予約・回送冊数は241万冊と減少はしたものの、市立図書館全蔵書数の1.2倍以上の資料が各館を巡っていることとなり、一部のサービスが制限された状況下においても資料が有効かつ効率的に利用されている状況を示している。

なお、団体貸出については195団体に、19,460冊の貸出を行った。

(2) 市民への情報・資料等の提供の向上

市立図書館のホームページの利用は、臨時休館に伴う予約受付の中止等もあり、検索画面のアクセス件数が前年度の70%の利用にとどまった。しかしながらホームページの改善には継続して取り組み、以前から要望が多かった「予約かご」サービスを3月16日から実施できるようにした。これらのサービス拡充等もあり3月のトップページへのアクセス件数は前年度より多くなった。外出自粛等によりインターネットを通じて情報を得る状況が定着してきている。市民、利用者の情報取得のツールとしての図書館ホームページの活用はさらに重要となっている。開館状況のお知らせ等、図書館情報の周知には図書館ホームページの役割がさらに高まるなかで、より市民や利用者を使いやすく、親しみやすいホームページの運用を進めていく必要がある。

また、市民と情報・資料をつなげるため、各館で実施している特集コーナーなどは、市民生活における調べものや調査研究的な用途・ニーズに対応できる図書館の特性を生かした企画がより重要となっている。個人の読書だけでなく、市民や地域の課題解決に役立つという役割が増え、それに見合った図書館のあり方に対応する資質向上が図書館職員に求められている。

(3) ICT化・デジタル化によるサービスの向上と図書館管理運営の効率化

川崎市立図書館ではICT推進を重要施策の一つとして取り組んでおり、中原図書館に自動貸出機、無断持ち出し防止装置(BDS)のほか自動書庫、自動予約棚等を整備するとともに、地区図書館全館にも自動貸出機、BDSを導入してICTを活用した図書館サービスの向上を推進している。

特に自動貸出機については、自動予約棚のある中原図書館では利用率が80%以上となっているほか、川崎図書館においては40%近くの利用率があった。その他の館でも概ね25~30%の利用があり多くの利用者に認知されている。特にコロナ禍においては、職員との非接触による貸出の需要は高まっていくと考えられ、今後もICT化の推進により図書館運営の効率化や図書館サービスの多様性の充実を図る必要がある。令和3年3月には、新たな生活様式にも対応できるように有料宅配サービスの試行実施に向けて図書館ホームページの一部を改修した。それに伴う予約登録の簡便化の一環として、利用者からの要望も多かった、複数の資料をまとめて予約登録ができる前述の「予約かご」機能を追加導入した。

この他、図書館資料のデジタルアーカイブ化などにも取り組んでおり、郷土関係資料を中心に一部の資料についてはホームページに掲載し広く利用に供している。今後も資料デジタル化を推進し、さらなる活用を図っていく。

(4) 「読書のまち・かわさき」の積極的な展開

現在まで、「読書のまち・かわさき」への取り組みとして、市立小中学校、大学、議会図書室、J1川崎フロンターレ、区役所、県立川崎図書館、商工会議所等との連携業務、図書のリユース、各種市民団体・機

関等との連携等を広範かつ積極的に展開しながら、「第3次読書のまち・かわさき子ども読書活動推進計画」に基づく取組を推進してきた。

さらに、市立小中学校との連携については、小中学校全校及び特別支援学校図書館が図書館総合システムにより運用されているほか、授業支援（関係資料の収集・提供）、調べもの学習、図書館見学、職業体験等の受入にも取り組んできた。また学校から要望の多いテーマに沿った資料をあらかじめ選書し、テーマごとにセットにした「授業支援図書セット」の学校への団体貸出にも対応できるようにしてきたところである。

しかしながら令和2年度については、コロナ禍による図書館の臨時休館や学校の休校等もあり、また「おはなし会」や各種イベントの中止など、例年通りの読書普及の展開が困難であったが、毎年各区で実施している学社連携会議においては、総括学校司書やボランティア研修への協力など区内学校図書館への市立図書館の参画、連携強化の要望も高く、今後も学校との協働をさらに深めていく必要がある。

その中で、川崎フロンターレとの連携事業である「川崎フロンターレと本を読もう！」は、令和2年度においても関係団体、関係部署と協力して事業を推進した。読書啓発リーフレット『キックオフ！“読書のまち かわさき” vol.12』や特製しおりの発行・配布のほか、各館でのフロンターレコーナーの設置等を引き続き行った。さらに、オンライン開催となったが、「フロンターレ選手と本を楽しもう！」を実施し、絵本や紙芝居の読み聞かせや選手への質問など、川崎フロンターレと図書館による読書普及の連携事業を積極的に展開した。

他都市との利用協定については、稲城市、狛江市、町田市、横浜市と提携しているが、特に横浜市への利用では、令和2年度までに3,114人の市民が横浜市図書館に登録し、約1万3千冊の貸出利用の実績があった（横浜市調べ）。今後も川崎市立図書館における横浜市民の利用状況の増などにも注視しつつ横浜市を含む利用協定自治体との円滑な連携を推進していく。

なお、大学連携については、これまで協定を結んでいた日本女子大学西生田図書館が移転に伴い12月で利用を終了した。

(5) 施設整備等

各図書館の長寿命化対策を計画的に進めているが、令和2年度においても高津図書館をはじめ、各館において必要な長寿命化に係る整備を進めた。

また、コロナ禍における感染防止対策として、カウンター等への飛沫防止シートなどの設置、閲覧席のソーシャルディスタンスへの工夫、貸出等での間隔整列の表示など、各館の状況に合わせた整備を行った。さらに、川崎、幸、中原図書館のみに設置されていた本の「除菌ボックス」を分館、閲覧所を含め全館に設置し、利用者が安心して安全に利用ができる図書館環境の整備に努めた。

(6) その他

- ・令和3年3月に「今後の市民館・図書館のあり方」が策定された。今後、図書館は、「市民にとって役立つ、地域の中で頼れる【知と情報の拠点】をめざして」を基本理念に、「一人ひとりの市民が使いやすいしくみづくり」、「多様な利用ニーズに対応した読書支援」、「地域や市民に役立つ図書館づくり」を基本方針として、これからの図書館事業に取り組んでいくこととなった。
- ・図書館資料の収集については、引き続き中原図書館で集中選定を実施した。資料購入や市全体での複本冊数の調整などを行い、限られた予算の中でタイトル数の確保など効率的な執行に努めた。
- ・令和2年8月、JR鹿島田駅に「図書返却ボックス」（市内6カ所目）を新たに設置した。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和2年2月末から各館での「おはなし会」等を中止するとともに、3月からは閲覧席利用や新聞・雑誌の最新号の閲覧を停止した（貸出・返却、予約等は可能）。さらに4月11日から5月26日までの緊急事態宣言では臨時休館を行ったが、令和3年1月12日から3月21日までの2度目の緊急事態宣言では、臨時休館はせず、中原図書館のみ平日の閉館時間を夜9時から8時に繰り上げた。なお、「おはなし会」定期開催の中止や閲覧席の間引き等、一部サービスの制限は継続した。

4. 教育文化会館・市民館（幸・中原・高津・宮前・多摩・麻生）・

分館（大師・田島・日吉・橘・菅生・岡上）

本市における社会教育振興事業は、生涯学習推進課と社会教育施設の役割分担を明確にしなが、教育文化会館・市民館・分館等の社会教育施設を中心に展開している。

教育文化会館・市民館・分館では平成15年度から新たな事業体系の構築に取り組み、社会や地域の課題の解決に向けた「学びの場づくり」に市民が直接参加していく仕組みを強化することにより、市民と市民、市民と職員との協働によって各種事業を展開し、新たな公共性の創出に寄与することをめざしてきた。このことに伴い開始した市民自主学級、市民自主企画事業は、今日では市民と行政が協働で行う市民館事業として定着し、幅広い展開を見せている。

また、平成19年度には「教育文化会館・市民館・分館 社会教育振興事業検証・検討委員会」を設置し、これまでの課題を整理すると共に、時代の要請に柔軟に対応できる事業体系のあり方について検討を進め、平成20年度から、3つの基本方針と6つの事業の柱に基いて、事業展開を図っているところである。

今日では、自然災害や社会経済の様々な変化を受け、地域での絆づくりと市民が主体的に地域社会の創造に寄与していくための社会教育事業を展開していくことが求められている。

(1) 令和2年度の事業実施状況

	事業名	実施館	事業数
推進学習事業 社会参加・共生	識字学習活動	教文・6市民館	13事業
	識字ボランティア研修	5市民館	8事業
	社会人学級	生涯学習プラザ	1事業
	障がい者社会参加学習活動	教文・3市民館	4事業
	障がい者ボランティア研修	全市	1事業
市民自治基礎学習事業	平和・人権学習	教文・5市民館	9事業
	男女平等推進学習	教文・6市民館	11事業
	家庭・地域教育学級	教文・6市民館・5分館	17事業
	市民館保育活動	教文・3市民館・1分館	35事業
	保育ボランティア研修	4市民館	4事業
	家庭教育推進事業 (PTA家庭教育学級、子育て支援啓発事業、家庭教育支援講座)	教文・6市民館・3分館	
市民学習・市民活動 活性化学習事業	市民自主学級	教文・5市民館・4分館	13事業
	市民自主企画事業	教文・6市民館・3分館	12事業
	市民エンパワーメント研修	教文・6市民館・4分館	17事業
	PTA活動研修	教文・6市民館	7事業
	生涯学習交流集会	教文・5市民館・3分館	9事業
	表現・舞台活動支援事業	1市民館	1事業
	学習情報提供・学習相談事業	全館	
市民・行政協働・ネットワーク学習事業	地域教育会議	教文・6市民館	
	課題別連携事業	教文・4市民館・3分館	18事業
	地域学習・文化団体連携推進事業	全館	
	生涯学習推進会議	教文・3市民館	
現代的課題対応学習事業	シニアの社会参加支援事業（入門コース）	教文・5市民館・5分館	13事業
	シニアの社会参加支援事業（活動コース）	教文・5市民館	6事業
	地域コミュニティ交流・学習事業	2分館	3事業

教育文化会館・市民館学習環境整備事業	社会教育委員会議専門部会	教文・6 市民館
	刊行・広報活動	全館
	視聴覚ライブラリー事業	教文・6 市民館

(2) 評価と課題

ア 「社会参加」の機会の拡充と共生社会の創造

教育文化会館・市民館・分館では識字学習活動や障がい者社会参加学習活動などを通じて社会参加の機会を得にくい外国人市民や障がい者等の参加や学習の機会を提供してきた。事業の実施に当たってはボランティア研修などを開設しながら、地域のボランティアとの協働を推進し、あらゆる市民が地域で共に生きる社会の創造を目指してきたところである。

一方で、地域におけるシニア世代（団塊の世代等）の活用という課題が、社会的・行政的に大きくなっている中で、教育文化会館・市民館・分館では、シニア世代の地域参加を支援する事業を行ってきた。

市民自治の推進を目指して、今後も、年齢や性別、人種に関わらず、様々な市民が市民生活を営む上で必要な力を養う機会を提供し、社会参加を促進していく必要がある。

イ 「市民参画」「市民協働」の機会の拡充

市民自主学級や市民自主企画事業などを中心に社会や地域の課題解決をめざした学びの場づくりに、市民が直接参画していく仕組みを強化し、市民主体の社会教育・生涯学習の振興を図ってきた。また、市民館主催の事業においても、企画委員やボランティアといった形での市民の参画を進めてきた。さらに、一つ一つの学級講座についても、参加者同士の話し合いの場面や、参加者に講座運営に協力いただく場面などを積極的に仕掛け、参加者がより主体的に参加・参画できるよう運営していくことについて、職員研修等を行ってきた。今後も、市民が担い手となり市民同士の学び合いの場を創ることを通して、新しい公共性の確立や自主的な市民学習グループの力量形成を図るとともに、関係機関と連携して学んだ成果を地域で活かしていく仕組みづくりを進めていく必要がある。

ウ 市民の学習を支援する学習情報提供・学習相談事業の充実

地域から公共性のある「学びの市民提案」が常に生まれてくるためには、市民の気付きや思いを学習活動につなげていくための支援が求められている。また、行政区の生涯学習をコーディネートし、市民のネットワークをつくりあげていくためには、生涯学習に関する情報を収集し、提供する環境の整備が必要である。

このような考えのもと、教育文化会館・市民館における学習情報提供・学習相談事業の充実に向けて、「情報・相談コーナー」等の整備や、相談員（ナビゲーター）の養成などの取り組みを進めてきた。

今後も、全市的な生涯学習情報提供のあり方と、生涯学習財団等他の施設との連携による効果的な事業展開について引き続き検討を進めていく必要がある。

エ 家庭教育の充実

子どもを豊かに育む地域社会の創造を目指し、子育てに関連した家庭や地域の課題を学習する機会を身近な地域の中で提供し、親として市民としての学びや、保護者同士の交流、学校・家庭・地域の連携を推進してきた。

子どもや保護者を取り巻く地域社会の環境は大きく変化し続けており、家庭教育の重要性を広く啓発することがますます必要である。引き続き、様々な事業を通して、家庭教育を充実させると同時に、家庭と地域との係わりを深めることができる学びの場を提供していく必要がある。

5. ふれあい館（社会教育関連施設）

ふれあい館は、地域に暮らす外国人と日本人が、市民として子どもからお年寄りまで相互のふれあいをすすめることを目的として設置された施設である。

基本的人権尊重の精神に基づき、差別をなくし、共に生きる地域社会を創造していくことを目的として各社会教育事業を実施した。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を全部又は一部中止したものについては、期日欄に当初予定されていた日程を（ ）で表記している。

令和2年度事業報告

事業名		主題・テーマ	期 日		参加者数
社会参加・共生推進事業	識字学習活動	識字学級 外国人市民等と日常生活に必要な会話、読み書きを学びながら、共同学習者と交流を図る。	9/8～3/19 毎週火・金	51回	1,122人
	多文化交流学級	多文化料理講座	12/10	1回	5人
		外国人市民とともに考える防災フォーラム	1/26、29	2回	26人
		フィリピン・中国の文化・語学学習	12/12、19	2回	17人
		地域に暮らす外国に繋がる方に学ぶ	3/24	1回	21人
		川崎市差別のない人権尊重の街づくり	3/25	1回	17人
		アフリカ出身×イスラムとして日本で暮らす	3/14	1回	18人
		世界の遊びで楽しもう！	3/17	1回	10人
	家庭教育学級	感染症と子育て	1/23～2/24	5回	46人
		外国につながる家族のための入学サポート	2/18～4/6	5回	39人
	世代間交流学級	在日コリアン高齢者の余暇活動支援	2/24～3/31	6回	55人
	母国語学級	多文化子どもクラブ	7/1～3/31 隔週水曜日	40回	540人
	ハンゲル基礎講座	初めて学ぶ人のためのハンゲル講座Ⅰ	(9/7～11/16)	-	-人
		初めて学ぶ人のためのハンゲル講座Ⅱ	9/7～11/16	10回	120人
		初めて学ぶ人のためのハンゲル講座Ⅲ	1/18～3/22	10回	83人
	民族文化講座	はじめての人のためのチャンゴ講座Ⅰ	(1/8～2/5)	-	-人
		はじめての人のためのチャンゴ講座Ⅱ	(2/12～3/12)	-	-人
		はじめての人のための二面太鼓Ⅰ	11/19～12/17	5回	10人
		はじめての人のための二面太鼓Ⅱ	(1/21～2/25)	-	-人
市民自治基礎学習事業	人権尊重学級	コロナと人権	10/9～11/21	4回	125人
		誰もが暮らしやすい社会のために	3/5～3/26	4回	60人
	ボランティア養成講座	識字日本語ボランティア入門研修	(10/1～10/29)	-	-人
		識字日本語ボランティアブラッシュアップ研修	3/23、26	2回	24人
	社会教育研究集会	ふれあいフェスタ（講座受講者の発表交流会）	中止		-
	啓発活動・講演会	ぼくは挑戦人～あきらめない心～	12/12		60人
「共生」を求めて～在日とともに歩んだ半世紀		2/13		55人	
広報紙の発行	館だよりとして毎月発行				
運営協議会の開催	地域団体、町内、学校、行政関係者、学識者により館運営について協議	6/1（書面）、11/27		2回	

6. 視聴覚センター（総合教育センター内）

総合教育センター内にある「視聴覚センター」は教育文化会館・各市民館にある「視聴覚ライブラリー」と連携しながら、市民の学習活動・市民活動の支援のため、視聴覚教材（16ミリフィルム・ビデオテープ、DVD等）や視聴覚機材（16ミリ映写機、プロジェクター等）を貸出している。

また、教材購入については、平和・人権・環境等を主題とした平和教育視聴覚教材の整備に努めている。市民の視聴覚（映像）活用を促進するため、わが町かわさき映像創作展を開催している。

(1) 視聴覚教材・機材の貸出し

視聴覚センターは主に視聴覚教材を保有し、視聴覚ライブラリーは主に機材を保有している。教材については視聴覚センターで予約を受け付け、毎週水・金曜日の午前中に集配便を運行し、教育文化会館及び各市民館の視聴覚ライブラリーを貸出しと返却の窓口としている。また機材については、視聴覚ライブラリーで、受付・貸出し業務を行なっている。

ア 貸出用視聴覚教材・機材保有数

教材・教材名	保有数
DVD	351 本
ビデオテープ	3,755 本
16ミリフィルム	968 本
8ミリフィルム	14 本
スライドフィルム	142 本
レーザーディスク	8 枚
TP シート	8 枚
展示用パネル	36 枚
CD-ROM	15 枚

(令和2年度末)

イ 機材・教材貸出し状況（センターからの発送件数）

施設名	貸出件数
教育文化会館	13 件
幸市民館	22 件
中原市民館	44 件
高津市民館	25 件
宮前市民館	24 件
多摩市民館	33 件
麻生市民館	0 件
合計	161 件

(2) 平和教育推進事業

教育基本法の理念に基づき、平和・環境・人権教育等に関する映像教材の整備収集を行い、広く市民の利用に供した。

(3) 第38回わが町かわさき映像創作展

市民及び児童・生徒の創造的な映像創作活動を通して、日常生活のなかに映像文化を位置づけることを目的とし、川崎を様々な視野から記録したり、自由なテーマで制作した作品を募り、審査の上で入賞作品を決定した。入賞した作品は、視聴覚センターで貸出しをしている。

第 38 回わが町かわさき映像創作展 受賞作品一覧

賞	作 品 名	制 作 者
グランプリ	NO Music NO Life	高津高等学校
金 賞	炭焼きの魅力	小林 茂
銀 賞	住吉小学校マスコットキャラクター「すみさく」 誕生物語	2019 年度・2020 年度計画委員会 児童会担当職員
〃	いじめをちょっとの勇気で	有馬小学校 放送委員会
優秀賞	Idachu highlight then and now	井田中学校 放送情報部
〃	とうふ工場見学ツアー	齊藤 亮介
〃	手洗い先生	森谷 一仁
〃	給食おいしいよ	下河原小学校 4 年生
奨励賞	多摩川を渡る	加藤 文明
〃	飼育委員会ビデオ集会	大島小学校 飼育委員会
〃	1 年生の思い出紹介	下河原小学校 2 年生
〃	シグナル戦隊ミギヨルンジャー年末特別総集編	平野 智久

7. 博物館・文化施設

日本民家園、青少年科学館（かわさき宙と緑の科学館）、市民ミュージアム、岡本太郎美術館は、平成 18 年度から財団法人川崎市生涯学習財団への管理運営の委託を廃止し直営とした。大山街道ふるさと館は、平成 18 年度から指定管理者制度を導入した。各博物館は、それぞれに特色ある博物館活動を実践し、施設の魅力向上に向けた取組を続けている。平成 22 年度に市民ミュージアムと岡本太郎美術館は市民・こども局（平成 28 年度より市民文化局）へ、大山街道ふるさと館は高津区役所へ移管されたが引き続き連携体制を組んでいる。生田緑地の 3 施設については、学芸業務を直営とする一方で、緑地全体の効率的運営を図るため、平成 25 年度から管理運営業務について指定管理者制度を導入しており、市民ミュージアムでは平成 29 年度から指定管理者制度を導入した。

(1) 日本民家園

日本民家園では、前期企画展「うんことくらし-便所から肥やしまで-」として、暮らしに欠かすことのできない便所に焦点をあて、し尿処理や下肥としての利用などについて紹介した。展示のなかでは「おしりふきの道具」など、子どもにも親しみやすいハンズオンコーナーを設置したが、感染症対策として、4月以降はハンズオン展示を取りやめた。後期企画展「暑さ寒さも彼岸まで-民家と四季-」では、気候に応じた建築上の工夫や民具を取り上げた。展示室内だけでなく、古民家への注目を促すために展示に合わせた園内マップを作成。展示解説は密を避けるため、屋外で実施するなど状況に応じて対応した。

年中行事展示は月替わりで節句・盆行事・収穫祝い・雪囲い等を行った。また、体験講座の開催、歌舞伎舞台の内部公開などの催しの他、古民家の旧所在地交流事業を実施した。

保存修理では、旧作田家住宅の耐震補強・修理工事の設計、旧清宮家住宅屋根修理工事、その他補修工事等を行った。

また、施設整備としては、旧広瀬家住宅園路・排水整備工事、警備員詰所改修工事、本館地下漏水排出対策工事、本館外壁補修工事、園内支障木管理、シロアリ調査等を行った。

今後も引き続き、日本民家園部会から指導助言を得ながら文化財建造物維持管理、耐震補強、収蔵資料整理、展示や教育普及活動の充実、炉端の会による床上公開・園内案内・諸活動の充実、学校との連携、広報活動の拡充等、指定管理者との密接な連携を図り、来園者サービスの向上や施設整備等に努めていく。

(2) 青少年科学館（かわさき宙と緑の科学館）

当館においては、平成24年4月のリニューアルオープン以降、一新された施設・設備、プラネタリウム、常設展示等を活用しながら、自然・天文・科学に関する取組の充実を図っている。

館の運営については、青少年科学館運営基本計画及び年間計画により、市直営で博物館事業を実施するとともに、指定管理者による管理運営・広報業務と連携して円滑な運営を図った。

博物館事業については、自然、天文、科学の各分野において、次のとおり実施した。

展示事業では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くのハンズオン展示を休止した。ハンズオン展示の一部を見せる展示に形式変更したほか、写真で生田緑地の四季を感じる「生田緑地の四季だより」コーナーを新設した。天文では最新鋭の投影システムを活かした一般投影を定員200名のところ、100名として継続して、約4万4千人の観覧者を迎えた。また、教育普及事業では、自然では「生きもの教室」、天文では夜間天体観測会「星を見る夕べ」、「プラネタリウムワークショップ」、科学では「サイエンスワークショップ」、「サイエンス教室」等の体験学習事業を幅広い年代向けに実施し、多くの参加者を迎えた。ネットワーク事業では、指定管理者及び地域関係団体との連携による事業は新型コロナウイルス感染症感染状況のため中止となったが、日本民家園との連携による「七夕体験」を実施した。調査研究事業では、川崎市環境局環境調整課と連携しながら実施予定であったが、科学館独自で広報を行い「かわさき生きものマップ」への投稿を呼びかけ、投稿数の増加に働きかけた。収集保存事業では、昆虫綱（半翅目・チョウ目）について自然史資料（標本）の登録や配架、電子台帳の整備を行うとともに、情報機関へのデータ提供・公開を行った。学校との連携・学習支援として、プラネタリウムの学習投影、地層観察等のほか、「21世紀子どもサイエンス事業」による出前科学実験教室等を実施した。

今後に向けては、指定管理者との連携強化による運営体制のさらなる円滑化、広報活動の充実を図るとともに、引き続き職員の専門性確保等に配慮しながら取組を推進する。また、開館50周年に伴う記念事業や関連イベント等、年間を通じた様々な取組を実施する。

(3) 市民ミュージアム

令和2年度は、ミューザ川崎シンフォニーホールで「第54回 かわさき市美術展」、東海道かわさき宿交流館と共催で「昔のくらしと道具展」を開催した。

教育普及事業としては、「社会科教育推進事業」や学芸員が学校に出向いて授業を行う「出張プログラム」、「職業体験」などのスクールプログラムを実施した。

また、令和元年度東日本台風により浸水被災を受けた収蔵品の応急処置、施設の復旧等を行った。

令和2年度の入館者数（館外展示入館・出張プログラム等）は、5,298人であった。

(4) 岡本太郎美術館

岡本太郎美術館の令和2年度の展覧会事業は、「音と造形のレゾナンスーバシエ音響彫刻と岡本太郎の共振」展、「高橋士郎・古事記」展、「岡本太郎とクルト・セリグマン」展、「第24回岡本太郎現代芸術賞」展など、さまざまな視点で岡本太郎、ならびに関連する作家や作品を紹介する企画展を開催した。

「音と造形のレゾナンスーバシエ音響彫刻と岡本太郎の共振」展では、1970年の大阪万博で展示されたバシエの音響彫刻5点を一堂に集め、無限の音色を発する楽器でもオブジェでもある作品を紹介した。

「高橋士郎・古事記」展では、高橋士郎が日本の古事記に挑み、その独自の解釈で「空気膜造形」により蘇らせた日本の神々を紹介した。

また「岡本太郎とクルト・セリグマン」展では、岡本太郎と盟友であるクルト・セリグマンの作品をともに展示し、両者の友情によって戦後の日本の美術界にもたらされた影響の意義について紹介した。

「第24回岡本太郎現代芸術賞」展では、応募総数616点の中から選ばれた、21世紀における芸術の新しい可能性を探る意欲的な24名の入選作品を展示した。

次に、常設展では、「太陽の塔への道～太陽の塔は「生命の樹」だった」展、「うちの中の岡本太郎」展、「岡本太郎の旅」展の3つの展覧会を開催し、多様な岡本太郎の芸術を紹介した。

企画展、常設展ともに来館者の立場に立ち、解説パネルや映像を使ってわかりやすく作品を展示し、年齢を超えて広く岡本太郎芸術を伝えるように努めた。

普及事業としては、学校団体の鑑賞教育や、ワークショップの開催など、幅広い普及事業を展開した。

新型コロナウイルスの感染拡大措置等により休館やイベントの中止が相次いだ。展覧会のVR映像や動画・普及ワークショップをホームページで公開することで、自宅にいながらも展示やワークショップを楽しめる事業を実施した。

令和2年度の入館者数は、59,049人であった。

(5) 大山街道ふるさと館

コロナ禍で計画通り実施できない事業もあったが、感染予防の対策をとりつつ、可能な限り各事業を実施した。

博物館事業では、次のとおり、企画展を3回開催した。第1回：「ふれあいクラブ高津 趣味の作品展」はコロナ禍により中止。第2回：「二ヶ領用水とふるさと高津～二ヶ領用水国登録記念物登録記念～」第3回：「高札が語る幕末・明治維新期の二子・溝口～溝口村の五榜の掲示から～」第4回：「地域が創出するカルチャー展～趣味が創り出す美と感動の世界～」このうち第2回、第3回の企画展では企画展記念講演会を開催した。また、企画展開催期間以外の時期に、常設展「大山街道ー二子・溝口宿ーふるさとの歴史・民俗・生活展」を開催した。さらに、ミニ企画展として6回(大山街道の宿場めぐり展を2回、切り絵展を3回、公募によるミニ市民ギャラリーを1回)開催した。

歴史文化探究事業では、ふるさと探究講座を3回「大山街道文学碑めぐり」「『二子玉川』の歴史をたどる」「江戸時代後期、大山街道と俳人たち」を開催した。また、街道学習講座「なるほど！歩いて楽しい大山街道」を秋に3回開催(海老名駅～伊勢原駅)、こども大山街道探検クラブは13名の会員で、大山街道沿いの史跡を歩いて調べたり、二ヶ領用水の清掃活動や、高津区役所訪問など8月～2月に計6回各学習体験活動を実施した。また、ふるさと館近隣2校の小学校3年生対象の「ふるさと子ども出前授業」や「中学生のためのふるさと発見講座」を行い、郷土の学習を支援した。

地域活性化事業では、9月に開催予定の「秋のふるさと館まつり」及び2月に開催予定の「冬のふるさと館まつり」は、いずれも、新型コロナウイルス感染拡大防止の点から中止とした。地域の特色ある専門店の方から、プロの知識や技術を学ぶ「まちのマイスター講座」は、1回開催(漢方)した。また、ぶらり散歩「二子の散策と「老舗料亭やよい」訪問を開催した。前年度に川崎ウォーキング協会と連携し、開設した本市唯一のウォーキングステーションは、年間で1,468名が利用し、ふるさと館の新たな魅力として定着した。

なお、令和2年度はコロナ禍で2ヶ月近くの臨時休館、2ヶ月半の時短開館等もあり、総利用者数は47,632人、貸館利用者は21,615人、展示室入場者は6,401人だった。

8. 公益財団法人川崎市生涯学習財団

公益財団法人川崎市生涯学習財団は、市民のライフステージに対応した生涯学習を推進するため、関連施設との連携を図りつつ、市民の主体的な学習文化活動を側面から支援することを目的として、平成2年5月に設立認可を受け、各種学習文化事業及び施設提供事業を開始した。当初は本部事務を麻生区新百合ヶ丘のトウエンティワンビルに設置し、平成10年10月に中原区の川崎市生涯学習プラザへ移転した。

平成23年度からは「かわさき市民アカデミー」の運営をNPO法人かわさき市民アカデミーに移管したが、広報と会場確保の役割を担い、引き続き協働事業として推進している。また、夏休みには、青少年の校外活動の場としての青少年地域間交流事業（ふれあいサマーキャンプ）や、小学生を対象とした体験学習等を取り入れた目的としたキッズセミナーを開催するなど多様な事業を実施している。他にも情報誌「ステージアップ」の発行、ホームページでも生涯学習情報を提供している。また、指定管理2施設の管理運営を行った。

令和2年度事業報告

事業名	内容
学習機会提供事業	1 かわさき市民アカデミー協働事業 【開催時期】 4月～7月、10月～2月 【対象】 18歳以上 【講座】 講座・ワークショップ 55講座（NPO法人かわさき市民アカデミーが運営） 受講者数延べ2,792人 かわさき市民アカデミーフェスタ中止 【会場確保】 ・生涯学習プラザ施設提供 446件 ・生涯学習関係施設確保 13件 ・新百合トウエンティワンホール施設確保 84件
	2 青少年地域間交流事業（ふれあいサマーキャンプ） 【時期】 夏季休業期間 【対象者】 市内在住・在学の小学校5年生～中学生2年生 【参加者数】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・北海道中標津町 ・岩手県花巻市 ・長野県富士見町 ・和歌山県古座川町・太地町 ・島根県益田市 ・宮城県涌谷町 ・友好自治体の青少年受入 和歌山県古座川町受入 中止
	3 キッズセミナー 【時期】 夏季休業期間 【内容】 基礎的、復習的な学習、科学的思考を働かせて学ぶ学習、創意工夫しながら学ぶ 3講座 【対象者】 市内在住の小学校3～6年生 【受講者数（延べ）】 29人
	4 子ども陶芸教室 【時期】 夏季休業期間 【対象者】 市内在住の小学校5年生から中学校2年生 【参加者数】 中止
	5 施設提供事業 生涯学習プラザ施設 利用件数5,382件

生涯学習活動支援事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 シニア活動支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・シニア活動支援講座（市民アカデミー地域協働講座） 6講座 受講者数延べ124人 2 生涯学習ボランティアの養成・派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習ボランティア養成 1講座 修了者8人 ・生涯学習ボランティア派遣（小学校PC活用授業、環境学習、）派遣延べ人数134人 3 シニア活動講演会 参加者104人
生涯学習情報事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 生涯学習情報の収集並びに学習相談の実施 2 ホームページ及び生涯学習情報誌による情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新回数 1,668回 web閲覧回数 年間60,506回 ・「ステージアップ」年4回 各5,000部 ・「メールマガジン」年12回 259件（発信件数） 3 情報提供 指導者人材、団体・グループ情報の収集と活用
施設運営管理受託事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 指定管理施設 子ども夢パーク、大山街道ふるさと館 2 受託事業 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習情報収集・提供事業業務 入力件数 1,623件 ・寺子屋先生養成講座 7期 延べ参加人数258人 ・社会人学級業務 2教科各21回 受講者数（国語）21人（数学）19人 ・学校支援センター業務 相談対応件数27件 ボランティア説明会3回開催
体験講座・研修事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 生涯スポーツ関連講座 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室 エアロビクス、ヨーガ、気功太極拳、ストレッチ健康体操 他 全17教室 受講者数延べ6,885人 2 文化・生活関連講座 <ul style="list-style-type: none"> ・文化教室 色えんぴつ画入門、切り絵教室、写真教室 他 全9教室 受講者数延べ685人 ・陶芸教室 陶芸教室 受講者数延べ1,092人 陶芸「一般開放」教室 参加者数延べ954人 初心者陶芸教室 参加者数延べ135人 3 その他 子ども向けPC教室「はじめてのスクラッチ」 参加者数6人 4 こども文化センター・わくわくプラザ職員研修業務（受託事業） <ul style="list-style-type: none"> ・「地域とのマネジメント」他 ・講座数 16回 受講者数延べ1,124人

9. 有馬・野川生涯学習支援施設（アリーノ）

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う非常事態宣言の発出等により、臨時休館、開館時間の短縮、人数制限等により、計画していたイベント（フェスタ・音楽コンサート）および主催事業等（こども食堂、各種料理関連事業、子育て支援関連事業等）の多くを中止、延期せざるを得ない状況となった。このような環境下において、新型コロナウイルス感染症に伴うガイドラインを遵守し、安全・安心を第一に徹底した感染防止対策を図ったうえで、可能と判断した事業は実施した。

また、令和2年度の課題であった地域図書館の利用促進については、新図書システム導入による蔵書のネット検索の浸透や、図書室内のレイアウト変更等の工夫によって、貸出人数、冊数ともに順調な回復を示している。

今後も、利用者と地域の多様なニーズに応え、新鮮味溢れる施設運営を推進していくことが肝要である。

令和2年度生涯学習支援事業報告

項目	内容	事業数
主催事業	水曜卓球教室・日曜卓球教室・太極拳教室・ZUMBA 教室・各種お菓子教室・各種パン教室・子育て支援講座・教養趣味の講座・フラワーアレンジメント教室・各種展示・その他	19 事業
音楽コンサート	クリスマス JAZZ&POPS コンサート	1 事業
市民活動育成事業	おしゃべりサロン・土曜学校・レコードを聴く会・朗読サロン・ボランティア育成等	5 事業
市民活動支援事業	お茶の間会・シニアリトミック	2 事業

10. 市民スポーツ室

日常生活における運動不足と健康志向の増大、都市化によるコミュニケーションの欠如と地域における人間性の回復など、現代社会に生きる私たちには様々な課題があり、これらの要求に応じてくれるものとしてスポーツ・レクリエーション活動が有効かつ重要であると認識されている。

市民が日常生活の中で、自主的、自発的、継続的にスポーツ・レクリエーション活動を実践できるよう、諸条件の整備を図るとともに、健康で明るい市民生活を営めるよう、施策の整備を図ることが必要である。

(1) スポーツ活動の普及・推進

地域におけるスポーツ活動の推進として、スポーツ推進委員、公益財団法人川崎市スポーツ協会、川崎市レクリエーション連盟等の協力を得ながら、各種スポーツ教室、スポーツ・レクリエーション事業を開催し、地域のスポーツ・レクリエーション活動の実践に努めた。

例年、市民を対象とした各種スポーツ大会を開催し、競技力の向上と市民スポーツの推進を図っているが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一部事業を中止した。

(2) 障害者スポーツの推進

障害のあるなしに関わらずスポーツができる社会の実現を目指し、川崎市障害者スポーツ協会や関係団体と連携し、障害者が利用しやすいスポーツ環境の整備や障害者スポーツ活動を支える指導員の育成と資質向上を図った。例年、スポーツ教室や体験講座、総合スポーツ大会等を開催し、障害者スポーツの推進に努めているが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一部事業を中止した。

(3) ホームタウンスポーツの推進

かわさきスポーツパートナー等と連携し、小中学生への実技指導やホームゲームへの市民招待等の実施により、選手等とふれあうことによるスポーツを身近に感じることにきっかけづくり、スポーツの機会の拡充や、スポーツを通じた市の魅力発信につながる取組を進めた。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一部事業を中止した。

(4) 総合型地域スポーツクラブの設立・育成

「誰もが、いつでもスポーツを楽しめる環境の整備」を目的とし、生涯スポーツ推進の観点からスポーツ活動の機会充実を図るため、「健康づくり」「人づくり」「仲間づくり」「地域づくり」を理念とした総合型地域スポーツクラブの育成支援するとともに、クラブ間のネットワークを形成し、連携体制の強化を行った。令和2年度においては、既存クラブは11クラブであるが、4月1日に1クラブが準備会を発足し、令和3年度に正式発足予定となっている。クラブに対しては、日常的な情報交換の橋渡しの他、必要に応じて役員会や総会に参加するとともに、運営や広報に関わる支援を行った。また、発達障害児等への対応方法や考え方についての講習会をオンラインで行った。

今後においても、川崎市総合型地域スポーツクラブ育成連絡協議会と連携しながら、クラブ間のネットワーク化等を進め、クラブの活動活性化に向けた支援を行う必要がある。

11. スポーツ施設

(1) とどろきアリーナ

平成7年8月にオープンしたとどろきアリーナは、メインアリーナにおいて国際大会・全国大会等の会場を提供するとともに、サブアリーナでは気軽にスポーツに親しめる場所として地域のスポーツセンター機能を果たしている。

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、臨時休館や時間短縮、定員制限を余儀なくされたものの、感染症対策を講じたうえで「競技スポーツ」「健康体操」「障がい者スポーツ」「未就学児と保護者を対象としたプログラム」などの各ジャンルによるスポーツデーやスポーツ教室を実施し、幅広いニーズ・年齢層に対応したスポーツの機会を提供したほか、利用者満足度調査等を実施し、利用者の意見を分析・反映させながら事業を展開した。

また、かわさきスポーツパートナーである川崎ブレイブサンダース、NECレッドロケッツ、富士通レッドウェーブのホームアリーナであり、国内トップリーグの公式戦を観戦することができる。

今後ともビッグイベント実施可能施設として、また身近なスポーツ施設としてとどろきアリーナの役割と機能を十分に生かし、多様化する市民ニーズに積極的に応えていく。

(2) カルッツかわさき

カルッツかわさきは、スポーツや文化、レクリエーションの諸活動に加えて、市民や来訪者が相互に交流するコンベンションなどの多目的な市民活動に対応できる施設として、平成29年10月に開館した。スポーツ施設では、「川崎でスポーツを、スポーツで川崎を、もっと楽しく」を意識した運営に努め、「市民のための体育館運営」を推進している。幅広いニーズ・年齢層に対応したスポーツの場を提供するために、数多くのスポーツ教室やスポーツデーを開催。川崎フロンターレや川崎ブレイブサンダースなど、かわさきスポーツパートナーと連携した教室も実施している。大体育室では、プロレスを中心とした格闘技やVリーグ、Wリーグ等の公式戦会場としても利用され、トップアスリートの試合を「見て」楽しんでいただくこともできる。令和2年度は、全体的にコロナ禍での休館、時間短縮や定員の見直しを余儀なくされたものの、秋には感染症予防対策を図りながら、「カルッツ★パラスポオータムフェスタ」を開催した。内容として川崎WSC（2019年東日本車いすバスケットボール選抜大会優勝）をゲストアスリートとして車いすバスケットボール体験会実施やボッチャ体験による障害者スポーツの普及、地域団体と連携した体組成チェックや栄養士によるセミナー、健康キャラバン体験会等、多くの多様な市民が参加できるイベントに取り組んだ。

今後も、利用者のニーズを把握し、川崎にゆかりのあるアスリートや富士見公園周辺施設（富士通スタジアム、川崎競輪場等）と協力した事業・広報を行うことで、区民や地域との結びつきを強め、利用者が楽しく、安全、快適にスポーツと携われる場を提供していく。

(3) 川崎市幸スポーツセンター

幸スポーツセンターは、昭和60年の開館以来、地域住民が気軽に楽しくスポーツへ親しむことのできる施設運営を推進するため、各種事業を行っている。平成18年に指定管理へ移行し、老朽化した施設の維持・改善に努め、利用者の利便性の向上を図ってきた。

スポーツ教室や個人開放事業の実施にあたっては民間事業者のノウハウを活用して様々なプログラムを用意するとともに、施設の公益性も考慮に入れた高齢者向けプログラムや、親子体操教室などの拡充を図ることで、普段スポーツセンターを利用することが少ない住民に対する利用促進にも取り組み、着実に利用者を伸ばしてきた。

また、川崎フロンターレと連携したこどもフットサル大会への運営協力をはじめ、各種地域イベントへ積極的に参加・協力することにより、地域の一員としてスポーツ振興活動を通じた地域貢献にも意欲的に取り組んでいる。

かわさきパラムーブメント推進ビジョンに基づき、ボッチャなど障害者スポーツの普及・推進にも取り組んでおり、今後も利用者のニーズを的確に把握し、効果的な広報を実施して、利用者の増加と利便性の向上に努めていく。

(4) 川崎市高津スポーツセンター

高津スポーツセンターは、スポーツの普及・振興に関する事業を行い、市民の心身健全な発達に寄与することを目的とし、平成9年に川崎市3番目のスポーツセンターとして開館した。開館9年目を迎えた平成18年度から指定管理者として、SELF 高津スポーツセンター事業体が運営管理に当たっており、年齢や性別、障害の有無に関わらず、誰もが公平にスポーツに親しむことのできるように、年間を通して各種事業を実施している。

令和2年度は前年度から続く新型コロナウイルスの影響により、4月上旬から5月末までの全館休館に加え、6月以降の再開後も利用時間の短縮による一部教室の中止など、従前とは異なる運営をせざるを得ない事態となったが、そのような状況の中でも、利用者が安心して利用できるよう必要な感染症対策を行い、常に利用者の満足度を意識しながら各種事業を実施した。

令和3年度から、高津総合型スポーツクラブ SELF が指定管理者として運営管理に当たるが、引き続き総合型地域スポーツクラブとしての特性を生かし、「こころとカラダの健康を育み、笑顔あふれる高津スポーツセンター」を目指し、地域に根差した事業を展開していく。

(5) 川崎市宮前スポーツセンター

宮前区民の待望の施設として地域住民が気軽にスポーツを楽しめる施設として平成18年4月に開館した。開館当初より生涯スポーツを通じてのまちづくりを目指すとともに、市民の健康維持・増進の支援ができるよう事業に取り組んでいる。地域スポーツセンターの基本的な役割であるスポーツ施設設備の提供、スポーツ教室・研修会の開催・個人開放事業（スポーツデー）を通してスポーツの普及推進に努めてきた。

令和2年度においては、新型コロナウイルスの影響を受け、スポーツ教室は、利用者からの意見や要望を考慮し、子どもから高齢者まで参加できる事業を36教室実施し、受講者数は16,000人程度、スポーツデーにおいては、卓球、リフレッシュ体操、バドミントン、エアロビクス等、利用者のニーズ等に配慮した運営によって8,500人程度にとどまった。総利用者数については、約11万人であった。

次年度も、利用者ニーズを見極め、運動を始めるきっかけづくりや、継続が可能となるような事業を実施し、多くの区民がスポーツに親しめる運営を実施していく。

(6) 川崎市多摩スポーツセンター

平成22年12月に運営を開始していた軟式野球場・ナイター照明付テニスコート2面（セパレート型）に加え、平成23年3月に屋内施設が開館し、本格的な運営が開始された。屋内施設として温水プール（可動床）やアーチェリー練習場（和弓利用可）が設置されているなどの特色がある。令和3年度から第2期の指定期間がスタートし、指定管理者が変更となっている。

生涯スポーツ振興を図ることを目的に、スポーツデーやスポーツ教室などの事業を実施している。令和3年度スポーツ教室（短期含）については、「スポーツ・テニス・プール」各種目合わせて66コマの教室を開催予定で、今後も順次追加していく予定。小・中学生を対象にした剣道、テニス教室、幼児・高齢者を対象とした、キッズスイミング・シニアスイミング教室・ちょきん運動を開催するなど、利用者のニーズを考慮しながら、より多くの方を対象に、スポーツ・運動機会の場の提供ができるよう努めている。5歳児から高齢者までと更に幅広い年齢層に対応して行く。令和2年度の教室受講者数は新型コロナウイルスの影響を受け、約19,000人にとどまった。

新型コロナウイルスの影響により、令和元年度まで実施していた近隣小・中学校の「職場体験授業」協力、高校・大学におけるインターンシップ生の受け入れや、近隣小学校の水泳授業（6月～9月）への協力が依頼元の意向によりそれぞれ中止となった。

そのほか、スポーツセンターへ足を運ばない方々に対し、運動指導員の派遣事業も積極的に行っている。

平成25年度より主催事業として多摩区と共同で「多摩区スポーツフェスタ」を開催。体育の日記念事業とはひと味違った事業展開を行い、家族連れの方々を中心に数多くの皆様に参加いただいているが、第8回となる令和2年度は新型コロナウイルスの影響により現地での開催を中止とし、実施種目の一部の動画提供を行った。

屋内・外施設において、令和2年度の年間利用者数は新型コロナウイルスの影響により約19.6万人にとど

まった。次年度も「安全・安心・快適に利用できる施設の提供」はもとより、幅広い年齢層の方々がスポーツ・レクリエーションに参加できる機会、環境を更に増やしてもらうために、利用者からの声を活かしサービスの向上に努め、あらゆるニーズにあった新たな事業展開を実施していく。

(7) 川崎市麻生スポーツセンター

麻生スポーツセンターは、市民へのスポーツの普及・振興に寄与することを目的に昭和61年開館した。周辺地域に多くの民間スポーツ施設がある中で、公共スポーツ施設として多くの市民に利用されており、麻生スポーツセンターに対する市民の期待の高さをみることができる。

利用者の内訳は、社会人・学生等のサークル団体での利用も盛んであるが、個人で参加できるスポーツデー（個人利用）は人気が高く、低料金で気軽に利用できると好評で参加者も多い。初心者でも参加できるエアロビクス、健康体操、ヨガなどは特に利用者が多く人気が高い種目になっている。

年間利用者の団体利用・個人利用の割合は約半々であり、スポーツデー〔個人利用〕が市民のニーズにかなったものになってきている。スポーツ教室は、子供から高齢者まで幅広い参加があり、特に教室の講師には地区のスポーツ指導者を迎えて行い、地域力で教室を盛り上げることで、地域交流に貢献している。また、ボッチャなどニュースポーツを楽しむ機会を設けている中で、バウンドテニスも取り上げ普及・振興をはかっており、教室の卒業生を中心にバウンドテニス協会を立ち上げ、大会を開催する等盛り上がりを見せている。

スポーツ教室に参加する方はスポーツセンターの利用が初めての方が多く、教室終了後にサークルをつくる、既存のサークルに入る、個人利用に参加する等してスポーツ活動を始めることが多い。

麻生スポーツセンターの情報発信として、ホームページでの情報発信や「あさスポ NEWS」を毎月発行している他、「あさおスポーツだより」を年3回発行し、区内のスポーツ情報の広報にも努めた。

今後も、スポーツ・レクリエーション活動を通じて心身の健康づくりに関わり、スポーツによって感動や絆を深めることができる事業展開を進めていく。

(8) 石川記念武道館

川崎市唯一の武道施設として、昭和52年の開館以来、武道の普及・振興を通して青少年の健全育成に寄与してきた。毎週月（夜間）・月・火・木・土曜日を個人利用日として指導員を配置し実技指導を行っている。

武道教室は従来、合気道を除き、春と秋の2期制で行っている。また、幼児を対象とした親子スポーツ教室や、体力づくりヨガ教室を実施することで、より多くの市民が武道館に接することができる取組みを進め、施設の有効活用を図っている。

12. 青少年教育施設

青少年教育施設ではそれぞれの施設の設置目的、利用形態、提供プログラム及び立地に応じて、地域、青少年団体、社会教育団体及び学校との連携と協力を図り、青少年の心の豊かさや生きる力を伸ばし、育んでいくために、様々な生活体験の場を提供し、異年齢集団による活動や宿泊体験、共同生活、創作活動、自然との触れ合いなど、あらゆるものに挑戦し体験する学習活動を展開している。それぞれの施設の利用形態に応じて利用主体である子ども達に対して「川崎市子どもの権利に関する条例」に則った運営を実施している。

また、青少年団体等の施設利用の促進と充実のために、各種プログラムの相談や開発、夏期利用団体には指導者講習会の開催、活動施設・設備の整備等をすすめている。

なお、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者の外出自粛、密な状況の回避の傾向があり、また施設としても定員の制限、イベントの制限、休所の措置（子ども夢パークを除く）などを行ったため利用人数は例年に比べ減少したが、利用者への感染防止対策に関する案内を徹底し、食堂のパーティションの設置（八ヶ岳少年自然の家、青少年の家）、イベントの態様変更（全施設）などを実施し、施設の機能を維持しながら運営した。

(1) 青少年の家

施設の目的に沿って事業展開を行っており、団体宿泊研修等を通じて、青少年の健全育成を行っている。特色のある事業として、「かわさき森のようちえん」、「週末チャレンジクラブ」、「週末ビキナークラブ」、「ほのぼのスクール」などといった年齢や教育課題に対応した事業を実施した。

その他、親子の交流を目的とする「よちよちおはなし会」やシニアボランティアと小学生が囲碁・将棋等の指導を通じて多世代の交流を図る「放課後ボードゲームクラブ」等、独自事業も積極的に実施した。

(2) 八ヶ岳少年自然の家

新型コロナウイルス感染症の影響により自然教室が中止となり利用者は減少しているが、事業が実施されていた。施設全体の安全衛生管理にきめ細かく注意を払い、特に野外炊飯やキャンプファイヤー等、火の取扱いの必要なプログラムでは、利用者としっかり打合せをしており丁寧に対応している。また、「ふじみ星空観察会」では、アストロハウスにおいて、季節ごとに星の観察に関する学習するプログラムを行っている。

(3) 黒川青少年野外活動センター

施設の目的に沿って、野外活動に関する専門性を活かし、青少年の健全育成を行っている。また、「いちにちのあそびくらぶ（森のようちえん）」、「ネイチャーボランティア」、「バーベキューインストラクター講習会」など、幼児からシニアまでの幅広い年齢層へのプログラムを実施している。

(4) 子ども夢パーク

「川崎市子どもの権利に関する条例」第27条に定められた「子どもの居場所」の実現を図った。

生活に困窮する親や精神疾患を抱えたひとり親の家庭などで育ち、ネグレクト状態にあったり、DVの被害を受けてきたなど愛着形成ができていないと思われる子どもたちや、大人にかまって欲しく、夢パーク内の遊具を壊したり、スタッフに対して暴言・暴力などのためし行動をとったりして、注意を引こうとする子どもたちに粘り強く寄り添い、安心して失敗できる環境を作り出すことを心がけた。

また、失敗を恐れ、より完璧を目指し、正しい子育てを頑張ろうとする親や社会の状況のもとで、ストレスを抱え、自分がやってみたいことは何なのか、自ら考えて判断し、行動する力の低下している子どもたちに対して、ストレスを発散し、自己肯定感を育み、自分たちで自分が過ごしたい場をつくっていけるようにするために、5つの基本方針のもと、さらに一歩進んだ「子どもの居場所」の実現を目指した。

ア 居場所機能の充実・強化

問題行動が見受けられる子ども・若者たちへのアプローチ、要保護及び要養護児童生徒の抱える「問題」の発見と関係機関との連携、若年出産や虐待リスクを抱える保護者への支援、孤立した子育て環境にいる乳幼児親子の居場所づくり、子どもたちのコミュニケーション能力を育む外遊び環境の充実など、プレー

パークチームとフリースペースえんスタッフ間の連携を強化した組織構成と職員配置を行い、居場所機能の充実・強化を図った。

イ 「子ども参画」の推進

子どもの自主的および自発的な参加活動拠点づくりを積極的に行った。「KUJI ROCK」は、ライブハウスとして使用する部屋の準備や広報などから、当日の進行・演奏・後片付けまで、すべての運営を中高生の若者たちが担って例年実施しているが、新型コロナウイルス感染症対策をとりながらの実施を中高生と検討した結果、令和2年度の実施を断念した。また、「子どもゆめ横丁」は、主に小学生が自分の「思い」を手作りの商品と店づくりにこめ、現金で商売をする、子どもたちの「本気の機会」を創出するイベントとして新型コロナウイルス感染症の対策をとりながら実施した。

ウ スタッフの質の向上、養成を目指した研修の充実

プレーワーク研修やソーシャルワーク研修を充実させることで、日常的な子どもとの関わり方や居場所・遊び環境の質の向上や子どもの思いをキャッチするために、スタッフ自身が子どものSOSに気づく感性を磨く研修に努めた。また、スタッフ自身の感情特に「怒り」のコントロールが重要と考え、それらの要因によるバーンアウト（燃え尽き）の防止を図るためにスタッフのメンタル面をケアする研修も充実させた。

エ 関係機関及び地域との連携強化

各々のスタッフが手に入れた情報を整理して、その中に埋もれている「問題」を早期に発見して、関係諸機関や地域にある社会資源と繋げるよう努めた。

オ 夢パークの先駆的な取組の発信

川崎発の先駆的な取組が全国に広がり、子どもの「遊び場・居場所」環境が充実するように全国へ広く発信するため、支援委員会や市民団体と連携し、子どもを見守る大人への啓発を目的とした子育て講演会などを開催した。また、全国の自治体や民生委員児童委員、子どもの活動にかかわる団体などの視察・研修の受け入れ、教育・福祉系の大学生等の実習などの受け入れも行った。

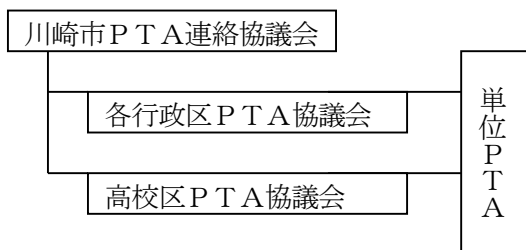
Ⅲ 社会教育関係団体

1. PTA（川崎市PTA連絡協議会）

本市におけるPTA活動は、市内公立学校PTAで組織された川崎市PTA連絡協議会が中心となり、PTAの健全な発展、民主的な運営とその普及、よりよい教育環境をつくるために活動が行われている。主な活動として、広報紙の発行、各種研修会の実施、各種研究大会への参加、親と子のつどい等の交流事業に取り組んでいる。PTA活動中に発生した事故等に対しての見舞金給付制度も設けられている。

(1) 組織・運営

市内公立学校PTA171（小112、中50、小中1、高5、特別支援3）、会員数 約107,000人、8区（7行政区及び高校区）PTA協議会が置かれ、各区PTA協等から推薦された理事43名（校長会含む）をもって組織されている。会の運営は、総会により選出された役員及び理事により行われている。



(2) 予算

一般会計

小・中・高・特別支援学校の児童生徒1名につき、110円を各区PTA協議会分担金として徴収し運営している。（うち日本PTA全国協議会へ児童生徒数×10円納入）

(3) 事業

ア 会議等

- ・総会 書面開催
- ・役員会・理事会 月1回
- ・教育予算要望書提出
5月19日 市長・議長・教育長

イ 広報活動

広報紙「市P協かわさき」
年2回発行 1回目 104,500部
2回目 4,000部

ウ 諸活動

- ・新年度役員研修会（中止）
- ・市制記念2020市P協親と子のつどい
7月1日 よみうりランド（中止）
- ・第48回市P協ママさんバレーボール大会（中止）
- ・食育推進コンテスト
表彰式・講演 1月9日 高津市民館
- ・ICT学習会・会員研修
2月 ICT学習会×ネットモラルキャラバン隊（動画配信）
3月 会員研修会（動画配信）
- ・第52回PTAコーラス大会（中止）
- ・第41回PTA広報紙コンクール
作品展示 3月19日～26日（中止）
表彰式 3月26日（中止）

エ 研究大会参加

- ・第68回日本PTA全国研究大会（中止）
- ・第78回指定都市PTA情報交換会（延期）
- ・第52回日本PTA関東ブロック研究大会（動画配信）

(4) 表彰

- ア 優良PTA文部科学大臣表彰
川崎市立南野川小学校PTA
川崎市立下布田小学校PTA
- イ 優良PTA日本PTA全国協議会会長表彰
川崎市立殿町小学校父母と教職員の会
川崎市立下河原小学校PTA
川崎市立久末小学校父母と先生の会
川崎市立平小学校PTA
川崎市立東菅小学校PTA
- ウ 優良PTA神奈川県教育委員会表彰
川崎市立向小学校PTA
川崎市立下平間小学校PTA

2. 女性団体（川崎市地域女性連絡協議会）

昭和22年に女性の地位向上や社会参加の促進をめざして設立されて以来、男女平等の推進、環境問題に関する学習・実践活動、平和問題への取り組み、少子高齢社会への対応など、地域が抱える様々な課題に対し、「学習・親睦・奉仕」を柱に活動を展開している。

(1) 組織・運営

市内11の婦人会及び団体が所属し、各単位での地域活動を行うと共に、全市的な女性団体である川崎市地域女性連絡協議会としての学習・実践活動を行っている。会員数約1,500人。

会長、副会長、会計、事務局長、書記、理事等、各団体から選出された23名の役員を中心に、会の運営が行われている。

(2) 予算

令和2年度予算額 2,352,686円

会費・分担金（1団体5,000円、個人会員3,000円）、事業補助金（429,000円）、及び事業益金（1,450,000円）等で運営している。

(3) 主な事業（令和2年度）

ア 会議・催事等

- ・定例会 月1回
- ・三役会 随時
- ・総会 6月2日（書面総会）
- ・新春のつどい
※新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止

イ 研修会等

- ・SDGs研修

ウ 諸大会

- ・全国地域婦人団体 研究大会
令和3年11月に延期
- ・全国地域婦人団体連絡協議会関東ブロック会議
2月19日 Zoom開催

エ 広報活動

- ・「女性かわさき」の発行（111号）

オ 諸活動

- 平和・男女平等への取り組み
 - ・川崎市平和館事業への参加
 - ・男女平等かわさきフォーラム
令和2年2月10日～26日 オンライン配信
 - ・第36回平和のつどい
「茶の湯とおもてなしの精神」
令和2年12月1日 教育文化会館
 - 地域文化振興
 - ・第22回芸能大会
※新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止
 - ・第33回チャリティー芸能のつどい
※新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止
 - 子育て支援
 - ・すくらむ21まつり出店
※新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止
 - ・昆布料理教室
※新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止
 - 環境・消費者問題への取り組み
 - ・研修会
9月1日 エシカルとフェアトレード研修会
教育文化会館
 - 10月6日 水素研修 教育文化会館
 - 10月31日 CC川崎エコ会議シンポジウム
産業振興会館
 - ・生ごみリサイクル交流会
11月15日 高津市民館
 - ・廃食油回収
 - ・ダンボールコンポスト普及活動
 - ・その他、環境に関する啓発活動・研究調査
- その他
 - ・38機関の審議委員会等に参加
 - ・北方領土返還要求全国大会
2月7日 渋谷公会堂（無観客開催）

3. 青少年団体

(1) 川崎市青少年育成連盟

昭和 21 年 10 月、戦後の混乱期の中で、青少年の社会生活向上と家庭・学校・地域等の連携を目指し、青少年補導連盟の名称で発足し、昭和 40 年、今の名称に改められた。

加盟団体は、(一社)川崎市子ども会連盟、日本ボーイスカウト川崎地区協議会、ガールスカウト川崎市連絡会、川崎海洋少年団の 4 団体である。

育成連盟は、次の事業方針により活動している。

◎ 事業方針

ア 青少年の健全な育成を図るため、加盟団体相互の交流及び関係団体・機関との連携を密にして育成連盟事業の効果的推進を図る。

イ 育成連盟及び加盟団体の組織基盤の整備を進めるとともに、少年団体に関する市民の理解を深め、その活動への参加の促進を図る。

ウ 少年団体活動の今日的あり方を研究し、若手リーダー養成を積極的に進め、ジュニアやシニアリーダーが活躍できる環境整備を行う。

エ 地域において、青少年の非行防止活動に積極的に取り組む。

オ 国際化社会への対応のため、青少年の国際交流を推進する。

(2) (一社)川崎市子ども会連盟

昭和 27 年に、165 団体で発足。現在は、単位子ども会 270 団体、会員約 20,000 名で構成されている。

子ども会は、地域社会において子ども達が遊びやその他の集団活動を通して、社会性、自発性を養い健全な青少年を育成することを目的として活動している。

◎ 主な活動

ア 子どもリーダー(小学生)、ジュニアリーダー(中・高生)研修会等の研修事業

イ 子ども会野球大会、羽根つき大会、作品展等の諸大会

ウ 多摩川美化運動、成人の日を祝うつどい、青少年フェスティバル等の奉仕活動

(3) 日本ボーイスカウト川崎地区協議会

昭和 25 年に川崎第 1 隊・2 隊が発足。昭和 26 年、8 コ隊になったのを契機に日本ボーイスカウト川崎地区協議会が結成された。現在では 11 コ団＋スカウトクラブ 1 組織、52 隊、加盟員約 950 名で構成されている。

ボーイスカウトの活動は、キャンプやハイキングなど野外を教場としている。その目的は、青少年の自発的活動により自らの健康と人生に役立つ技能を体得し、世界に通用する人間として育成することである。

◎ 主な活動

ア ジャンボリー、地区ラリー、訓練キャンプ、移動野外訓練等のスカウト活動

イ 安全講習会、指導者講習会等の各種講習会

ウ 市民まつり、成人の日を祝うつどい、青少年フェスティバル、歳末募金等の奉仕活動

エ ボルチモア市スカウト交流派遣等の国際交流事業

(4) ガールスカウト川崎市連絡会

昭和 36 年に神奈川県第 14 団と 17 団が発足し、ガールスカウト川崎市連絡会を結成、現在は 7 コ団、会員約 230 名で構成されている。

活動は、就学前 1 年の少女から高校生年代までの少女がグループを作り、資格を持ったリーダーが見守る中で行っている。

ガールスカウトの活動の目的は、少女と女性の視点に立って、より幸せな社会と未来の実現を目指し、リーダーシップを発揮できる人材を育成するとともに、社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動することである。

◎ 主な活動

ア プロジェクト活動、アウトドア活動、ギャザリング、海外派遣・研修、社会貢献活動、バッジプログラム

イ リーダー研修、野外活動等の成人研修

ウ 区民祭、市民まつり、成人の日を祝うつどい、青少年フェスティバル、多摩川美化運動、ユニセフや歳末募金等の奉仕活動

エ 姉妹都市やガールスカウト世界連盟加盟国との国際交流事業

(5) 川崎海洋少年団

昭和 40 年に、横浜海洋少年団から川崎隊が独立し発足した。団員約 10 名で構成されており、関東地区連盟、神奈川県連盟及び関連他団体等と連携して活動している。

その目的は、団体生活の規律を学ぶとともに、青少年の健全な育成を図ることである。

◎ 主な活動

ア リーダー研修会、ヨット・カヌー研修会

イ 多摩川美化運動、成人の日を祝うつどい、青少年フェスティバル等の奉仕活動

4. 文化団体

(1) 川崎市総合文化団体連絡会

川崎市総合文化団体連絡会は、多分野にわたる単一的文化団体を包括した総合文化団体 10 団体の連絡組織体で、昭和 48 年に設立された。

ア 構成団体

- 川崎市文化協会(団体 31・個人 0・人数 6,500)
- 川崎文化会議(団体 10・個人 11・人数 2,200)
- 川崎市児童文化団体連絡会(団体 7・個人 0・人数 2,000)
- 川崎区文化協会(団体 52・個人 85・人数 1,150)
- 幸区文化協会(団体 29・個人 12・人数 320)
- 中原区文化協会(団体 46・個人 30・人数 1,000)
- 高津区文化協会(団体 42・個人 46・人数 2,284)
- 宮前区文化協会(団体 33・個人 10・人数 750)
- 多摩区文化協会(団体 63・個人 18・人数 198)
- 麻生区文化協会(団体 36・個人 100・人数 500)

計 団体 333 個人 312 総人数 16,702

イ 主な事業

(ア)かわさき市民芸術祭の開催(全中止)

- 美術部門 展示 年1回
- 舞台部門 邦楽・邦舞、洋楽・洋舞 各年1回
- こども芸術部門 展示・舞台 年1回
- (イ)「文化かわさき」年1回発行

(2) 川崎市文化協会 昭和 28 年 2 月設立

文化祭、加盟団体 29 内 20 団体(中止)

市外研修(中止)・「文化の友」発行・所属会員文化行事支援・37 回かわさき市民芸術祭(コロナのため中止)

(3) 川崎文化会議 昭和 39 年 8 月設立

講演会・平和コンサート・市民劇年 6 回公演・平和をきづく市民のつどい・腹話術講座・「川崎文化」発行・加盟団体援助活動・37 回かわさき市民芸術祭(コロナのため中止)

(4) 川崎市児童文化団体連絡会 昭和 52 年 4 月設立

機関紙の発行・月 1 回平和学習会・団体連絡会・37 回かわさき市民芸術祭こども部門(コロナのため中止)・こども芸術祭 年 1 回開催

(5) 川崎区文化協会 平成 4 年 4 月設立

文化芸能祭、開催・美術展(中止)・ふれあい講座(中止)・川崎評論発行・区役所内生花遍響コンサート(延期)・酔花記俳句大会(中止)・37 回かわさき市民芸術祭(コロナのため中止)

(6) 幸区文化協会 昭和 54 年 4 月設立

文化祭(中止)・文化講演会・研修交流会・区民祭(中止)・「文化さいわい」発行・区役所庁内生花・37 回かわさき市民芸術祭(コロナのため中止)

(7) 中原区文化協会 昭和 44 年 5 月設立

文化祭開催(茶会は中止)・「文化なかはら」発行・子ども文化講座(中止)・なかはらっぱ祭り(中止)かわさき市民アカデミー(中止)・区役所庁内生花・ふれあい教室・37 回かわさき市民芸術祭(コロナのため中止)

(8) 高津区文化協会 昭和 43 年 9 月 14 日設立

NPO 法人としてスタート平成 18 年 1 月文化講座・ロビー生け花展示・うたごえ広場(中止)親子リトミック講座・文化講座・子ども将棋教室・区民祭(中止)・高津俳句大会・子ども文化体験・文化祭・研究発表会(中止)にぎわい寄席・なかよしコンサート・小原孝ピアノリサイタル・交流サロン(中止)・ふれあいコンサート(中止)・「高津の文化」発行・協賛、後援事業支援・37 回かわさき市民芸術祭(コロナのため中止)

(9) 宮前区文化協会 昭和 58 年 4 月設立

七夕祭り(中止)・親子講座、文化講座(中止)・文化祭(展示)の開催・部門別研究発表(中止)・太鼓ミーティング(中止)・区役所にてクリスマス会展示・第 37 回かわさき市民芸術祭(コロナのため中止)

(10) 多摩区文化協会 昭和 45 年 6 月設立

秋の文化祭の開催・文化講演会・文化サロン・夏休み親子教室・ちびっこシアター(中止)・「多摩の文化」の発行・区民祭(中止)・第 37 回かわさき市民芸術祭(コロナのため中止)

(11) 麻生区文化協会 昭和 59 年 11 月設立

文化祭の開催・夏休み親子教室(中止)・七草会俳句講座(中止)・アルテリッカ新ゆり美術展・芸能祭(管楽器、洋舞開催)・「からむし」の発行・デッサン会・文化サロン・俳句大会・37 回かわさき市民芸術祭(コロナのため中止)

5. スポーツ団体

(1) 公益財団法人川崎市スポーツ協会

昭和22年2月、戦後の荒廃した市民の心身を体育、スポーツによって救済することを目的に、川崎市体育協会が発足したが、翌年11月に現在の基となった川崎市体育協会が設立された。平成4年7月に県の認可を受け、平成23年11月には公益財団法人となり、次の41の協会・連盟・連合で構成され、その傘下の会員数は約100,000名となっている。

スポーツ協会の目的は、アマチュアのスポーツ競技団体の緊密な連絡調整を図り、スポーツの普及・振興と市民の健康体力づくりを図るところにある。

また、主要事業としては、春季市民体育大会、秋季市民体育大会、市制記念体育大会などの川崎市の委託による事業、その他各種体育大会、各種目別スポーツ教室、各種目別指導者養成講習会、指導者派遣事業及びその他の事業を実施している。

加盟団体は、陸上競技協会、野球協会、バレーボール協会、バスケットボール協会、バドミントン協会、卓球協会、テニス協会、ソフトテニス協会、柔道協会、剣道連盟、弓道連盟、相撲連盟、山岳協会、水泳協会、スキー協会、スケート協会、ラグビーフットボール協会、サッカー協会、体操協会、少林寺拳法協会、空手道連盟、ハンドボール協会、なぎなた連盟、ソフトボール協会、クレール射撃協会、合気道連盟、ボウリング協会、ゴルフ協会、ゲートボール連合、ダンススポーツ連盟、フロアボール協会、アメリカンフットボール協会、一輪車協会、綱引連盟、チアリーディング協会、かわさきスポーツドリーマーズ、トライアスロン協会、スカッシュ協会、障害者スポーツ協会、高等学校体育連盟、中学校体育連盟の41団体

(2) 川崎市レクリエーション連盟

昭和44年6月、市内で活動しているレクリエーション関係団体を統合し、相互の連絡調整を図り、市民レクリエーション運動の高揚を目的として川崎市レクリエーション関係団体協議会が発足した。その後、さらに発展して昭和50年4月に川崎市レクリエーション連盟が設立され現在に至っている。

本連盟の目的は、市民レクリエーション運動を通して、市民の心身の健康増進を図り、レクリエーション関係団体相互の連絡を密にし、生涯スポーツ・レクリエーションの普及・振興に努めることである。

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染防止のため、例年行っている全国一斉「あそびの日」かわさき広場、スポーツ・レクリエーション大会などを中止とした。

加盟団体は、レクリエーション指導者クラブ、フォークダンス協会、レクリエーション卓球連盟、釣連合会、レジャー&レクリエーション研究会、工都みんよう舞踊連盟、ファミリーカラテ連盟、バドミントン友の会、スポーツチャンバラ協会、ウォーキング協会、かわさきネイチャーゲームの会、ターゲットバードゴルフ協会、スクエアダンス協会、グラウンドゴルフ協会、ペタンク・ブール、ナプア ナカマエ、武術太極拳協会、日本サーチウオーク協会の18団体が加盟している。

IV 社会教育関係資料

1. 図書館利用状況及び蔵書冊数

図書館名	登録人数 一般・学生 児童・生徒	利用者人数 一般・学生 児童・生徒	貸出人数 一般・学生 児童・生徒	貸出冊数 一般書 児童書 視聴覚資料	蔵書冊数 一般書 児童書 視聴覚資料	団体貸出冊数 団体数
川崎図書館	40,997	14,004	205,832	456,624	181,491	1,230
内 訳	37,644 3,353	12,749 1,255	188,057 17,775	292,553 144,305 19,766	136,748 39,895 4,848	17
幸図書館	21,105	8,406	134,243	358,389	147,587	1,434
内 訳	17,422 3,683	6,918 1,488	107,276 26,967	174,834 181,554 2,001	104,796 42,752 39	24
中原図書館	127,728	39,472	650,791	1,406,520	413,733	4,545
内 訳	115,722 12,006	34,433 5,039	562,507 88,284	813,734 556,700 36,086	337,260 68,452 8,021	30
高津図書館	33,914	12,999	209,054	512,536	252,262	3,280
内 訳	28,852 5,062	10,872 2,127	175,550 33,504	283,272 226,560 2,704	161,195 91,044 23	37
宮前図書館	46,415	17,664	323,795	756,160	243,003	3,484
内 訳	38,660 7,755	14,534 3,130	266,862 56,933	422,559 327,093 6,508	162,764 80,181 58	24
多摩図書館	40,075	15,043	220,903	560,521	276,755	2,676
内 訳	35,532 4,543	13,267 1,776	193,178 27,725	330,346 212,374 17,801	211,671 60,669 4,415	25
麻生図書館	46,844	17,959	306,982	707,639	209,726	1,238
内 訳	41,041 5,803	15,633 2,326	268,583 38,399	455,029 246,287 6,323	147,876 61,832 18	15
大師分館	6,137	2,216	40,924	109,017	48,965	517
内 訳	4,872 1,265	1,760 456	33,284 7,640	54,631 53,894 492	31,502 17,459 4	6
田島分館	5,144	1,526	24,956	70,765	46,820	74
内 訳	3,945 1,199	1,257 269	21,864 3,092	41,191 28,984 590	26,963 19,853 4	3
日吉分館	8,217	3,160	64,499	173,965	39,822	123
内 訳	6,451 1,766	2,400 760	52,056 12,443	76,724 96,236 1,005	20,966 18,778 78	4
橋分館	7,049	2,629	54,522	140,339	37,685	349
内 訳	5,634 1,415	2,113 516	44,529 9,993	73,780 64,902 1,657	21,604 16,077 4	3
柿生分館	3,164	1,184	35,443	88,663	42,341	171
内 訳	2,062 1,102	782 402	28,323 7,120	45,195 42,662 806	22,424 19,912 5	6
菅閲覧所	6,338	2,415	53,579	125,719	29,268	339
内 訳	5,438 900	2,038 377	48,041 5,538	77,035 47,132 1,552	17,215 12,052 1	1
合計	394,160	139,019	2,327,932	5,479,345	1,969,458	19,460
内 訳	344,098 50,062	119,029 19,990	1,991,798 336,134	3,143,900 2,238,154 97,291	1,402,984 548,956 17,518	195

※「登録人数」とは自動車文庫を含む登録期限3年以内の個人登録者人数である。

児童・生徒とは15歳以下の利用者である。

※「利用者人数」とは、令和2年度中に貸出をした自動車文庫を含む個人利用者の実人数である。

※「貸出人数」とは、令和2年度中の延べ個人利用者人数である。(自動車文庫:右表は含まない)

※貸出冊数には自動車文庫を含まない。また、雑誌は一般書に含めて計上している。

※アリーノ(有馬・野川生涯学習支援施設)での受取は宮前図書館の貸出冊数に含めている。

※蔵書冊数は、雑誌を除いて計上している。

※視聴覚資料にはCD・カセットテープを含む。

自動車文庫

担当館 宮前図書館	
貸出ポイント (巡回場所)	21箇所
貸出人数	2,409
貸出冊数	12,488

2. 社会教育施設利用状況

(1) 教育文化会館

(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
大会議室	4	0	30	49	49	54	54	62	49	17	24	36	428	
	2	0	26	37	35	36	38	45	36	12	16	29	312	
第1会議室	3	1	23	19	27	25	51	27	26	6	29	29	266	
	3	1	17	16	22	20	26	22	18	6	21	18	190	
第2会議室	2	0	11	12	18	12	37	24	30	14	21	25	206	
	1	0	9	11	10	8	17	19	20	9	15	15	134	
第3会議室	1	0	21	18	19	27	47	34	36	20	17	22	262	
	1	0	17	15	15	18	23	22	25	14	11	15	176	
第4会議室	3	0	14	12	25	17	25	30	35	17	22	34	234	
	1	0	11	10	17	12	20	20	24	11	13	18	157	
第5会議室	3	0	14	7	12	21	23	26	25	16	20	32	199	
	1	0	8	6	9	14	18	17	19	10	11	17	130	
第6会議室	2	0	12	10	14	15	21	26	16	8	21	29	174	
	2	0	7	8	7	11	12	14	9	4	10	15	99	
第7会議室	2	0	13	16	14	16	19	22	16	8	15	19	160	
	2	0	8	11	7	12	10	12	9	4	7	11	93	
談話室	0	0	6	19	13	10	27	8	8	2	10	8	111	
	0	0	4	11	8	4	9	5	5	1	8	6	61	
第1学習室	6	0	12	28	16	27	28	46	23	14	22	28	250	
	3	0	9	19	16	19	21	31	17	12	15	20	182	
第2学習室	6	0	14	19	9	18	20	39	25	9	17	21	197	
	3	0	11	14	9	13	15	24	16	7	12	15	139	
第3学習室	6	0	5	10	3	11	18	23	17	4	13	18	128	
	3	0	3	7	3	8	10	16	8	3	8	12	81	
第4学習室	5	0	15	20	8	20	27	24	18	7	12	14	170	
	3	0	14	20	8	16	23	21	14	7	9	14	149	
第5学習室	4	19	1	15	16	7	23	23	15	9	20	17	169	
	3	7	1	12	10	7	17	15	12	8	14	13	119	
第6学習室	0	19	4	9	12	12	13	11	3	5	6	9	103	
	0	7	3	6	6	7	10	8	3	3	3	5	61	
美術工芸室	0	0	1	6	6	5	7	4	3	0	3	7	42	
	0	0	1	5	4	4	5	4	3	0	2	4	32	
視聴覚教室	0	19	9	11	4	14	13	18	11	7	9	14	129	
	0	7	9	11	4	14	12	17	9	6	8	14	111	
料理教室	0	0	4	4	2	6	8	6	9	3	6	4	52	
	0	0	4	4	2	5	5	5	6	3	5	4	43	
実習室	0	19	4	4	9	4	4	4	8	6	6	6	74	
	0	7	2	2	5	2	2	2	4	3	3	3	35	
茶華道教室	0	19	1	2	1	3	11	8	7	3	3	1	59	
	0	7	1	2	1	2	10	7	6	3	2	1	42	
イベントホール	A	0	0	4	2	0	8	13	5	7	7	20	10	76
		0	0	2	1	0	5	9	2	4	4	10	6	43
	B	0	0	4	2	0	8	13	5	7	7	20	10	76
		0	0	2	1	0	5	9	2	4	4	10	6	43
	C	0	0	4	2	0	8	6	5	7	7	20	10	69
		0	0	2	1	0	5	5	2	4	4	10	6	39
合計	47	96	226	296	277	348	508	480	401	196	356	403	3,634	
	28	36	171	230	198	247	326	332	275	138	223	267	2,471	
市民ギャラリー	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。(ギャラリーは利用件数)

※ 下段は、利用団体数(市民ギャラリーは1団体1週間使用)

(2) 幸市民館

(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大ホール	4	0	37	50	32	44	49	38	68	16	14	58	410
	3	0	14	19	13	23	23	20	29	6	6	28	184
リハーサル室	2	0	0	0	11	8	16	4	41	9	3	16	110
	2	0	0	0	5	4	6	2	18	3	1	8	49
大会議室	2	0	18	35	31	38	44	42	47	14	11	69	351
	2	0	14	24	22	28	39	30	30	7	8	44	248
第1会議室	4	0	30	32	44	48	45	39	41	6	9	27	325
	4	0	24	26	34	34	38	31	29	4	7	25	256
第2会議室	6	0	18	29	30	38	40	28	41	5	7	14	256
	3	0	15	25	22	30	30	24	30	3	7	13	202
第3会議室	3	0	23	28	40	39	42	27	37	4	6	16	265
	2	0	22	24	31	32	35	25	29	2	6	14	222
第4会議室	4	0	13	11	21	18	16	22	25	5	6	30	171
	3	0	11	9	15	14	14	18	16	3	4	21	128
音楽室	4	0	16	20	28	37	31	36	36	6	7	29	250
	3	0	15	18	23	36	31	33	29	4	6	23	221
和室	0	0	6	12	11	15	13	10	19	3	5	25	119
	0	0	6	12	7	12	11	8	14	1	4	18	93
料理室	0	0	2	5	12	8	4	6	15	3	3	7	65
	0	0	2	3	7	5	4	5	8	1	2	5	42
実習室	1	1	10	8	12	16	15	9	23	5	1	17	118
	1	1	8	8	8	13	13	8	17	3	1	11	92
体育室	19	0	74	81	79	81	74	78	71	30	24	72	683
	19	0	74	80	77	81	74	78	66	27	24	72	672
合計	49	1	247	311	351	390	389	339	464	106	96	380	3,123
	42	1	205	248	264	312	318	282	315	64	76	282	2,409
市民ギャラリー	0	0	0	4	5	2	2	4	2	0	0	2	21
	0	0	0	4	5	2	2	4	2	0	0	2	21

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間におけ、それぞれ1件として積算した。(ギャラリーは利用件数)

※ 下段は、利用団体数(市民ギャラリーは1団体1週間使用)

(3) 中原市民館

(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ホー ル	5	0	15	65	68	68	65	53	62	34	53	66	554
	4	0	12	40	42	48	55	49	56	23	37	46	412
第1会議室	13	0	61	54	45	68	67	61	55	44	45	56	569
	11	0	59	50	40	60	60	56	47	35	40	55	513
第2会議室	12	0	61	61	48	72	67	71	50	37	54	52	585
	8	0	53	51	41	62	54	62	43	34	47	43	498
第3会議室	5	0	30	38	37	42	39	34	33	22	32	35	347
	5	0	28	33	31	36	34	30	28	20	27	28	300
第4会議室	6	0	25	26	26	37	31	33	31	22	24	25	286
	6	0	22	24	19	28	25	29	30	19	22	19	243
第5会議室	4	0	52	49	48	62	73	67	50	38	48	43	534
	3	0	49	44	42	54	68	63	45	31	42	38	479
第6会議室	4	0	30	34	44	46	47	41	38	24	25	28	361
	4	0	28	29	32	34	36	33	30	15	18	18	277
視聴覚室	3	0	44	50	63	69	67	69	57	46	44	39	551
	3	0	39	43	60	58	62	64	52	43	41	34	499
音楽室	11	0	36	58	63	76	75	73	57	39	50	61	599
	11	0	36	54	61	72	71	71	55	36	46	61	574
和室	7	0	34	35	37	37	40	43	44	28	30	46	381
	7	0	29	33	33	31	37	41	40	26	29	44	350
料理室	4	0	21	15	12	23	27	25	29	10	18	14	198
	2	0	10	8	8	13	15	15	17	5	9	8	110
実習室	7	0	34	51	44	51	58	54	53	31	27	51	461
	7	0	33	49	42	45	56	51	49	29	26	49	436
体育室	17	0	84	84	89	86	88	86	78	71	79	88	850
	17	0	83	83	88	79	86	85	76	71	79	84	831
合計	98	0	527	620	624	737	744	710	637	446	529	604	6,276
	88	0	481	541	539	620	659	649	568	387	463	527	5,522
市民ギャラリー	0	0	0	3	0	1	2	2	2	1	2	3	16
	0	0	0	3	0	1	2	2	2	1	2	3	16

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間におけ、それぞれ1件として積算した。(ギャラリーは利用件数)

※ 下段は、利用団体数(市民ギャラリーは1団体1週間使用)

(4) 高津市民館
(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ホー ル	27 2	0 0	84 9	87 15	87 15	81 18	89 21	84 29	75 26	78 9	78 16	49 16	819 176
大会議室	27 2	0 0	87 22	90 44	90 48	87 53	89 65	87 56	78 50	79 20	81 17	44 19	839 396
第1会議室	27 4	0 0	87 20	90 25	90 35	87 43	89 41	87 53	78 41	78 25	81 35	74 26	868 348
第2会議室	27 4	0 0	87 23	90 27	90 26	87 43	89 42	87 42	78 31	78 19	81 28	72 28	866 313
第3会議室	27 5	0 0	87 11	90 22	90 18	87 29	89 32	87 39	78 30	78 15	81 30	72 30	866 261
第4会議室	27 3	0 0	87 30	90 37	90 33	87 55	89 51	87 47	78 37	78 25	81 28	73 38	867 384
第5会議室	27 4	0 0	87 31	90 47	90 34	87 38	89 51	87 52	78 39	78 20	81 28	42 19	836 363
第6会議室	27 6	0 0	87 27	90 34	90 35	87 39	89 40	87 49	78 34	78 20	81 24	43 16	837 324
第1音楽室	27 7	0 0	87 47	90 52	90 50	87 60	89 67	87 63	78 51	78 34	80 40	79 55	872 526
第2音楽室	27 2	0 0	87 35	90 32	90 45	87 50	89 52	87 54	78 40	78 28	81 30	73 39	867 407
和室	27 3	0 0	87 24	90 51	90 46	87 63	89 63	87 49	78 46	78 27	80 33	75 50	861 455
視聴覚室	27 1	0 0	87 37	90 40	90 40	87 52	89 58	87 58	78 37	78 24	80 26	75 41	868 414
料理室	27 0	0 0	87 30	90 9	90 4	87 10	89 8	87 12	78 11	78 1	81 4	72 9	866 98
実習室	27 0	0 0	87 38	90 41	90 34	87 45	89 45	87 42	78 34	78 11	81 22	72 34	866 346
体育室	27 14	0 0	87 79	90 85	90 86	87 86	89 88	87 85	78 73	78 71	81 79	82 80	876 826
合計	405 57	0 0	1,302 463	1,347 561	1,347 549	1,299 684	1,336 724	1,302 730	1,167 580	1,171 349	1,201 440	997 500	12,874 5,637
市民ギャラリー	1 0	0 0	4 2	5 1	4 1	5 2	4 4	4 3	5 2	3 2	4 1	4 1	43 19

※ 上段の件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。(ギャラリーは利用件数)

※ 下段は、利用団体数(市民ギャラリーは1団体1週間使用)

(5) 宮前市民館
(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ホー ル	8 4	0 0	22 9	21 9	48 21	50 20	55 23	57 27	58 28	0 0	0 0	0 0	319 141
大会議室	2 1	0 0	20 19	39 37	47 33	49 38	60 46	61 43	43 35	21 16	34 26	53 39	429 333
第1会議室	7 5	0 0	31 31	30 26	28 23	40 36	44 35	43 38	39 32	28 26	28 23	37 36	355 311
第2会議室	5 3	0 0	5 4	4 2	10 7	10 8	16 9	23 18	18 13	13 10	14 11	17 14	135 99
第3会議室	5 5	0 0	43 36	45 40	32 27	51 47	55 48	57 47	40 37	26 23	37 32	29 27	420 369
第4会議室	7 6	0 0	42 38	47 42	43 35	52 46	45 37	49 43	47 40	33 27	51 41	35 32	451 387
和室	6 6	0 0	34 32	42 39	40 36	29 25	48 41	40 39	42 42	27 27	28 28	44 43	380 358
料理室	0 0	0 0	6 5	6 4	1 1	6 4	16 9	7 5	13 9	4 2	9 4	3 2	71 45
実習室	4 4	0 0	17 17	24 22	25 22	29 27	42 33	39 37	29 28	18 16	22 19	30 27	279 252
視聴覚室	4 4	0 0	37 32	35 31	36 30	38 36	42 35	50 47	36 33	30 26	36 29	44 42	388 345
体育室	23 23	0 0	82 81	85 83	76 70	78 75	84 71	83 74	72 72	64 63	71 71	86 82	804 765
児童室	3 1	0 0	9 9	2 2	5 2	11 5	18 9	11 7	15 10	3 3	11 7	1 1	89 56
合計	74 62	0 0	348 313	380 337	391 307	443 367	525 396	520 425	452 379	267 239	341 291	379 345	4,120 3,461
市民ギャラリー	1 1	0 0	0 0	2 2	3 3	2 2	0 0	1 1	1 1	2 2	0 0	0 0	12 12

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。(ギャラリーは利用件数)

※ 下段は、利用団体数(市民ギャラリーは1団体1週間使用)

(6) 多摩市民館

(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ホー ル	3	0	11	19	57	42	46	48	59	29	48	69	431
	2	0	5	10	25	21	25	24	27	14	23	28	204
大会議室	0	0	34	31	47	49	58	53	44	34	28	37	415
	0	0	32	30	41	43	52	49	39	22	24	28	360
第1会議室	6	0	38	52	42	55	67	60	47	30	34	58	489
	6	0	33	49	35	50	58	53	39	28	29	45	425
第2会議室	10	0	23	24	28	32	37	37	32	17	29	38	307
	10	0	22	21	22	28	33	30	25	16	26	27	260
第3会議室	2	0	24	33	28	46	51	44	32	22	34	39	355
	2	0	22	31	26	41	46	42	29	17	27	30	313
第4会議室	5	0	29	37	43	51	53	57	47	29	36	43	430
	4	0	27	32	36	43	49	53	39	26	30	33	372
第5会議室	11	0	35	41	40	50	57	51	52	30	30	43	440
	8	0	32	37	34	43	54	48	47	26	26	35	390
第6会議室	12	0	52	50	50	54	61	66	49	38	31	51	514
	11	0	44	46	43	51	57	60	48	34	28	42	464
和室	5	0	31	34	29	37	44	42	40	22	23	44	351
	4	0	31	33	29	35	43	41	37	19	22	38	332
料理室	0	0	5	1	5	0	4	9	9	2	3	13	51
	0	0	3	1	3	0	2	5	5	1	2	6	28
実習室	0	0	21	39	25	39	35	36	37	17	25	39	313
	0	0	15	24	15	26	23	24	24	9	16	25	201
視聴覚室	7	0	40	51	49	52	66	66	56	31	40	40	498
	6	0	40	51	46	49	65	65	55	26	36	34	473
第1学習室	2	0	18	28	24	31	30	32	29	21	19	35	269
	2	0	18	28	23	27	28	31	29	20	19	29	254
第2学習室	2	0	23	25	27	28	29	35	24	19	25	40	277
	2	0	23	23	27	24	26	32	24	19	25	33	258
体育室	22	0	82	86	85	79	85	85	73	75	75	57	804
	22	0	78	84	84	76	82	82	69	70	72	50	769
合計	87	0	466	551	579	645	723	721	630	416	480	646	5,944
	79	0	425	500	489	557	643	639	536	347	405	483	5,103
市民ギャラリー	1	0	0	2	4	1	1	3	0	1	0	2	15
	1	0	0	2	4	1	1	3	0	1	0	2	15

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。(ギャラリーは利用件数)

※ 下段は、利用団体数(市民ギャラリーは1団体1週間使用)

(7) 麻生市民館

(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ホー ル	2	0	8	39	26	34	49	45	46	39	62	61	411
	1	0	5	18	14	17	24	22	22	17	24	32	196
大会議室	3	0	15	19	22	35	51	49	54	16	28	56	348
	1	0	14	18	21	30	44	38	44	12	21	49	292
第1会議室	6	0	29	46	43	58	61	64	26	24	40	35	432
	6	0	27	43	36	51	58	61	25	20	33	32	392
第2会議室	7	0	30	35	37	47	57	58	22	26	34	30	383
	5	0	27	35	33	45	54	54	22	15	29	30	349
第3会議室	4	0	35	41	24	49	58	56	25	31	35	33	391
	4	0	32	39	21	44	49	48	23	30	31	29	350
第4会議室	8	0	19	20	20	35	40	47	13	23	24	31	280
	6	0	14	14	13	27	29	35	11	19	17	24	209
和室	4	0	24	37	36	46	52	57	26	26	33	43	384
	4	0	24	37	36	44	50	51	23	25	32	43	369
実習室	2	0	30	44	30	44	53	49	21	23	26	27	349
	2	0	30	44	29	43	50	47	19	23	24	26	337
視聴覚室	4	0	7	32	29	41	66	56	31	26	32	54	378
	3	0	7	28	27	37	62	52	27	26	30	52	351
料理室	0	0	2	2	3	8	13	16	5	4	1	4	58
	0	0	2	2	2	8	12	11	3	2	1	4	47
体育室	25	0	70	82	81	78	79	81	76	72	69	89	802
	23	0	67	78	77	72	75	70	61	68	64	76	731
合計	65	0	269	397	351	475	579	578	345	310	384	463	4,216
	55	0	249	356	309	418	507	489	280	257	306	397	3,623
市民ギャラリー	0	0	0	2	3	3	4	4	4	1	1	3	25
	0	0	0	2	3	3	4	4	4	1	1	3	25

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。(ギャラリーは利用件数)

※ 下段は、利用団体数(市民ギャラリーは1団体1週間使用)

(8) 教育文化会館大師分館
(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
第1学習室	10	0	41	66	66	65	72	72	64	32	47	61	596
	10	0	41	65	66	65	72	72	64	32	47	61	595
第2学習室	9	0	32	53	56	50	54	50	43	23	30	45	445
	9	0	32	53	56	50	54	50	43	23	30	45	445
実習室	8	0	31	44	38	45	47	45	46	21	31	35	391
	7	0	30	40	34	41	43	42	42	20	29	33	361
和室	3	0	14	19	20	25	19	23	20	10	18	22	193
	3	0	14	19	19	24	19	22	20	10	16	20	186
児童室	1	0	3	2	3	2	4	5	3	2	2	2	29
	1	0	3	2	3	2	4	5	3	2	2	2	29
合計	31	0	121	184	183	187	196	195	176	88	128	165	1,654
	30	0	120	179	178	182	192	191	172	87	124	161	1,616

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。

※ 下段は、利用団体数

(9) 教育文化会館田島分館
(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
第1学習室	6	0	41	50	52	57	65	51	56	47	44	59	528
	6	0	40	50	51	57	63	50	50	46	43	58	514
第2学習室	6	0	38	50	49	49	59	48	54	43	42	54	492
	6	0	37	50	48	49	57	47	48	42	41	53	478
実習室	4	0	23	27	18	29	33	37	37	22	28	28	286
	4	0	23	26	18	27	31	36	29	20	26	28	268
和室	2	0	26	33	26	30	30	24	30	13	18	19	251
	2	0	24	32	25	30	30	23	23	12	17	18	236
児童室	0	0	5	3	3	5	6	3	14	4	4	4	51
	0	0	5	3	3	5	6	3	8	4	4	4	45
合計	18	0	133	163	148	170	193	163	191	129	136	164	1,608
	18	0	129	161	145	168	187	159	158	124	131	161	1,541

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。

※ 下段は、利用団体数

(10) 幸市民館日吉分館
(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
第1学習室	0	0	17	20	17	23	42	36	30	24	29	29	267
	0	0	17	19	17	22	34	31	28	22	25	26	241
第2学習室	0	0	16	22	19	29	33	29	32	21	27	36	264
	0	0	16	19	17	26	27	25	28	19	23	29	229
第3学習室	0	0	1	2	2	4	1	4	4	3	5	8	34
	0	0	1	2	2	4	1	4	4	3	3	8	32
第4学習室	3	0	8	11	15	8	8	4	5	5	11	11	89
	3	0	8	11	15	8	8	4	5	5	11	11	89
第3・第4学習室合併	7	0	29	36	43	46	56	54	38	32	40	48	429
	7	0	29	36	40	45	53	48	36	30	34	41	399
実習室	0	0	5	7	4	8	22	17	17	7	11	11	109
	0	0	4	5	3	7	15	12	11	7	9	8	81
和室	2	0	14	16	14	15	17	15	19	12	12	15	151
	2	0	12	15	14	15	16	14	17	12	12	15	144
合計	12	0	90	114	114	133	179	159	145	104	135	158	1,343
	12	0	87	107	108	127	154	138	129	98	117	138	1,215

(11) 高津市民館橋分館
(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
第1学習室	5	0	13	23	48	25	25	25	22	13	26	27	252
	4	0	9	17	33	19	17	17	15	8	19	19	177
第2学習室	2	0	19	17	22	23	19	24	17	17	18	24	202
	2	0	17	16	20	22	19	24	17	15	18	24	194
第3学習室	6	0	21	21	14	16	8	7	8	14	21	18	154
	6	0	21	21	14	16	7	7	8	14	21	18	153
第4学習室	1	0	1	4	6	4	5	0	0	2	5	5	33
	1	0	1	4	6	4	4	0	0	2	5	5	32
第3・4学習室合併	5	0	48	57	60	58	58	73	57	47	48	63	574
	5	0	47	57	60	57	56	69	57	45	45	60	558
実習室	0	0	18	14	12	13	16	17	14	8	9	15	136
	0	0	14	11	9	9	12	12	10	6	5	10	98
和室	1	0	4	4	3	14	18	13	10	6	14	16	103
	1	0	4	4	3	13	16	12	10	5	10	12	90
児童室	0	0	0	1	0	0	0	2	3	4	4	5	19
	0	0	0	1	0	0	0	1	2	4	4	5	17
合計	20	0	124	141	165	153	149	161	131	111	145	173	1,473
	19	0	113	131	145	140	131	142	119	99	127	153	1,319

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間におけ、それぞれ1件として積算した。

※ 下段は、利用団体数

(12) 宮前市民館菅生分館
(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
集会室	11	0	58	60	58	61	63	63	54	45	58	66	597
	11	0	58	60	56	61	63	62	53	45	56	59	584
和室	3	0	20	30	22	35	30	33	31	20	15	31	270
	3	0	20	30	22	35	30	33	31	20	15	27	266
学習室	2	0	8	21	20	30	40	40	28	21	9	36	255
	1	0	8	21	20	30	39	37	27	19	8	25	235
児童室	4	0	8	10	10	13	19	21	17	17	15	22	156
	2	0	4	5	6	7	10	10	9	10	9	10	82
合計	20	0	94	121	110	139	152	157	130	103	97	155	1,278
	17	0	90	116	104	133	142	142	120	94	88	121	1,167

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間におけ、それぞれ1件として積算した。

※ 下段は、利用団体数

(13) 麻生市民館岡上分館
(室別・月別利用状況)

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
集会室	9	0	27	42	37	43	49	63	47	33	40	48	438
	9	0	27	42	37	43	48	62	46	33	38	47	432
学習室	8	0	25	36	32	50	47	51	39	27	32	45	392
	8	0	25	35	32	49	47	47	36	24	27	40	370
和室	5	0	7	10	7	5	13	9	2	7	9	14	88
	4	0	6	10	5	5	11	8	2	6	9	12	78
体育室	21	0	82	82	77	80	88	86	74	58	64	87	799
	19	0	79	79	73	78	86	86	74	58	62	86	780
児童室	2	0	7	12	10	10	23	27	16	7	10	16	140
	2	0	5	10	10	8	17	21	10	7	7	14	111
合計	45	0	148	182	163	188	220	236	178	132	155	210	1,857
	42	0	142	176	157	183	209	224	168	128	143	199	1,771

(14) 日本民家園

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入園者総数	1,022	0	4,936	4,374	5,428	5,355	7,753	14,432	5,892	4,094	7,508	7,473	68,267
一般	289	0	2,016	1,769	2,452	2,185	2,614	4,119	1,541	1,311	2,838	2,096	23,230
市外65歳以上	51	0	428	188	161	326	774	885	349	133	339	601	4,235
高校生・大学生	25	0	141	149	161	312	225	252	102	90	154	198	1,809
年間パスポート利用者	105	0	477	354	396	293	362	514	305	366	507	402	4,081
有料入園者数	470	0	3,062	2,460	3,170	3,116	3,975	5,770	2,297	1,900	3,838	3,297	33,355
無料入園者数	552	0	1,874	1,914	2,258	2,239	3,778	8,662	3,595	2,194	3,670	4,176	34,912
中学生以下(内数)	123	0	550	558	1,032	846	1,286	2,399	2,017	892	1,886	2,212	13,801
開園日数	9	0	25	27	26	26	27	24	24	24	22	26	260
1日平均入園者数	114	0	197	162	209	206	287	601	246	171	341	287	235
外国人入園者数	14	0	131	210	119	253	134	269	90	71	123	183	1,597
伝統工芸館利用者数(内数)	103	0	122	197	356	255	263	417	181	146	249	360	2,649

(15) 青少年科学館

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
入館者数	2,525	0	10,994	13,952	18,803	16,611	19,567	25,789	16,698	13,868	19,369	20,069	178,245	
プラネタリウム観覧者	0	0	1,110	3,063	5,347	4,242	5,940	6,830	5,178	2,783	5,069	5,361	44,923	
上記のうち	学習投影	0	0	246	160	671	2,151	1,639	2,099	559	1,176	1,182	9,883	
	一般投影	0	0	1,110	2,817	5,187	3,571	3,789	4,911	3,001	2,224	3,893	34,651	
	一般	0	0	728	1,775	3,012	2,053	2,247	2,838	1,781	1,290	2,244	20,133	
	高校生・大学生	0	0	43	91	143	120	79	144	97	93	150	245	1,205
	65歳以上	0	0	95	161	213	179	307	343	222	159	221	296	2,196
	中学生以下	0	0	244	790	1,819	1,219	1,156	1,586	901	682	1,278	1,442	11,117
	特別投影	0	0	0	0	0	0	0	280	78	0	0	31	389
講座等参加者	0	0	16	296	425	394	537	676	410	448	353	228	3,783	
アストロテラス公開時入場者	0	0	0	43	27	77	340	330	965	343	385	641	3,151	
館外活動参加者	0	0	16	9	148	126	991	1,213	1,163	308	925	210	5,109	
生田緑地観察会	新型コロナウイルス感染症対策のため、開催中止												0	
かわさき星空ウォッチング	0	0	0	0	76	0	0	295	319	204	362	70	1,326	
ワクワクドキドキ玉手箱	0	0	0	0	72	50	81	129	108	62	352	0	854	
かわさきサイエンスチャレンジ	新型コロナウイルス感染症対策のため、開催中止												0	
地層観察(学校支援)	0	0	0	0	0	0	562	768	533	42	211	140	2,256	
林の観察(学校支援)	0	0	0	0	0	0	348	0	180	0	0	0	528	
その他	0	0	16	9	0	76	0	21	23	0	0	0	145	
合計	2,525	0	11,010	13,961	18,951	16,737	20,558	27,002	17,861	14,176	20,294	20,279	183,354	
合計	2,525	0	11,010	13,961	18,951	16,737	20,558	27,002	17,861	14,176	20,294	20,279	183,354	

(16) 市民ミュージアム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常設展	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企画展	有料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
映像ホール	有料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミニホール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
館内イベント・講座等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミュージアムライブラリー(図書)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミュージアムライブラリー(映像)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミュージアムライブラリー(閲覧)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修室等利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミュージアムギャラリー1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミュージアムギャラリー2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
館外展示入館・出張プログラム等	0	0	0	0	0	0	657	920	773	690	1319	939	5,298
合計	0	0	0	0	0	0	657	920	773	690	1,319	939	5,298
利用者累計							657	1,577	2,350	3,040	4,359	5,298	
開館日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1日平均利用者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※令和元年度東日本台風の被害により施設は休館しているため、館外展示入館・出張プログラム等の事業のみ実施した。

(17) 岡本太郎美術館

内訳		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
常設	有料	一般	個人	-	-	-	407	-	-	574	-	-	406	1,406	-	2,793	
		団体	-	-	-	0	-	-	1	-	-	-	0	0	-	1	
	大学・高校生	個人	-	-	-	27	-	-	71	-	-	-	38	181	-	317	
		団体	-	-	-	0	-	-	22	-	-	-	0	0	-	22	
	65歳以上	個人	-	-	-	28	-	-	91	-	-	-	12	124	-	255	
		団体	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	0	-	0	
	無料	一般	個人	-	-	-	209	-	-	237	-	-	90	457	-	993	
			団体	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	0	-	0
		※学生	個人	-	-	-	86	-	-	97	-	-	-	88	346	-	617
			団体	-	-	-	8	-	-	111	-	-	-	0	205	-	324
65歳以上		個人	-	-	-	11	-	-	40	-	-	-	18	64	-	133	
		団体	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	6	-	6	
企画	有料	一般	個人	273	-	2,303	2,047	3,932	4,002	2,740	3,097	1,566	1,051	1,846	3,351	26,208	
		団体	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	大学・高校生	個人	40	-	171	158	358	366	208	261	148	122	152	552	2,536		
		団体	0	-	0	0	0	32	230	0	0	0	0	0	0	262	
	65歳以上	個人	33	-	290	188	240	372	388	384	169	66	145	434	2,709		
		団体	0	-	0	0	0	30	0	21	0	0	0	0	0	51	
	無料	一般	個人	191	-	768	968	1,073	1,249	2,165	1,413	784	752	764	1,584	11,711	
			団体	0	-	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	9	
		※学生	個人	60	-	451	423	1,415	1,274	717	855	347	256	499	904	7,201	
			団体	0	-	0	0	0	102	263	904	589	190	0	779	2,827	
65歳以上		個人	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		団体	0	-	0	0	0	11	5	38	0	10	0	10	74		
その他イベント参加者															0		
利用者合計			597	0	3,983	4,560	7,018	7,438	7,960	6,982	3,603	3,099	6,195	7,614	59,049		
開館日数(内常設展のみ)			9	0	25	27(8)	26	26	25(8)	24	24	22(4)	22(15)	26	256(35)		
一日平均利用者数			66	0	153	169	270	286	318	291	150	141	282	293	202		

※個人：中学生以下
 団体：学校等（高校以下）

(18) 大山街道ふるさと館

室名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
イベント ホール	64	0	679	999	1,711	1,142	1,387	940	838	464	417	818	9,459
	2	0	33	43	62	43	53	48	35	23	24	39	405
和室	27	0	129	127	152	114	133	124	152	108	135	128	1,329
	6	0	23	27	26	21	25	27	27	21	25	25	253
第1会議室	66	0	169	199	175	276	246	199	237	163	149	262	2,141
	7	0	24	27	21	36	34	24	32	20	21	34	280
第2会議室	89	0	654	900	794	829	869	815	828	595	747	782	7,902
	5	0	39	54	48	50	54	50	48	36	44	48	476
第1会議室 第2会議室 合併使用	0	0	25	42	55	70	100	96	187	53	35	121	784
	0	0	2	2	4	3	5	5	9	4	10	6	50
貸館利用者数合計	246	0	1,656	2,267	2,887	2,431	2,735	2,174	2,242	1,383	1,483	2,111	21,615
※展示室	120	0	436	443	586	684	1,357	632	458	441	596	648	6,401
	10	0	26	31	31	29	29	24	27	27	26	30	290
総入館者数	935	0	4,578	4,627	5,237	5,083	6,442	4,576	4,219	3,383	4,009	4,543	47,632

各室の上段は利用者数 下段は件数（午前・午後・夜間） ※展示室の下段は開室日数

(19) 東海道かわさき宿交流館

室別\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来館者数	501	0	1,868	2,053	1,876	2,297	2,741	3,192	2,382	1,691	2,093	2,583	23,277
集会室1/回	4	0	38	56	52	59	52	64	51	33	46	54	509
集会室2/回	3	0	28	47	38	42	40	54	38	22	38	44	394
談話室/回	1	0	16	31	32	33	32	40	25	15	27	31	283

※来館者数は、集会室1・2及び談話室の人数を含めます。

(20) とどろきアリーナ

内容別\月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
個人 利用 状況	スポーツデー	0	0	0	96	902	1,364	1,587	1,289	1,395	1,123	1,226	1,837	10,819
	スポーツ教室	0	0	0	558	1,505	1,579	2,083	2,227	1,670	1,846	1,608	2,123	15,199
	トレーニング室	0	0	789	3,420	4,023	3,991	4,153	3,997	3,838	4,024	4,603	4,684	37,522
	体力測定	0	0	0	0	0	0	32	25	20	31	40	77	225
	スポーツサウナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	789	4,074	6,430	6,934	7,855	7,538	6,923	7,024	7,477	8,721	63,765
	メインアリーナ	0	0	0	0	0	0	56,976	41,548	48,264	53,002	26,280	48,938	275,008
		0	0	0	0	0	0	112	108	91	55	65	94	525
	メインアリーナ 講堂	0	0	0	0	0	0	4,320	2,660	4,320	1,750	1,960	1,100	16,110
		0	0	0	0	0	0	432	266	432	175	196	110	1,611
サブアリーナ	204	0	2,297	2,164	1,412	3,764	3,594	6,679	5,000	1,628	1,231	2,674	30,647	
	11	0	114	106	135	192	208	207	185	129	134	176	1,597	
団体 利用 状況	体育室1	68	0	1,042	1,277	2,069	1,530	1,579	2,084	2,123	1,113	1,646	1,819	16,350
		5	0	53	63	98	83	93	96	95	78	62	97	823
	体育室2	68	0	1,578	1,789	1,613	1,718	1,624	2,174	1,891	1,351	1,581	1,898	17,285
		4	0	48	69	88	90	98	99	93	85	81	96	851
	研修室1	77	0	386	381	358	664	508	1,006	1,632	519	313	953	6,797
		3	0	13	22	57	71	81	84	96	66	47	64	604
	研修室2	0	0	291	74	214	428	695	876	1,348	471	523	766	5,686
		0	0	9	10	58	71	89	92	90	77	53	84	633
	小計	417	0	5,594	5,685	5,666	8,104	69,296	57,027	64,578	59,834	33,534	58,148	367,883
		23	0	237	270	436	507	1,113	952	1,082	665	638	721	6,644
合計利用者数	417	0	6,383	9,759	12,096	15,038	77,151	64,565	71,501	66,858	41,011	66,869	431,648	

※ 団体利用状況の下段は利用件数。午前・午後1・午後2・夜間を各1件とする。

ただし、半面利用可能施設は半面利用を1件、全面利用を2件とする。

※ 団体利用人数・件数には、館主催事業であるスポーツデー及びスポーツ教室等も含まれる。

(21) カルッツかわさき

		第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期				合計	
		4月	5月	6月	小計	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	小計	1月	2月	3月	小計		
個人利用	スポーツデー	0	0	0	0	351	726	933	2,010	1,298	1,244	1,584	4,126	985	921	1,345	3,251	9,387	
	スポーツ教室	0	0	0	0	432	461	665	1,558	2,217	1,773	1,456	5,446	1,964	1,684	1,563	5,211	12,215	
	トレ室	0	0	719	719	2,854	2,957	2,978	8,789	2,890	2,798	2,391	8,079	2,475	2,596	2,753	7,824	25,411	
	弓道場	0	0	613	613	650	636	591	1,877	549	666	570	1,785	526	565	741	1,832	6,107	
	小計	0	0	1,332	1,332	4,287	4,780	5,167	14,234	6,954	6,481	6,001	19,436	5,950	5,766	6,402	18,118	53,120	
団体利用	大体育室	人	410	0	905	1,315	1,697	2,048	3,335	7,080	3,592	3,292	2,706	9,590	1,372	3,479	3,297	8,148	26,133
		件	26	0	54	80	92	86	111	289	103	146	105	354	69	121	103	293	1,016
	小体育室	人	127	0	621	748	1,174	1,399	1,270	3,843	1,462	1,361	1,180	4,003	581	1,481	1,274	3,336	11,930
		件	11	0	41	52	54	73	58	185	54	68	53	175	34	62	51	147	559
	武道室	人	65	0	375	440	670	668	550	1,888	725	545	772	2,042	506	462	820	1,788	6,158
		件	5	0	30	35	44	54	44	142	43	58	49	150	29	44	48	121	448
	武道室床	人	95	0	548	643	840	831	838	2,509	1,015	593	885	2,493	696	554	895	2,145	7,790
		件	8	0	41	49	58	61	64	183	62	64	61	187	47	53	59	159	578
	研修室1	人	7	0	124	131	192	197	270	659	302	207	237	746	96	232	171	499	2,035
		件	1	0	12	13	21	32	35	88	34	48	22	104	10	37	26	73	278
	研修室2	人	14	0	151	165	227	209	314	750	229	228	326	783	113	197	246	556	2,254
		件	2	0	13	15	21	27	34	82	27	39	25	91	13	35	26	74	262
	弓道場	人	0	0	40	40	77	86	115	278	193	52	112	357	54	91	111	256	931
		件	0	0	5	5	8	9	11	28	13	6	12	31	8	12	11	31	95
	選手控1	人	0	0	0	0	10	25	70	105	41	118	10	169	50	191	134	375	649
		件	0	0	0	0	2	6	14	22	8	25	2	35	6	23	10	39	96
	選手控2	人	0	0	0	0	10	25	70	105	66	118	30	214	50	191	164	405	724
		件	0	0	0	0	2	6	14	22	9	25	3	37	6	23	11	40	99
	役員室	人	0	0	0	0	0	39	50	89	32	62	36	130	12	94	67	173	392
		件	0	0	0	0	0	7	14	21	8	23	6	37	4	21	13	38	96
小計	人	718	0	2,764	3,482	4,897	5,527	6,882	17,306	7,657	6,576	6,294	20,527	3,530	6,972	7,179	17,681	58,996	
	件	53	0	196	249	302	361	399	1,062	361	502	338	1,201	226	431	358	1,015	3,527	
利用者合計		718	0	4,096	4,814	9,184	10,307	12,049	31,540	14,611	13,057	12,295	39,963	9,480	12,738	13,581	35,799	112,116	

※団体利用状況の下段は利用件数。午前・午後1・午後2・夜間を各1件とする。
ただし、片面利用可能施設は、片面を1件、全面利用を2件とする。

(22) 川崎市幸スポーツセンター

		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
個人利用	スポーツデー	0	0	0	767	1,237	1,406	2,104	1,745	1,993	1,388	1,671	2,122	14,433	
	スポーツ教室	0	0	0	1,157	939	825	1,589	1,659	783	1,153	1,151	939	10,195	
	トレーニング室	0	0	960	3,597	4,177	4,171	4,357	4,326	3,997	3,799	4,236	4,445	38,065	
	小計	0	0	960	5,521	6,353	6,402	8,050	7,730	6,773	6,340	7,058	7,506	62,693	
団体利用	大体育室	人数	343	0	2,497	2,819	4,236	2,394	4,172	3,040	3,249	2,365	2,033	2,456	29,604
		件数	28	0	124	137	149	127	135	138	125	93	92	99	1,247
	小体育室	人数	88	0	510	679	645	495	484	450	403	669	369	599	5,391
		件数	6	0	32	36	39	30	31	31	30	26	25	26	312
	研修室	人数	33	0	399	551	778	634	671	808	728	427	526	846	6,401
		件数	11	0	76	104	100	99	106	97	102	72	72	86	925
	小計	人数	464	0	3,406	4,049	5,659	3,523	5,327	4,298	4,380	3,461	2,928	3,901	41,396
		件数	45	0	232	277	288	256	272	266	257	191	189	211	2,484
利用者数合計		464	0	4,366	9,570	12,012	9,925	13,377	12,028	11,153	9,801	9,986	11,407	104,089	

※ 団体利用状況の下段は利用件数。午前・午後・夜間を各1件とする。ただし、半面利用可能施設は半面利用を1件、全面利用を2件とする。

(23) 川崎市高津スポーツセンター

		第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期				合計	
		4月	5月	6月	小計	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	小計	1月	2月	3月	小計		
個人利用	スポーツデー	0	0	0	0	1,847	2,059	2,425	6,331	2,796	2,303	2,481	7,580	1,706	1,650	2,638	5,994	19,905	
	スポーツ教室	0	0	20	20	3,419	2,551	3,879	9,849	4,167	3,528	3,879	11,574	3,026	3,222	3,637	9,885	31,328	
	トレーニング室	28	0	525	553	2,391	2,771	3,027	8,189	3,058	3,096	2,721	8,875	2,846	3,060	3,309	9,215	26,832	
	小計	28	0	545	573	7,657	7,381	9,331	24,369	10,021	8,927	9,081	28,029	7,578	7,932	9,584	25,094	78,065	
団体利用	大体育室	人数	495	0	2,100	2,595	2,814	3,855	3,056	9,725	3,945	3,846	4,741	12,532	1,756	2,531	3,555	7,842	32,694
		件数	35	0	123	158	145	132	116	393	112	140	118	370	82	96	120	298	1,219
	小体育室	人数	193	0	911	1,104	1,336	2,429	1,177	4,942	1,682	1,469	1,953	5,104	669	991	821	2,481	13,631
		件数	16	0	52	68	63	64	56	183	56	61	52	169	35	36	42	113	533
	第1武道室	人数	60	0	441	501	622	628	727	1,977	689	785	542	2,016	465	505	495	1,465	5,959
		件数	13	0	51	64	64	69	74	207	66	74	55	195	50	52	58	160	626
	第2武道室	人数	32	0	504	536	683	805	848	2,336	850	845	771	2,466	503	593	712	1,808	7,146
		件数	5	0	58	63	64	76	80	220	85	77	73	235	47	51	65	163	681
	研修室	人数	28	0	165	193	239	685	301	1,225	909	597	545	2,051	150	167	185	502	3,971
		件数	12	0	38	50	40	38	80	158	52	42	54	148	25	24	32	81	437
	ユニバーサル 広場	人数	0	0	35	35	28	7	31	66	47	33	60	140	12	8	28	48	289
		件数	0	0	4	4	5	1	4	10	6	5	9	20	2	1	5	8	42
	幼児体育室	人数	0	0	22	22	56	101	36	193	25	9	22	56	14	22	31	67	338
		件数	0	0	3	3	13	28	8	49	8	4	8	20	5	7	9	21	93
小計	人数	808	0	4,178	4,986	5,778	8,510	6,176	20,464	8,147	7,584	8,634	24,365	3,569	4,817	5,827	14,213	64,028	
	件数	81	0	329	410	394	408	418	1,220	385	403	369	1,157	246	267	331	844	3,631	
利用者数合計		836	0	4,723	5,559	13,435	15,891	15,507	44,833	18,168	16,511	17,715	52,394	11,147	12,749	15,411	39,307	142,093	

(24) 川崎市宮前スポーツセンター

		第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期				合 計	
		4月	5月	6月	小計	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	小計	1月	2月	3月	小計		
個人利用	スポーツデー	0	0	0	0	251	816	857	1,924	1,085	990	1,106	3,181	899	958	1,500	3,357	8,462	
	スポーツ教室	0	0	0	0	1,631	1,486	1,575	4,692	2,309	1,967	1,913	6,189	1,792	1,732	2,241	5,765	16,646	
	トレーニング室	0	0	655	655	2,824	2,941	2,932	8,697	3,074	3,114	2,907	9,095	2,909	3,210	3,468	9,587	28,034	
	小 計	0	0	655	655	4,706	5,243	5,364	15,313	6,468	6,071	5,926	18,465	5,600	5,900	7,209	18,709	53,142	
団体利用	大体育室	人数	408	0	2,627	3,035	3,534	2,636	4,108	10,278	4,301	7,460	4,057	15,818	2,330	2,608	4,439	9,377	38,508
		件数	30	0	67	97	81	66	67	214	74	55	69	198	69	61	56	186	695
	小体育室	人数	269	0	847	1,116	940	1,019	775	2,734	1,038	2,212	595	3,845	584	545	1,268	2,397	10,092
		件数	21	0	59	80	63	63	60	186	60	59	47	166	38	42	41	121	553
	研修室1	人数	21	0	453	474	670	291	960	1,921	363	433	497	1,293	401	215	219	835	4,523
		件数	5	0	32	37	35	26	33	94	28	29	30	87	23	15	24	62	280
	研修室2	人数	73	0	436	509	554	289	448	1,291	334	354	300	988	307	416	422	1,145	3,933
		件数	6	0	38	44	39	31	30	100	33	39	31	103	33	35	38	106	353
	小 計	人数	771	0	4,363	5,134	5,698	4,235	6,291	16,224	6,036	10,459	5,449	21,944	3,622	3,784	6,348	13,754	57,056
		件数	62	0	196	258	218	186	190	594	195	182	177	554	163	153	159	475	1,881
利用者数合計		771	0	5,018	5,789	10,404	9,478	11,655	31,537	12,504	16,530	11,375	40,409	9,222	9,684	13,557	32,463	110,198	

※ 団体利用状況の下段は利用件数。午前・午後・夜間を各1件とする。ただし、半面利用可能施設は半面利用を1件、全面利用を2件とする。

(25) 川崎市多摩スポーツセンター

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
スポーツデー	大体育室	0	0	0	143	572	1,098	1,064	771	1,076	808	806	1,338	7,676
	小体育室	0	0	0	0	0	0	173	166	174	109	65	115	802
	第1武道室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第2武道室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	研修室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	温水プール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	143	572	1,098	1,237	937	1,250	917	871	1,453	8,478
	スポーツ教室	大体育室	0	0	0	0	242	340	371	206	509	426	454	231
小体育室	0	0	0	0	719	1,066	981	456	1,045	866	930	524	6,587	
第1武道室	0	0	0	0	58	77	98	38	96	97	97	49	610	
第2武道室	0	0	0	0	111	190	109	70	171	204	198	146	1,199	
研修室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
アーチェリー練習場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
テニスコート	0	0	0	136	451	738	773	823	977	578	767	638	5,881	
温水プール	0	0	0	0	0	0	116	405	392	442	585	436	2,376	
合計	0	0	0	136	1,581	2,411	2,448	1,998	3,190	2,613	3,031	2,024	19,432	
個人利用	テニスコート	425	0	1,167	728	1,169	1,047	1,031	1,246	992	601	1,039	982	10,427
	温水プール	0	0	0	3,505	5,328	3,859	2,900	2,718	2,392	2,252	2,684	2,880	28,518
	トレーニング室	0	0	276	1,165	1,135	1,084	1,123	1,068	983	801	798	815	9,248
	合計	425	0	1,443	5,398	7,632	5,990	5,054	5,032	4,367	3,654	4,521	4,677	48,193
団体利用（上段：利用者数 下段：件数）	大体育室	233	0	2,579	4,439	10,486	5,080	7,810	6,459	6,550	1,387	3,131	3,518	51,672
		24	0	134	170	158	116	115	122	112	62	87	86	1,186
	小体育室	66	0	923	1,115	892	1,146	1,903	1,571	912	956	906	876	11,266
		11	0	94	101	74	71	73	72	63	60	65	67	751
	第1武道室	9	0	760	1,296	1,090	1,011	2,200	867	906	878	913	1,035	10,965
		3	0	68	85	76	86	88	79	70	66	71	76	768
	第2武道室	88	0	812	957	814	908	1,946	838	805	714	629	688	9,199
		13	0	68	82	67	82	83	76	65	54	57	60	707
	研修室	0	0	46	448	1,056	1,778	1,769	1,283	1,688	231	931	397	9,627
		0	0	6	11	31	28	33	29	33	14	13	19	217
	アーチェリー練習場	193	0	1,043	1,285	1,271	1,288	1,221	1,265	1,207	891	939	994	11,597
		31	0	94	114	116	111	110	108	102	84	76	87	1,033
	野球場	114	0	833	531	3,328	1,448	1,671	985	285	385	1,100	971	11,651
		10	0	34	32	47	52	39	28	21	30	49	33	375
	温水プール	0	0	0	0	0	0	3,436	1,450	0	0	0	0	4,886
		0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	6
上段利用者数合計	703	0	6,996	10,071	18,937	12,659	21,956	14,718	12,353	5,442	8,549	8,479	120,863	
利用数合計	1,128	0	8,439	15,748	28,722	22,158	30,695	22,685	21,160	12,626	16,972	16,633	196,966	

(26) 川崎市麻生スポーツセンター

内容別／月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
個人 利用 状況	スポーツデー①	0	0	0	1,936	1,876	2,309	2,560	2,025	2,161	1,860	2,034	2,393	19,154	
	スポーツ教室②	0	0	0	87	172	1,671	1,920	1,650	1,249	1,232	1,504	1,384	10,869	
	トレーニング室	0	0	594	2,645	2,762	3,000	3,142	3,015	2,849	2,823	3,036	2,993	26,859	
	その他	0	0	42	280	290	290	320	398	293	240	272	289	2,714	
	小計③	0	0	636	4,948	5,100	7,270	7,942	7,088	6,552	6,155	6,846	7,059	59,596	
部屋別／月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
団体 利用 状況	大体育室	人数	227	0	1,327	3,225	2,161	2,149	2,919	3,408	2,788	2,608	2,058	3,228	26,098
		件数	23	0	85	103	104	112	135	134	127	105	95	121	1,144
	小体育室	人数	109	0	653	792	743	647	844	859	729	550	671	819	7,416
		件数	13	0	48	58	57	44	56	52	45	41	38	45	497
	第一武道室	人数	87	0	1,286	1,481	1,148	1,312	1,419	1,255	1,173	923	1,114	1,466	12,664
		件数	14	0	84	96	78	83	89	88	81	67	68	86	834
	第二武道室	人数	143	0	892	1,181	1,111	1,147	1,179	1,230	1,089	735	888	969	10,564
		件数	15	0	60	79	77	81	85	83	72	51	64	75	742
	研修室他	人数	13	0	110	150	137	264	443	306	261	152	172	452	2,460
		件数	2	0	17	18	19	32	35	33	29	22	18	36	261
	小計④	人数	579	0	4,268	6,829	5,300	5,519	6,804	7,058	6,040	4,968	4,903	6,934	59,202
		件数	67	0	294	354	335	352	400	390	354	286	283	363	3,478
	合計利用者数③+④-①+②		579	0	4,904	11,777	10,400	12,789	14,746	14,146	12,592	11,123	11,749	13,993	118,798

※ 団体利用状況の下端は利用件数。件数は、午前・午後1・午後2・夜間を各1件とする。ただし、大体育室は半面利用可能であるため半面利用を1件、全面利用を2件とする。

(27) 石川記念武道館

ア. 月別 団体利用人数

内容別/月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
柔道場	人数	6	-	333	399	397	657	422	580	446	345	429	490	4,504
	件数	1	-	23	31	33	39	30	47	20	29	33	36	322
柔道	人数	-	-	-	2	60	147	84	59	25	-	50	149	576
	件数	-	-	-	1	4	4	4	4	1	-	4	9	31
合気道	人数	-	-	14	69	91	126	57	134	138	88	153	91	961
	件数	-	-	4	10	14	11	5	16	11	12	14	12	109
空手道	人数	6	-	213	204	189	242	119	225	110	153	112	106	1,679
	件数	1	-	11	10	11	13	8	13	6	8	7	5	93
少林寺拳法	人数	-	-	-	-	-	25	26	22	10	-	-	-	83
	件数	-	-	-	-	-	2	3	3	2	-	-	-	10
その他	人数	-	-	106	124	57	117	136	140	163	104	114	144	1,205
	件数	-	-	8	10	4	9	10	11	-	9	8	10	79
剣道場	人数	139	-	597	683	673	831	698	938	696	446	500	686	6,887
	件数	16	-	50	54	45	51	46	56	44	31	36	45	474
剣道	人数	70	-	268	339	398	372	266	390	290	186	203	150	2,932
	件数	12	-	28	28	26	23	18	24	20	14	16	12	221
空手道	人数	56	-	130	93	65	109	78	221	111	74	76	157	1,170
	件数	2	-	7	8	5	7	6	12	8	5	5	9	74
少林寺拳法	人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
なぎなた	人数	8	-	12	20	22	15	12	20	11	-	20	18	158
	件数	1	-	1	2	2	2	1	2	1	-	2	2	16
合気道	人数	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	4	10
	件数	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	3
その他	人数	5	-	187	231	186	335	338	307	284	186	201	357	2,617
	件数	1	-	14	16	11	19	20	18	15	12	13	21	160
団体利用日計	人数	145	-	930	1,082	1,070	1,488	1,120	1,518	1,142	791	929	1,176	11,391
	件数	17	-	73	85	78	90	76	103	64	60	69	81	796

件数は、午前・午後・夜間を各1件とする。

イ. 月別 個人利用人数

内容別/月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
柔道場		-	-	-	172	555	568	631	564	660	184	154	224	3,712
柔道	人数	-	-	-	55	184	202	219	205	281	47	20	84	1,297
	件数	-	-	-	77	222	212	216	178	213	79	81	91	1,369
合気道	人数	-	-	-	22	79	52	62	94	87	36	44	34	510
	件数	-	-	-	16	69	98	131	77	72	18	6	11	498
空手道	人数	-	-	-	2	1	4	3	10	7	4	3	4	38
	件数	-	-	-	268	211	274	395	332	234	343	269	290	2,616
少林寺拳法	人数	-	-	-	151	462	427	557	454	464	189	195	260	3,159
	件数	-	-	-	91	294	266	368	268	296	176	157	185	2,101
空手道	人数	-	-	-	11	51	54	62	60	56	-	-	17	311
	件数	-	-	-	22	60	58	74	60	52	-	-	11	337
なぎなた	人数	-	-	-	27	57	49	53	66	60	12	37	47	408
	件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合気道	人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2
その他	人数	-	-	-	68	72	97	160	150	38	69	106	103	863
	件数	-	-	-	323	1,017	995	1,188	1,018	1,124	373	349	484	6,871
個人利用日計		-	-	-	336	283	371	555	482	272	412	375	393	3,479
自主事業計		-	-	-	659	1,300	1,366	1,743	1,500	1,396	785	724	877	10,350
合計		-	-	-	659	1,300	1,366	1,743	1,500	1,396	785	724	877	10,350

ウ. 月別利用人数

内容別/月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体利用		145	-	930	1,082	1,070	1,488	1,120	1,518	1,142	791	929	1,176	11,391
個人利用		-	-	-	659	1,300	1,366	1,743	1,500	1,396	785	724	877	10,350
合計		145	-	930	1,741	2,370	2,854	2,863	3,018	2,538	1,576	1,653	2,053	21,741

(28) 視聴覚センター

(視聴覚教材利用状況)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
教育文化会館	貸出本数	0	0	0	0	0	0	5	6	2	0	0	0	13
	利用人数	0	0	0	0	0	0	36	66	18	0	0	0	120
幸市民館	貸出本数	0	0	0	0	0	3	3	3	2	2	2	7	22
	利用人数	0	0	0	0	0	39	28	168	12	8	6	504	765
中原市民館	貸出本数	0	0	0	0	0	0	11	0	6	16	10	1	44
	利用人数	0	0	0	0	0	0	110	0	60	1,220	178	0	1,568
高津市民館	貸出本数	0	0	2	1	0	6	9	5	2	0	0	0	25
	利用人数	0	0	14	0	0	38	467	5	30	0	0	0	554
宮前市民館	貸出本数	0	0	0	0	0	0	0	0	7	11	4	2	24
	利用人数	0	0	0	0	0	0	0	0	250	11	423	24	708
多摩市民館	貸出本数	0	0	0	1	5	15	2	1	3	1	0	5	33
	利用人数	0	0	0	0	20	1,132	67	0	54	4	0	64	1,341
麻生市民館	貸出本数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合教育センター	貸出本数	0	0	12	0	0	0	2	3	1	0	0	0	18
	利用人数	0	0	958	0	0	0	2	102	690	0	0	0	1,752
合計	貸出本数	0	0	14	2	5	24	32	18	23	30	16	15	179
	利用人数	0	0	972	0	20	1,209	710	341	1,114	1,243	607	592	6,808

(29) 生涯学習プラザ

室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
401会議室	1	0	6	15	18	30	51	48	36	23	17	25	270
303研修室	1	2	13	23	26	47	43	45	36	25	21	31	313
301会議室	3	0	5	16	24	36	53	35	38	25	30	33	298
201会議室	0	0	13	20	19	34	41	48	35	25	26	29	290
202会議室	6	1	7	16	37	30	45	46	35	36	35	41	335
101活動室	1	0	18	24	24	47	50	49	42	38	52	52	397
B1実習室	4	0	0	4	28	26	35	27	22	32	24	12	214
203活動室	11	0	81	92	89	135	129	115	115	104	98	111	1,080
402フィットネスルーム	12	0	72	97	85	115	131	133	103	63	83	108	1,002
302多目的ルーム	10	0	96	117	106	126	136	125	128	96	101	142	1,183
合計	49	3	311	424	456	626	714	671	590	467	487	584	5,382

会議室と101活動室は午前・午後・夜間を各1件とする。

203活動室、402フィットネスルーム、302多目的ルームは、2時間単位を1件とする。

(30) 地名資料室

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入室者	38	0	100	115	130	126	120	98	72	58	101	82	1,040
図書利用	36	0	83	91	124	113	86	66	53	45	90	75	862
レファレンス	11	1	32	49	24	43	35	24	27	21	37	26	330

(31) 有馬・野川生涯学習支援施設

(室別・月別利用状況)

室名/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
集会室	6	0	54	64	70	78	74	68	68	55	60	73	670
	6	0	54	63	69	75	74	67	67	55	58	71	659
和室	3	0	31	44	35	49	49	48	46	27	39	42	413
	3	0	30	42	34	46	46	45	43	25	36	39	389
調理室	0	0	3	6	3	2	5	7	6	4	7	4	47
	0	0	3	6	3	2	5	6	6	4	6	4	45
実習室	9	0	25	28	24	33	37	35	28	21	22	29	291
	8	0	22	25	20	26	32	30	25	18	20	26	252
和室・調理室合併	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
調理室・実習室合併	1	0	2	3	2	3	3	5	4	2	2	6	33
	1	0	2	3	2	3	2	5	4	2	2	5	31
和室・調理室・実習室合併	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第1学習室	0	0	20	22	19	30	31	29	31	17	22	26	247
	0	0	17	19	17	28	28	27	28	16	20	24	224
第2学習室	3	0	18	24	17	23	26	25	24	17	23	19	219
	2	0	17	20	16	20	22	20	20	13	20	17	187
第3学習室	8	0	44	41	32	38	42	43	39	27	31	38	383
	7	0	38	33	26	32	36	35	30	23	25	30	315
第1・2学習室合併	1	0	11	12	11	15	14	12	15	9	9	15	124
	1	0	11	12	11	15	14	12	15	9	9	15	124
第2・3学習室合併	1	0	3	10	9	6	6	7	3	3	4	3	55
	1	0	3	10	8	4	6	7	3	3	4	3	52
第1・2・3学習室合併	0	0	2	1	0	4	4	0	2	0	0	3	16
	0	0	2	1	0	3	4	0	2	0	0	3	15
合計	32	0	213	255	222	281	291	279	267	182	219	258	2,499
	29	0	199	234	206	254	269	254	244	168	200	237	2,294

※ 件数は、1日を午前・午後・夜間にわけ、それぞれ1件として積算した。上段利用コマ数

※ 下段は、利用団体数。

(32) 青少年の家

室名等	利用数	第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期				年計
		4月	5月	6月	小計	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	小計	1月	2月	3月	小計	
プレイホール	延人数	60	0	267	327	703	495	797	1,995	749	1,647	1,061	3,457	898	709	2,110	3,717	9,496
	延件数	3	0	38	41	29	18	37	84	31	33	20	84	28	28	56	112	321
音楽室	延人数	0	0	109	109	135	70	287	492	33	684	46	763	279	73	1,001	1,353	2,717
	延件数	0	0	8	8	11	7	16	34	2	17	4	23	3	7	10	20	85
研修室1	延人数	95	0	112	207	203	88	405	696	1,088	2,085	991	4,164	651	464	2,098	3,213	8,280
	延件数	3	0	75	78	9	7	19	35	37	38	27	102	14	11	32	57	272
研修室2	延人数	95	0	125	220	222	106	371	699	1,083	2,085	947	4,115	561	464	2,098	3,123	8,157
	延件数	3	0	75	78	9	9	18	36	36	38	24	98	9	11	32	52	264
特別研修室	延人数	0	0	0	0	0	56	58	114	907	261	188	1,356	281	13	1,369	1,663	3,133
	延件数	0	0	0	0	0	4	4	8	32	11	6	49	5	2	21	28	85
談話室	延人数	0	0	0	0	27	41	108	176	747	249	62	1,058	272	16	1,020	1,308	2,542
	延件数	0	0	0	0	2	4	4	10	34	13	6	53	3	3	13	19	82
創作活動室	延人数	15	0	152	167	181	337	626	1,144	311	1,709	1,352	3,372	392	116	1,779	2,287	6,970
	延件数	0	0	4	4	8	19	22	49	13	25	33	71	6	6	30	42	166
園庭	延人数	0	0	124	124	218	397	549	1,164	947	2,113	1,293	4,353	556	366	1,283	2,205	7,846
	延件数	1	0	26	27	8	24	18	50	26	37	37	100	13	14	18	45	222
プール	延人数				0	104	561		665				0				0	665
	延件数				0	4	28		32				0				0	32
計	延人数	265	0	889	1,154	1,793	2,151	3,201	7,145	5,865	10,833	5,940	22,638	3,890	2,221	12,758	18,869	49,806
	延件数	10	0	226	236	80	120	138	338	211	212	157	580	81	82	212	375	1,529
来所利用者実数		69	0	443	512	686	995	1,168	2,849	1,312	1,912	1,101	4,325	814	785	1,853	3,452	11,138

(33) 八ヶ岳少年自然の家

団体種別	実利用人数	延べ利用人数	団体数
学校団体	753	2,249	4
青少年団体	486	1,176	22
その他団体（主催、その他）	107	214	2
グループ・家族	796	2,293	140
日帰り	346	346	50
総合計	2,488	6,278	218

(34) 黒川青少年野外活動センター

令和2年度月別利用団体数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
青少年団体	3	0	5	4	14	12	13	13	8	7	8	11	98
日帰り	3	0	5	4	12	11	10	13	5	7	7	8	85
宿 泊	0	0	0	0	2	1	3	0	3	0	1	3	13
学 校	0	0	0	0	1	1	0	5	1	1	0	0	9
日帰り	0	0	0	0	1	1	0	5	1	1	0	0	9
宿 泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
官 公 庁	0	0	0	0	0	0	3	3	0	3	0	0	9
日帰り	0	0	0	0	0	0	3	3	0	3	0	0	9
宿 泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	7	0	21	25	23	30	29	40	36	24	26	19	280
日帰り	7	0	21	24	20	27	26	37	34	24	26	19	265
宿 泊	0	0	0	1	3	3	3	3	2	0	0	0	15
合 計	10	0	26	29	38	43	45	61	45	35	34	30	396
日帰り	10	0	26	28	33	39	39	58	40	35	33	27	368
宿 泊	0	0	0	1	5	4	6	3	5	0	1	3	28

令和2年度月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
青少年団体	40	0	115	71	487	201	354	374	356	141	292	245	2,676
日帰り	40	0	115	71	331	175	222	374	224	141	256	135	2,084
宿 泊	0	0	0	0	156	26	132	0	132	0	36	110	592
学 校	0	0	0	0	7	7	0	228	150	142	0	0	534
日帰り	0	0	0	0	7	7	0	228	150	142	0	0	534
宿 泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
官 公 庁	0	0	0	0	0	0	132	129	0	69	47	0	377
日帰り	0	0	0	0	0	0	132	129	0	69	47	0	377
宿 泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	63	0	193	350	290	389	407	682	451	322	457	261	3,865
日帰り	63	0	193	270	230	303	286	596	417	322	457	261	3,398
宿 泊	0	0	0	80	60	86	121	86	34	0	0	0	467
合 計	103	0	308	421	784	597	893	1413	957	674	796	506	7,452
日帰り	103	0	308	341	568	485	640	1327	791	674	760	396	6,393
宿 泊	0	0	0	80	216	112	253	86	166	0	36	110	1,059

(35) 子ども夢パーク

			第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			合計
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
利用報告	利用者数	乳幼児	575	1,159	984	1,153	1,986	1,455	1,072	1,348	663	747	1,487	1,488	14,117
		小学生	703	816	804	850	1,275	1,180	1,377	1,533	707	811	1,162	1,271	12,489
		中学生	366	308	433	324	304	402	423	391	338	256	418	424	4,387
		高校生	247	161	336	311	250	342	357	295	190	206	313	329	3,337
		おとな	981	1,802	1,528	1,465	2,272	1,901	1,733	2,153	971	1,092	1,787	1,702	19,387
	合計(人)		2,872	4,246	4,085	4,103	6,087	5,280	4,962	5,720	2,869	3,112	5,167	5,214	53,717
	団体利用(件)	乳幼児	2	0	10	31	14	26	22	14	9	9	16	29	182
		小学校	5	1	2	7	15	11	7	17	4	1	2	8	80
		その他	9	8	15	12	8	7	14	8	7	7	21	5	121
	視察・見学取材等	団体	3	3	6	5	9	19	12	15	8	7	7	11	105
個人		7	7	3	8	11	8	6	17	5	10	10	8	100	
合計(団体)		26	19	36	63	57	71	61	71	33	34	56	61	588	
スタジオ	スタジオ登録	講習会回/月	-	-	-	-	1	2	1	1	3	3	2	2	15
		受講者数/月	-	-	-	-	4	7	3	2	1	9	8	6	40
		登録者(のべ)	3,563	3,563	3,563	3,563	3,567	3,574	3,577	3,579	3,580	3,589	3,596	3,600	3,600
	スタジオ利用	利用可能コマ数/月	-	-	-	200	299	288	299	269	247	243	258	293	2,396
		利用コマ数/月	-	-	-	56	120	125	119	91	81	87	91	115	885
		稼働率	-	-	-	28.0%	40.1%	43.4%	39.8%	33.8%	32.8%	35.8%	35.3%	39.2%	36.9%
		利用者計	-	-	-	65	139	149	134	103	90	117	114	138	1,049

【補足】

令和2年度においては、令和2年4月7日新型コロナウイルス対策の特別措置法第32条に基づく緊急事態宣言が発出され、当初は4月11日から5月6日までを期間として、その後、4月20日時点で、5月末までの期間延長がなされ、政府のガイドライン等に基づき公共施設の休館・利用停止の措置が取られた。

3. 学校施設開放校一覧表

体育館開放 167校

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	
小学校	殿町小 四谷小 東門前小 大師小 川中島小 藤崎小 さくら小 大島小 渡田小 東小田小 小田小 浅田小 東大島小 向小 田島小 新町小 旭町小 宮前小 川崎小 京町小	幸町小 南河原小 御幸小 西御幸小 戸手小 古川小 東小倉小 下平間小 古市場小 日吉小 小倉小 南加瀬小 夢見ヶ崎小	下河原小 平間小 玉川小 下沼部小 荻宿小 木月小 東住吉小 住吉小 井田小 今井小 上丸子小 西丸子小 中原小 宮内小 大戸小 下小田中小 新城小 大谷戸小 小杉小	子母口小 橘小 末長小 新作小 東高津小 坂戸小 久本小 下作延小 高津小 梶ヶ谷小 西梶ヶ谷小 久末小 上作延小 南原小 久地小	野川小 西野川小 南野川小 宮崎小 鷺沼小 有馬小 西有馬小 富士見台小 宮前平小 宮崎台小 向丘小 平小 白幡台小 菅生小 稗原小 犬蔵小 土橋小	稲田小 長尾小 宿河原小 登戸小 中野島小 下布田小 東菅小 南菅小 西菅小 菅小 東生田小 三田小 生田小 南生田小	長沢小 西生田小 千代ヶ丘小 金程小 百合丘小 南百合丘小 麻生小 東柿生小 真福寺小 虹ヶ丘小 王禅寺中央小 柿生小 岡上小 片平小 栗木台小	20 13 19 15 17 14 15 (計113)
中学校	大師中 南大師中 川中島中 桜本中 臨港中 田島中 京町中 渡田中 富士見中 川崎中	南河原中 御幸中 塚越中 日吉中 南加瀬中	平間中 玉川中 住吉中 井田中 今井中 中原中 宮内中 西中原中	東橘中 橘中 高津中 東高津中 西高津中	宮崎中 野川中 有馬中 宮前平中 向丘中 平中 菅生中 犬蔵中	稲田中 枅形中 中野島中 南菅中 菅中 生田中 南生田中	西生田中 金程中 長沢中 麻生中 王禅寺中央中 白鳥中 はるひ野中	10 5 8 5 8 7 7 (計50)
特別支援学校	田島支援 田島支援桜校		ろう学校	中央支援			2 1 1 (計4)	
計	32校	18校	28校	21校	25校	21校	22校	

校庭開放 145校

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
小学校	殿町小 四谷小 東門前小 大師小 川中島小 藤崎小 さくら小 大島小 渡田小 東小田小 小田小 浅田小 東大島小 向小 田島小 新町小 旭町小 宮前小 川崎小 京町小 20	幸町小 南河原小 御幸小 西御幸小 戸手小 古川小 東小倉小 下平間小 古市場小 日吉小 小倉小 南加瀬小 夢見ヶ崎小 13	下河原小 平間小 玉川小 下沼部小 荏宿小 木月小 東住吉小 住吉小 井田小 今井小 上丸子小 西丸子小 中原小 宮内小 大戸小 下小田中小 新城小 大谷戸小 小杉小 19	子母口小 橘小 末長小 新作小 東高津小 坂戸小 久本小 下作延小 高津小 梶ヶ谷小 西梶ヶ谷小 久末小 上作延小 南原小 久地小 15	野川小 西野川小 南野川小 宮崎小 鷺沼小 有馬小 西有馬小 富士見台小 宮前平小 宮崎台小 向丘小 平小 白幡台小 菅生小 稗原小 犬蔵小 16	稲田小 長尾小 宿河原小 登戸小 中野島小 下布田小 東菅小 南菅小 西菅小 菅小 東生田小 三田小 生田小 南生田小 14	長沢小 西生田小 千代ヶ丘小 金程小 百合丘小 南百合丘小 麻生小 東柿生小 真福寺小 虹ヶ丘小 王禅寺中央小 柿生小 岡上小 片平小 栗木台小 15 (計112)
中学校	南大師中 桜本中 田島中 京町中 渡田中 川崎中 6	塚越中 日吉中 2	平間中 玉川中 住吉中 井田中 中原中 宮内中 西中原中 7	東橘中 橘中 高津中 東高津中 4	野川中 平中 犬蔵中 3	稲田中 栴形中 南菅中 菅中 4	金程中 長沢中 麻生中 白島中 4 (計30)
特別支援学校	田島支援桜校 1		ろう学校 1	中央支援 1			(計3)
計	27校	15校	27校	20校	19校	18校	19校

夜間校庭開放 7校

川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
臨港中	塚越中	東住吉小	久本小	菅生中	南生田中	麻生小

特別教室 136校

小学	殿町小 四谷小 東門前小 大師小 川中島小 藤崎小 さくら小 大島小 渡田小 東小田小 小田小 東大島小 向小 田島小 新町小 宮前小 川崎小 京町小	幸町小 御幸小 西御幸小 戸手小 古川小 東小倉小 下平間小 古市場小 小倉小 夢見ヶ崎小	下河原小 平間小 木月小 東住吉小 井田小 上丸子小 西丸子小 中原小 宮内小 大戸小 下小田中小 新城小 大谷戸小 小杉小	橘小 末長小 新作小 東高津小 久本小 下作延小 高津小 西梶ヶ谷小 久末小 久地小	野川小 宮崎小 鷺沼小 有馬小 西有馬小 富士見台小 宮前平小 宮崎台小 向丘小 稗原小 犬蔵小 土橋小	稲田小 長尾小 宿河原小 登戸小 中野島小 下布田小 南菅小 西菅小 菅小 東生田小 三田小 生田小 南生田小	長沢小 西生田小 千代ヶ丘小 金程小 百合丘小 南百合丘小 麻生小 東柿生小 真福寺小 虹ヶ丘小 柿生小 岡上小 片平小 栗木台小
	18	10	14	10	12	13	14 (計91校)
中学	大師中 南大師中 川中島中 桜本中 田島中 京町中 渡田中 富士見中 川崎中	南河原中 御幸中 塚越中 日吉中 南加瀬中	平間中 玉川中 住吉中 井田中 今井中 中原中 宮内中 西中原中	橘中 高津中 東高津中 西高津中	宮崎中 野川中 有馬中 宮前平中 向丘中 菅生中 犬蔵中	桁形中 中野島中 南菅中 菅中 生田中 南生田中	西生田中 金程中 長沢中 麻生中 王禅寺中央中 白鳥中
	9	5	8	4	7	6	6 (計45校)
計	27校	15校	22校	14校	19校	19校	20校

4. 市内所在指定文化財一覧

川崎市内所在指定文化財等一覧表

(令和3年4月1日現在)

国指定文化財 17件 (建造物7、絵画1、彫刻1、工芸2、書籍・典籍1、古文書1、考古資料2、有形民俗文化財1、史跡1)

種別	件名	員数	指定年月日	所在地	所有者	備考
重要文化財	木造薬師如来両脇侍像	3軀	M33. 4. 7	宮前区野川本町3-4-4	影向寺	彫刻
重要文化財	清原良枝遺誠	2巻	S34. 9. 1	中原区	個人	古文書
重要文化財	宋拓隋啓法寺碑	1帖	S37. 2. 2	川崎市		書籍・典籍
重要文化財	鬼瓦	1箇	S35. 6. 9	麻生区	個人	考古資料
重要文化財	銅錫杖頭	1柄	S35. 6. 9	麻生区	個人	工芸
重要文化財	片口土器	1口	S35. 6. 9	宮前区	個人	考古資料
重要文化財	旧伊藤家住宅	1棟	S39. 5. 29	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
重要文化財	旧北村家住宅	1棟	S41. 12. 5	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
重要文化財	旧佐々木家住宅 附 寛保三亥年家普請 人足諸入用帳1冊 延享四年座敷普請 入用覚帳1冊	1棟	S42. 11. 12	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
重要文化財	旧太田家住宅	2棟	S43. 4. 25	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
重要文化財	旧江向家住宅	1棟	S44. 6. 20	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
重要文化財	旧工藤家住宅	1棟	S44. 12. 18	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
重要文化財	旧作田家住宅	2棟	S45. 6. 17	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
重要文化財	葵梶葉文染分辻が花染小袖	1領	S46. 6. 22	川崎区大師本町10-22	明長寺	工芸
重要文化財	紙本著色花鳥人物図	1双	S63. 6. 6	高津区	個人	絵画
重要有形民俗文化財	旧船越の舞台	1棟	S51. 8. 23	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	有形民俗
史跡	橘樹官衙遺跡群	21, 210, 72㎡	H27. 3. 10	高津区千年・宮前区野川本町	川崎市他	史跡

県指定文化財 27件 (建造物11、絵画1、彫刻3、工芸2、無形民俗文化財4、史跡4、天然記念物2)

種別	件名	員数	指定年月日	所在地	所有者	備考
重要文化財	木造地藏菩薩立像	1軀	S41. 7. 19	多摩区枳形6-7-1	広福寺	彫刻
重要文化財	木造聖観音立像	1軀	S41. 7. 19	多摩区枳形6-7-1	広福寺	彫刻
重要文化財	鱧口	1口	S44. 12. 2	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	春日神社	工芸
重要文化財	太刀 銘国宗	1口	S29. 3. 31	幸区	個人	工芸
重要文化財	旧清宮家住宅	1棟	S46. 3. 30	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
重要文化財	旧野原家住宅	1棟	S46. 3. 30	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
重要文化財	旧広瀬家住宅	1棟	S46. 3. 30	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
重要文化財	旧鈴木家住宅	1棟	S47. 11. 24	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
重要文化財	旧三澤家住宅	1棟	S47. 11. 24	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
重要文化財	旧山下家住宅	1棟	S47. 11. 24	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
重要文化財	影向寺薬師堂 附 厨子1基 古瓦15個 石燈籠1基 塔心礎1個 屋根替銘札2枚	1棟	S52. 8. 19	宮前区野川419	影向寺	建造物
重要文化財	紙本金地著色鳥合わせ図屏風	六曲一雙	S59. 11. 22	多摩区登戸1416	長念寺	絵画
重要文化財	旧井岡家住宅 附 旧柱等部材11丁	1棟	S61. 11. 28	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
重要文化財	旧岩澤家住宅	1棟	S61. 11. 28	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
重要文化財	旧菅原家住宅 附 祈禱札1枚	1棟	H1. 2. 10	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
重要文化財	木造虚空蔵菩薩立像	1軀	H4. 11. 20	高津区千年354	能満寺	彫刻
重要文化財	旧山田家住宅	1棟	H9. 2. 10	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物

18	無形民俗文化財	沖縄民俗芸能		S51. 10. 19	川崎区大島	川崎沖縄芸能研究会	無形民俗
19	無形民俗文化財	小向の獅子舞		H13. 2. 13	幸区小向（八幡大神）	小向獅子舞保存委員会	無形民俗
20	無形民俗文化財	菅の獅子舞		H13. 2. 13	多摩区菅（薬師堂）	菅獅子舞保存会	無形民俗
21	無形民俗文化財	初山の獅子舞		H13. 2. 13	宮前区菅生（菅生神社）	初山獅子舞保存会	無形民俗
22	史跡	子母口貝塚	898㎡	S32. 2. 19	高津区子母口54-148	川崎市	史跡
23	史跡	東高根遺跡	12,965㎡	S46. 12. 21	宮前区神木本町2丁目	川崎市	史跡
24	史跡	馬絹古墳	1基	S46. 12. 21	宮前区馬絹5-994-8	川崎市	史跡
25	史跡	西福寺古墳	1基	S55. 9. 16	高津区梶ヶ谷3-17	川崎市	史跡
26	天然記念物	東高根のシラカシ林	28,748㎡	S46. 12. 21	宮前区神木本町2丁目	神奈川県	天然記念物
27	天然記念物	春日神社、常楽寺及びその周辺の樹叢	7,148.45㎡	H4. 2. 14	中原区宮内字白田耕地614-1他	常楽寺・春日神社他	天然記念物

市指定文化財115件（建造物19、絵画32、彫刻19、工芸1、書跡2、典籍1、古文書11、考古資料16、史跡1
無形民俗文化財3、民俗資料9、天然記念物1）

	種別	件名	員数	指定年月日	所在地	所有者	備考
1	歴史記念物	絹本着色秀月禅尼画像	1幅	S36. 9. 18	多摩区登戸1416	長念寺	絵画
2	歴史記念物	板碑	1基	S39. 10. 20	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	考古資料
3	歴史記念物	泉澤寺文書	一括13点	S39. 10. 20	中原区上小田中7-20-5	泉澤寺	古文書
4	歴史記念物	絹本着色愛染明王像	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
5	歴史記念物	紙本着色菅公像	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
6	歴史記念物	絹本着色弘法大師像	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
7	歴史記念物	絹本着色聖童子会図	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
8	歴史記念物	絹本着色仙遊図	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
9	歴史記念物	絹本着色日輪大師像	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
10	歴史記念物	絹本着色毘沙門天像	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
11	歴史記念物	絹本着色不動明王像	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
12	歴史記念物	絹本着色文殊菩薩像	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
13	歴史記念物	絹本墨画梵字両界曼荼羅図	1幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
14	歴史記念物	紙本着色両界曼荼羅図	2幅	S40. 11. 2	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
15	歴史記念物	紙本墨書愛蓮説	1幅	S41. 11. 15	川崎区大師町4-48	平間寺	書跡
16	歴史記念物	木造聖観世音菩薩立像	1軀	S41. 11. 15	高津区千年354	能満寺	彫刻
17	歴史記念物	木造釈迦如来坐像	1軀	S43. 2. 10	中原区宮内4-12-14	常楽寺	彫刻
18	歴史記念物	木造聖観世音菩薩立像	1軀	S43. 2. 10	中原区宮内4-12-14	常楽寺	彫刻
19	歴史記念物	木造十二神将立像	12軀	S43. 2. 10	宮前区野川本町3-4-4	影向寺	彫刻
20	歴史記念物	木造聖徳太子立像	1軀	S43. 2. 10	宮前区野川本町3-4-4	影向寺	彫刻
21	歴史記念物	木造二天立像	2軀	S43. 2. 10	宮前区野川本町3-4-4	影向寺	彫刻
22	歴史記念物	木造薬師如来両脇侍像	3軀	S43. 2. 10	多摩区長尾3-9-3	妙楽寺	彫刻
23	歴史記念物	青銅製罎口	1口	S48. 3. 14	中原区等々力1-2（市民ミュージアム）	川崎市	工芸
24	歴史記念物	木造国一禅師坐像 附 胎内納入銘札2枚	1軀	S49. 2. 19	多摩区菅仙谷1-14-1	寿福寺	彫刻
25	歴史記念物	木造十二神将立像 附 胎内納入銘札101枚	12軀	S49. 2. 19	中原区宮内4-12-14	常楽寺	彫刻
26	歴史記念物	木造兜跋毘沙門天立像	1軀	S49. 2. 19	麻生区岡上217	東光院	彫刻
27	歴史記念物	後北条氏の虎の印判状	1通	S50. 12. 26	中原区上丸子山王町1-1455	日枝神社	古文書
28	歴史記念物	後北条氏の虎の印判状	1通	S50. 12. 26	中原区上丸子山王町1-1455	日枝神社	古文書

29	歴史記念物	後北条氏の虎の印判状	1通	S50. 12. 26	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	古文書
30	歴史記念物	後北条氏の虎の印判状	1通	S50. 12. 26	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	古文書
31	歴史記念物	後北条氏の虎の印判状	1通	S50. 12. 26	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	古文書
32	歴史記念物	徳川氏奉行人連署奉書	1通	S57. 9. 28	中原区上丸子山王町1-1455	日枝神社	古文書
33	歴史記念物	絹本着色地藏菩薩・二童子図	1幅	S59. 10. 30	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
34	歴史記念物	絹本着色地藏菩薩図	1幅	S59. 10. 30	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
35	歴史記念物	絹本着色仏涅槃図	1幅	S59. 10. 30	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
36	歴史記念物	絹本着色両界曼荼羅図	2幅	S59. 10. 30	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
37	歴史記念物	絹本墨画文殊大士像	1幅	S59. 10. 30	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
38	歴史記念物	紙本一部金箔地着色柳・白鷺 図屏風	六曲一双	S59. 10. 30	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
39	歴史記念物	紙本金地着色秋草図屏風	二曲一雙	S59. 10. 30	川崎区大師町4-48	平間寺	絵画
40	歴史記念物	絹本墨画着色盤珪永琢画像	1幅	S60. 12. 24	高津区新作3-27-1	薬師院	絵画
41	歴史記念物	紙本着色四十七士像	1幅	S60. 12. 24	幸区下平間183	称名寺	絵画
42	歴史記念物	紙本着色仏涅槃図	1幅	S60. 12. 24	多摩区菅馬場2-20-1	玉林寺	絵画
43	歴史記念物	紙本墨画着色松寿弁才天図	1幅	S60. 12. 24	多摩区宿河原3-11-3	常照寺	絵画
44	歴史記念物	石造小林正利坐像	1軀	S60. 12. 24	中原区下小田中5-3-15	全龍寺	彫刻
45	歴史記念物	板面着色絵馬泉福寺境内相撲図	1面	S60. 12. 24	宮前区馬絹2-9-1	泉福寺	絵画
46	歴史記念物	板面着色絵馬泉福寺薬師会図	1面	S60. 12. 24	宮前区馬絹2-9-1	泉福寺	絵画
47	歴史記念物	木造阿弥陀如来坐像	1軀	S60. 12. 24	麻生区高石2-6-1	法雲寺	彫刻
48	歴史記念物	木造阿弥陀如来立像	1軀	S60. 12. 24	多摩区登戸1416	長念寺	彫刻
49	歴史記念物	木造釈迦如来坐像	1軀	S60. 12. 24	中原区上丸子八幡町2522	大楽院	彫刻
50	歴史記念物	木造不動明王及び二童子像	3軀	S60. 12. 24	多摩区登戸1253	光明院	彫刻
51	歴史記念物	木造増田孝清坐像 附 胎内納入銘札1枚	1軀	S60. 12. 24	高津区千年354	能満寺	彫刻
52	歴史記念物	木造薬師如来坐像	1軀	S60. 12. 24	宮前区神木本町1-8-1	等覚院	彫刻
53	歴史記念物	絹本着色聖徳太子像	1幅	S61. 8. 28	高津区二子1-10-10	光明寺	絵画
54	歴史記念物	絹本着色浄土七高祖連座像	1幅	S61. 8. 28	高津区二子1-10-10	光明寺	絵画
55	歴史記念物	絹本着色親鸞聖人像	1幅	S61. 8. 28	高津区二子1-10-10	光明寺	絵画
56	歴史記念物	銅造阿弥陀如来立像	1軀	S61. 8. 28	中原区上小田中7-20-5	泉澤寺	彫刻
57	歴史記念物	木造四天立像	4軀	S61. 8. 28	中原区上小田中7-20-5	泉澤寺	彫刻
58	歴史記念物	豊臣秀吉の禁制	1通	S63. 2. 19	麻生区	個人	古文書
59	歴史記念物	板碑	1基	S63. 11. 29	高津区久末375	妙法寺	考古資料
60	歴史記念物	弘法大師道標	1基	S63. 11. 29	川崎区大師町4-48	平間寺	建造物
61	歴史記念物	手洗石	1基	S63. 11. 29	川崎区宮本町7-7	稲毛神社	建造物
62	歴史記念物	長弘寺本堂 附 木銘札 1枚 本堂向拝中備龍彫刻 1具	1棟	H2. 1. 23	幸区南加瀬3-24-16	長弘寺	建造物
63	歴史記念物	長念寺庫裏	1棟	H2. 1. 23	多摩区登戸1416	長念寺	建造物
64	歴史記念物	長念寺山門 附 棟札1枚	1棟	H2. 1. 23	多摩区登戸1416	長念寺	建造物
65	歴史記念物	長念寺本堂 附 棟札 1枚 木銘札 1枚	1棟	H2. 1. 23	多摩区登戸1416	長念寺	建造物
66	歴史記念物	日枝神社本殿 附 棟札1枚 山王社境内絵図1枚	1棟	H2. 1. 23	中原区上丸子山王町1-1455	日枝神社	建造物
67	歴史記念物	沖永良部の高倉	1棟	H7. 1. 24	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
68	歴史記念物	蚕影山祠堂 附 棟札 1枚 手洗石 1基	1棟	H7. 1. 24	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物

69	歴史記念物	水車小屋	1棟	H7. 1. 24	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
70	歴史記念物	菅の船頭小屋 附 道標 2基	1棟	H7. 1. 24	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
71	歴史記念物	棟持柱の木小屋	1棟	H7. 1. 24	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
72	歴史記念物	紙本墨画淡彩仙女図	2幅	H7. 1. 24	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	絵画
73	歴史記念物	紙本着色閻魔府之図	1幅	H8. 1. 25	幸区塚越2-118	東明寺	絵画
74	歴史記念物	紙本着色五趣生死輪図	1幅	H8. 1. 25	多摩区長尾3-9-3	妙楽寺	絵画
75	歴史記念物	紙本着色地藏菩薩及び十王図	11幅1組	H8. 1. 25	川崎区大師本町10-22	明長寺	絵画
76	歴史記念物	泉澤寺本堂 附 造営文書 2点	1棟	H8. 1. 25	中原区上小田中7-20-5	泉澤寺	建造物
77	歴史記念物	子之神社本殿	1棟	H8. 1. 25	多摩区菅北浦5-4-1	子之神社	建造物
78	歴史記念物	白山神社本殿	1棟	H8. 1. 25	麻生区白山4-3-1	白山神社	建造物
79	歴史記念物	有馬古墓群後谷戸グループ 古墓出土火葬骨蔵器 附 坏 19箇	3組3箇	H9. 4. 22	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	考古資料
80	歴史記念物	有馬古墓群台坂上グループ 古墓出土火葬骨蔵器 附 簪状骨製品 1本	3組7箇	H9. 4. 22	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	考古資料
81	歴史記念物	生田古墓群生田8601番地古 墓出土火葬骨蔵器 附 鹿角製刀子柄 1本	2組4箇	H9. 4. 22	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	考古資料
82	歴史記念物	生田古墓群鴛鴦沼古墓出土 火葬骨蔵器 附 鉄板状製品 1枚	1組2箇	H9. 4. 22	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	考古資料
83	歴史記念物	菅生古墓群長沢1822番地古 墓出土火葬骨蔵器	2組4箇	H9. 4. 22	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	考古資料
84	歴史記念物	野川古墓群野川南耕地A地 点古墓出土火葬骨蔵器 附 鉄板状製品 1枚 鉄釘 13本	1組2箇	H9. 4. 22	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	考古資料
85	歴史記念物	稗原古墓群A地点古墓出土 火葬骨蔵器 附 和銅開寶 1枚	1組2箇	H9. 4. 22	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	考古資料
86	歴史記念物	旧佐地家門・供待・塀	1棟	H9. 4. 22	多摩区枳形7-1-1 (日本民家園)	川崎市	建造物
87	歴史記念物	細山坂東谷古墓出土火葬骨 蔵器 附 鉄板状製品 1枚 簪状骨製品 2本	4組9箇	H9. 4. 22	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	考古資料
88	歴史記念物	平川家文書	一括	H10. 2. 24	川崎区	個人	古文書
89	歴史記念物	旧原家住宅…① 附 棟札 1枚…② 居宅新築諸職人控・居宅 上棟式諸事控 1冊…③	1棟	H13. 1. 23	①②多摩区枳形7-1-1 (日本民家園) ③中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	建造物
90	歴史記念物	古筆手鑑「披香殿」	1帖	H14. 3. 19	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	書跡
91	歴史記念物	无射志国荏原評銘文字瓦	1点	H15. 4. 22	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	考古資料
92	歴史記念物	寿福寺大般若経	600巻	H16. 12. 14	多摩区菅仙谷1-14-1	寿福寺	典籍
93	歴史記念物	万福寺遺跡縄文時代草創 期出土品	一括	H20. 4. 22	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	考古資料
94	歴史記念物	関東下知状 附 極札 1枚	1通	H21. 4. 28	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	古文書
95	歴史記念物	宿河原縄文時代低地遺跡出 土品	一括	H21. 4. 28	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	考古資料
96	歴史記念物	下原遺縄文時代後・晩期出 土品	一括	H22. 4. 27	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	考古資料
97	歴史記念物	梶ヶ谷神明社上遺跡出土品	一括	H23. 6. 14	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	考古資料

98	歴史記念物	安藤家長屋門	1棟	H24. 11. 27	中原区	個人	建造物
99	歴史記念物	鷲ヶ峰遺跡旧石器時代出土品	一括	H28. 6. 23	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	考古資料
100	歴史記念物	深瀬家長屋門	1棟	H29. 6. 30	幸区	個人	建造物
101	歴史記念物	北条家虎朱印状	2通	H30. 4. 24	麻生区	個人	古文書
102	習俗技芸	囃子曲持		S53. 7. 7	中原区新城町4-14 (新城神社)	新城郷土芸能囃子曲持保存会	無形民俗
103	習俗技芸	禰宜舞		S59. 10. 30	宮前区平4-6-1 (白幡八幡大神)	禰宜舞保存会	無形民俗
104	習俗技芸	川崎大師引声念仏・双盤念仏		H31. 2. 8	川崎区大師町4-48 (平間寺)	川崎大師双盤講	無形民俗
105	郷土資料	獅子頭 附 仲立面 1面	3頭	S36. 9. 18	宮前区初山	初山獅子舞保存会	有形民俗
106	郷土資料	獅子頭	3頭	S48. 3. 14	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	有形民俗
107	郷土資料	南河原雨乞獅子頭 附 附属用具一式	3頭	S58. 12. 21	幸区都町4-2	延命寺	有形民俗
108	郷土資料	庚申塔	1基	S63. 11. 29	多摩区長沢1-29-6	盛源寺	有形民俗
109	郷土資料	庚申塔 附 石造鉢形香炉 1基	1基	S63. 11. 29	川崎区堀之内11-7	真福寺	有形民俗
110	郷土資料	庚申塔 (石燈籠)	1基	S63. 11. 29	幸区小倉2-7-1	無量院	有形民俗
111	郷土資料	六字名号塔	1基	S63. 11. 29	川崎区大師町4-48	平間寺	有形民俗
112	郷土資料	大師河原の漁撈具	一括	H11. 2. 23	中原区等々力1-2 (市民ミュージアム)	川崎市	有形民俗
113	郷土資料	遊山慕仙詩碑	1基	R1. 7. 23	川崎区大師町4-48	平間寺	有形民俗
114	史跡	春日神社・薬師堂・常楽寺 境内及びその周辺	7, 14 8. 45 m ²	S44. 12. 4	中原区宮内614-1他	常楽寺・春日神社他	史跡
115	天然記念物	パラステゴドン象歯化石	1点	S48. 3. 14	多摩区枳形7-1-2 (青少年科学館)	川崎市	天然記念物

国登録文化財 7件 (登録有形文化財5、登録記念物2)

	種別	件名	員数	登録年月日	所在地	所有者	備考
1	登録有形文化財	二ヶ領用水久地円筒分水	1件	H10. 6. 9	高津区久地341	川崎市	建造物
2	登録有形文化財	川崎河港水門	1件	H10. 9. 25	川崎区港町66地先	川崎市	建造物
3	登録有形文化財	昭和電工川崎事業所本事務所	1件	H11. 9. 7	川崎区扇町5-1	昭和電工(株)川崎事業所	建造物
4	登録有形文化財	旧原家住宅稲荷社	1件	R1. 12. 5	中原区小杉陣屋町1-561-11他	個人	建造物
5	登録有形文化財	旧原家住宅表門	1件	R1. 12. 5	中原区小杉陣屋町1-561-7	個人	建造物
6	登録記念物	禅寺丸柿	7本	H19. 7. 26	麻生区王禅寺940他	王禅寺・個人	動植物・鉱物関係
7	登録記念物	二ヶ領用水	76, 3 86. 4 3m ²	R2. 3. 10	中原区木月住吉町1956番1外91筆等	川崎市	遺跡関係

県選択無形民俗文化財 1件

	種別	件名	員数	選択年月日	所在地	保存団体	備考
1	選択無形民俗文化財	川崎山王祭りの宮座式		H3. 2. 8	川崎区宮本町 (稲毛神社)	稲毛神社氏子総代会	

5. 地域文化財一覧

(令和3年4月1日現在)

地域文化財 159件 (有形文化財80件、無形文化財1件、無形民俗文化財25件、有形民俗文化財44件、記念物9件)

	名 称	種 別	所在地／主な活動場所	決定年度
1	神地神明神社社殿	有形文化財 (建造物)	中原区上小田中	平成30年度
2	伝・八百八橋の橋板	有形文化財 (建造物)	中原区上小田中	平成30年度
3	神地神明神社鳥居	有形文化財 (建造物)	中原区上小田中	令和元年度
4	泉澤寺鐘楼	有形文化財 (建造物)	中原区上小田中	令和元年度
5	大戸神社社殿	有形文化財 (建造物)	中原区下小田中	平成30年度
6	ピンスケ大戸稲荷社	有形文化財 (建造物)	中原区下小田中	平成30年度
7	氷川神社祠	有形文化財 (建造物)	高津区宇奈根	令和元年度
8	神明神社祠	有形文化財 (建造物)	高津区下作延	令和元年度
9	溝口神社水屋 (手水舎)	有形文化財 (建造物)	高津区溝口	令和元年度
10	溝口神社水神宮	有形文化財 (建造物)	高津区溝口	令和元年度
11	橋樹神社社殿	有形文化財 (建造物)	高津区子母口	平成30年度
12	新作八幡宮石柱	有形文化財 (建造物)	高津区新作	平成30年度
13	新作八幡宮拝殿	有形文化財 (建造物)	高津区新作	令和元年度
14	千年神社社務所	有形文化財 (建造物)	高津区千年	令和元年度
15	能満寺本堂	有形文化財 (建造物)	高津区千年	令和2年度
16	下作延神明神社幟支柱	有形文化財 (建造物)	高津区下作延	令和2年度
17	堰稲荷神社社殿	有形文化財 (建造物)	多摩区堰	平成30年度
18	堰稲荷神社稲荷社祠	有形文化財 (建造物)	多摩区堰	令和元年度
19	堰稲荷神社神明社祠	有形文化財 (建造物)	多摩区堰	令和元年度
20	堰稲荷神社鳥居	有形文化財 (建造物)	多摩区堰	令和元年度
21	中野島稲荷神社祠 (文化6年銘)	有形文化財 (建造物)	多摩区中野島	平成30年度
22	中野島稲荷神社祠 (嘉永6年銘)	有形文化財 (建造物)	多摩区中野島	平成30年度
23	中野島稲荷神社幟支柱	有形文化財 (建造物)	多摩区中野島	平成30年度
24	中野島稲荷神社社殿	有形文化財 (建造物)	多摩区中野島	令和元年度
25	長尾神社石祠	有形文化財 (建造物)	多摩区長尾	令和2年度
26	旧小泉橋の桁と親柱	有形文化財 (建造物)	多摩区登戸	令和2年度
27	絹本着色釈迦三尊十六善神像	有形文化財 (絵画)	川崎区大師本町	平成30年度
28	紙本着色地獄絵図 附 紙本着色九相図	有形文化財 (絵画)	中原区下小田中	平成30年度
29	絹本着色仏涅槃図	有形文化財 (絵画)	中原区下小田中	平成30年度
30	木造地藏菩薩坐像	有形文化財 (彫刻)	幸区神明町	平成30年度
31	銅造千手観音坐像懸仏	有形文化財 (彫刻)	幸区神明町	平成30年度
32	木造蛙彫刻	有形文化財 (彫刻)	多摩区登戸	平成30年度
33	金神社社木造大黒天像	有形文化財 (彫刻)	麻生区白鳥	令和元年度
34	堰稲荷神社半鐘	有形文化財 (工芸品)	多摩区堰	令和元年度
35	堰稲荷神社鬼瓦	有形文化財 (工芸品)	多摩区堰	令和2年度
36	安楽寺文書	有形文化財 (古文書)	中原区下小田中	令和元年度
37	原家文書	有形文化財 (古文書)	中原区等々力	平成30年度
38	内藤家文書	有形文化財 (古文書)	中原区下小田中	令和2年度
39	上田文書	有形文化財 (古文書)	高津区溝口	平成30年度
40	中野島稲荷神社御嶽山代参日待連名簿	有形文化財 (古文書)	多摩区中野島	令和2年度
41	菅村絵図	有形文化財 (古文書)	多摩区菅	令和2年度
42	志村家文書	有形文化財 (古文書)	麻生区王禅寺東	平成30年度

43	宮野家文書	有形文化財（古文書）	麻生区岡上	令和元年度
44	梶家文書	有形文化財（古文書）	麻生区岡上	令和元年度
45	鳥海家文書	有形文化財（古文書）	麻生区岡上	令和元年度
46	芭蕉「麦の穂を」の句碑	有形文化財（歴史資料）	川崎区日進町	令和元年度
47	みのくち式ポンプ	有形文化財（歴史資料）	川崎区塩浜	平成30年度
48	記念碑「樋誌」	有形文化財（歴史資料）	幸区塚越	令和元年度
49	陸軍第101連隊（通称東部62部隊）関係名簿	有形文化財（歴史資料）	幸区小倉	令和元年度
50	海軍東京通信隊蟹ヶ谷分遣隊境界標柱	有形文化財（歴史資料）	中原区木月大町	令和元年度
51	陸軍軍用地境界標	有形文化財（歴史資料）	中原区木月住吉町	平成30年度
52	石碑「平和の礎」	有形文化財（歴史資料）	中原区下小田中	平成30年度
53	大戸神社石造11社合祀記念碑	有形文化財（歴史資料）	中原区下小田中	令和元年度
54	津田山碑	有形文化財（歴史資料）	高津区下作延	令和元年度
55	津田興二氏頌徳碑	有形文化財（歴史資料）	高津区下作延	令和元年度
56	陸軍軍用地境界標	有形文化財（歴史資料）	高津区向ヶ丘	令和元年度
57	杉山神社追悼碑	有形文化財（歴史資料）	高津区末長	令和元年度
58	千年神社棟札	有形文化財（歴史資料）	高津区千年	令和元年度
59	下作延神明神社大震災記念額	有形文化財（歴史資料）	高津区下作延	令和2年度
60	杉山神社紀元二千六百年記念樹碑	有形文化財（歴史資料）	高津区末長	令和2年度
61	千年神社征清従軍記念碑	有形文化財（歴史資料）	高津区千年	令和2年度
62	杉山神社向拝敷石土留碑	有形文化財（歴史資料）	高津区末長	令和2年度
63	芭蕉「春の夜は」の句碑	有形文化財（歴史資料）	宮前区野川本町	令和元年度
64	お化け灯籠	有形文化財（歴史資料）	宮前区宮崎	平成30年度
65	堰稻荷神社鑿井記念碑	有形文化財（歴史資料）	多摩区堰	令和元年度
66	堰稻荷神社架橋記念碑	有形文化財（歴史資料）	多摩区堰	令和元年度
67	中野島稲荷神社棟札	有形文化財（歴史資料）	多摩区中野島	令和元年度
68	算額	有形文化財（歴史資料）	多摩区栗谷	平成30年度
69	畑権助辞世碑	有形文化財（歴史資料）	多摩区枅形	令和2年度
70	旧生田出張所明治三十七八年戦役記念碑	有形文化財（歴史資料）	多摩区生田	令和2年度
71	旧生田出張所日露戦役陣亡軍人忠魂碑	有形文化財（歴史資料）	多摩区生田	令和2年度
72	旧生田出張所慰霊碑	有形文化財（歴史資料）	多摩区生田	令和2年度
73	中野島稲荷神社明治廿七八年戦役記念碑	有形文化財（歴史資料）	多摩区中野島	令和2年度
74	中野島稲荷神社二榎樹奉納碑	有形文化財（歴史資料）	多摩区中野島	令和2年度
75	中野島稲荷神社献魂碑	有形文化財（歴史資料）	多摩区中野島	令和2年度
76	堰稻荷神社日露戦役記念碑	有形文化財（歴史資料）	多摩区堰	令和2年度
77	生田緑地D5 1形蒸気機関車	有形文化財（歴史資料）	多摩区枅形	令和2年度
78	捨馬禁止の高札	有形文化財（歴史資料）	麻生区上麻生	令和元年度
79	徒党禁止の高札	有形文化財（歴史資料）	麻生区上麻生	令和元年度
80	大戸神社板碑断片	有形文化財（考古資料）	中原区下小田中	令和元年度
81	ひとみ座乙女文楽	無形文化財	中原区井田	平成30年度
82	下小田中菊花会	無形民俗文化財	中原区下小田中	平成30年度
83	中丸子神明大神のおびしゃ	無形民俗文化財	中原区中丸子	平成30年度
84	登戸敬神講	無形民俗文化財	多摩区登戸	平成30年度
85	中島八幡神社囃子	無形民俗文化財	川崎区中島	平成30年度
86	川崎稲毛神社山王囃子	無形民俗文化財	川崎区宮本町	平成30年度
87	若宮八幡宮神楽	無形民俗文化財	川崎区大師駅前	平成30年度

88	大師古民謡	無形民俗文化財	川崎区大師駅前	平成30年度
89	若宮八幡宮囃子	無形民俗文化財	川崎区大師駅前	平成30年度
90	川中島囃子	無形民俗文化財	川崎区川中島	平成30年度
91	川崎古式消防	無形民俗文化財	川崎区／全区	平成30年度
92	戸手中部囃子	無形民俗文化財	幸区紺屋町	平成30年度
93	神地祭囃子	無形民俗文化財	中原区上小田中	平成30年度
94	大戸神社祭囃子	無形民俗文化財	中原区下小田中	平成30年度
95	宮内祭囃子	無形民俗文化財	中原区宮内	平成30年度
96	宇奈根地区の稲荷講	無形民俗文化財	高津区宇奈根	令和元年度
97	下作囃子連	無形民俗文化財	高津区下作延	令和元年度
98	諏訪神社祭囃子	無形民俗文化財	高津区諏訪	平成30年度
99	土橋万作踊り	無形民俗文化財	宮前区土橋	平成30年度
100	有馬大正踊り八木節	無形民俗文化財	宮前区東有馬	平成30年度
101	白幡八幡大神平囃子	無形民俗文化財	宮前区平	平成30年度
102	五反田節	無形民俗文化財	多摩区生田	平成30年度
103	宿河原囃子	無形民俗文化財	多摩区宿河原	平成30年度
104	菅祝唄	無形民俗文化財	多摩区菅稲田堤	平成30年度
105	登戸古民謡	無形民俗文化財	多摩区登戸	平成30年度
106	登戸台和地区の歳之神	無形民俗文化財	多摩区登戸	令和元年度
107	藤崎の石造願掛地藏尊像	有形民俗文化財	川崎区中島	令和元年度
108	石造本田地蔵尊像	有形民俗文化財	幸区紺屋町	令和元年度
109	秩父順禮供養塔（道標）	有形民俗文化財	幸区神明町	平成30年度
110	御嶽神社道標	有形民俗文化財	幸区塚越	令和元年度
111	古川神明神社庚申塔	有形民俗文化財	幸区古川町	令和元年度
112	大戸神社狛犬	有形民俗文化財	中原区下小田中	平成30年度
113	大戸神社宮殿入木造僧形立像	有形民俗文化財	中原区下小田中	令和元年度
114	大戸神社石造八臂弁財天像塔	有形民俗文化財	中原区下小田中	令和元年度
115	大戸神社庚申塔	有形民俗文化財	中原区下小田中	令和元年度
116	大戸神社石造堅牢地神像塔	有形民俗文化財	中原区下小田中	令和元年度
117	大戸神社石造八臂馬頭観音像塔	有形民俗文化財	中原区下小田中	令和元年度
118	大戸神社扁額	有形民俗文化財	中原区下小田中	令和元年度
119	大戸神社石造天満宮塔	有形民俗文化財	中原区下小田中	令和元年度
120	柳原の地藏尊像群	有形民俗文化財	中原区下小田中	令和2年度
121	氷川神社扁額	有形民俗文化財	高津区宇奈根	令和元年度
122	下作延神明神社手水鉢	有形民俗文化財	高津区下作延	平成30年度
123	神明神社幟（奉納五良大権現）	有形民俗文化財	高津区下作延	令和元年度
124	神明神社幟（奉獻神明宮）	有形民俗文化財	高津区下作延	令和元年度
125	新作八幡宮手水鉢	有形民俗文化財	高津区新作	令和元年度
126	末長杉山神社扁額（杉山大明神）	有形民俗文化財	高津区末長	平成30年度
127	末長杉山神社扁額（神明宮）	有形民俗文化財	高津区末長	平成30年度
128	末長杉山神社手水鉢	有形民俗文化財	高津区末長	平成30年度
129	末長杉山神社力石	有形民俗文化財	高津区末長	平成30年度
130	千年神社手水鉢	有形民俗文化財	高津区千年	令和元年度
131	杉山神社伊勢太々講記念奉納碑	有形民俗文化財	高津区末長	令和2年度
132	杉山神社伊勢太々奉奏記念碑	有形民俗文化財	高津区末長	令和2年度
133	千年神社石坂供養碑	有形民俗文化財	高津区千年	令和2年度

134	影向寺手水石	有形民俗文化財	宮前区野川本町	令和元年度
135	影向寺力石	有形民俗文化財	宮前区野川本町	令和元年度
136	等覚院手洗鉢	有形民俗文化財	宮前区神木本町	平成30年度
137	「神功皇后と武内宿禰」の家型大絵馬	有形民俗文化財	宮前区菅生	平成30年度
138	中野島稲荷神社手水鉢	有形民俗文化財	多摩区中野島	平成30年度
139	中野島稲荷神社扁額（明和9年銘）	有形民俗文化財	多摩区中野島	平成30年度
140	中野島稲荷神社扁額（安政5年銘）	有形民俗文化財	多摩区中野島	平成30年度
141	中野島稲荷神社厨子	有形民俗文化財	多摩区中野島	令和元年度
142	中野島稲荷神社木造白狐像	有形民俗文化財	多摩区中野島	令和元年度
143	蚕影山祠堂関係資料	有形民俗文化財	多摩区枋形	平成30年度
144	堰稲荷神社扁額	有形民俗文化財	多摩区堰	令和2年度
145	榎戸の庚申塔	有形民俗文化財	多摩区登戸	令和2年度
146	琴平神社手水舎	有形民俗文化財	麻生区王禅寺	令和元年度
147	琴平神社本殿泊犬	有形民俗文化財	麻生区王禅寺	令和元年度
148	鳥海家大工道具	有形民俗文化財	麻生区岡上	令和元年度
149	香林寺最勝散版木	有形民俗文化財	麻生区細山	令和元年度
150	向原の石造弁財天像	有形民俗文化財	麻生区向原	平成30年度
151	塚越古墳	記念物(遺跡関係)	幸区塚越	令和元年度
152	旧平瀬川の流路跡と中原堰の遺構	記念物(遺跡関係)	高津区溝口～二子	令和元年度
153	海軍東京通信隊蟹ヶ谷分遣隊地下壕	記念物(遺跡関係)	高津区久末	令和元年度
154	旧陸軍登戸研究所の遺構群	記念物(遺跡関係)	多摩区東三田	平成30年度
155	長十郎梨	記念物(動植物関係)	川崎区川中島	令和元年度
156	伝十郎桃	記念物(動植物関係)	川崎区藤崎	平成30年度
157	溝口神社長寿けやき	記念物(動植物関係)	高津区溝口	令和元年度
158	影向寺乳イチョウ	記念物(動植物関係)	宮前区野川本町	令和2年度
159	五反田川の甌穴群	記念物(地質鉱物関係)	多摩区生田	令和元年度

6. 施設一覧

施設名	所在地・TEL	設立年月	敷地	延床面積	構造	主な施設
教育文化会館	川崎区富士見 2-1-3 233-6361	昭和42年3月	3,721 m ²	14,852.29 m ²	鉄骨 鉄筋	会議室9、学習室6、情報学習室、教養室4、イベントホール
プラザ大師 教育文化会館大師分館 川崎図書館大師分館	川崎区大師駅前 1-1-5 266-3550	平成7年11月	— (区分所有)	1,032.45 m ²	鉄骨 鉄筋	学習室、実習室、和室、談話室、児童室、図書館分館
プラザ田島 教育文化会館田島分館 川崎図書館田島分館	川崎区追分町 16-1 333-9120	平成4年10月	— (区分所有)	890.07 m ²	鉄骨 鉄筋	集会兼学習室、実習室、和室、児童室、談話室、図書館分館
幸文化センター 幸市民館 幸図書館	幸区戸手本町 1-11-2 541-3910	昭和55年7月	7,556.54 m ²	6,086.30 m ²	鉄骨 鉄筋	ホール(定席840)、会議室5、教養室5、児童室、ギャラリー、閲覧室、対面朗読室他
幸市民館 日吉分館	幸区南加瀬 1-7-17 587-1491	平成15年7月	2,230 m ² (日吉合同庁舎)	1,419.98 m ²	鉄筋	学習室、実習室、和室、児童室、談話室
中原市民館	中原区新丸子 東3-1100-12 433-7773	昭和49年6月 平成21年4月 改築移転	— (区分所有)	3,481.60 m ²	鉄骨 鉄筋	ホール(通常375)、会議室6、教養室7、ギャラリー、談話室、他
高津市民館	高津区溝口 1-4-1 814-7603	昭和49年7月 平成9年9月 改築移転	— (区分所有)	8,373.38 m ²	鉄筋	ホール(通常600)、会議室6、教養室7、児童室、大会議室、ギャラリー、他
プラザ橘 高津市民館橘分館 高津図書館橘分館	高津区久末 2012-1 788-1531	平成5年10月	1,473.78 m ²	1,228.92 m ²	鉄筋	学習室、実習室、和室、児童室、市民活動支援ルーム、談話室、ギャラリーコーナー、図書館分館
宮前文化センター 宮前市民館 宮前図書館	宮前区宮前平 2-20-4 888-3911	昭和60年7月	4,049.48 m ²	8,894.44 m ² (車庫含む)	鉄筋	ホール(定席910)、会議室5、教養室5、ギャラリー、閲覧室、対面朗読室、郷土資料室、自動車文庫
宮前市民館 菅生分館	宮前区菅生 5-4-11 977-4781	昭和62年4月	833.7 m ²	413.05 m ²	鉄骨	集会室、学習室、和室、児童室、談話室
多摩市民館	多摩区登戸 1775-1 935-3333	昭和47年9月 平成9年1月 改築	6,167.47 m ² (区総合庁舎)	6,438.00 m ² (専有床面積分)	鉄骨 鉄筋	ホール(定席908)、大会議室、会議室6、教養室6、児童室、体育室、ギャラリー他
麻生文化センター 麻生市民館 麻生図書館	麻生区万福寺 1-5-2 951-1300	昭和60年7月	8,592.93 m ²	6,984.72 m ²	鉄骨 鉄筋	ホール(定席1,010)、会議室5、教養室5、児童室、ギャラリー、閲覧室、対面朗読室、郷土資料室他
麻生市民館 岡上分館	麻生区岡上 286-1 988-0268	昭和53年3月	1,218.41 m ²	800.19 m ²	鉄筋	集会室、和室、学習室、体育室、図書室、児童室他
川崎図書館	川崎区駅前本町 12-1 200-7011	平成7年4月	— (区分所有)	1,193.12 m ² (付室含む)	鉄骨 鉄筋	一般・児童図書室、郷土資料コーナー、雑誌コーナー、対面朗読・お話室他
幸図書館 日吉分館	幸区南加瀬 1-7-17 587-1491	平成15年7月	2,230 m ² (日吉合同庁舎)	245.45 m ²	鉄筋	一般・児童図書室他
中原図書館	中原区小杉町 3-1301 722-4932	昭和35年4月 平成25年4月 供用開始 (改築移転)	7,522.83 m ² (西街区ビル)	4,198.65 m ²	鉄骨 鉄筋	一般・児童図書コーナー、おはなしのへや、市民情報コーナー、予約本受取コーナー、多目的室、視覚障がい者サポート室他

施設名	所在地・Tel	設立年月	敷地	延床面積	構造	主な施設	
高津図書館	高津区溝口 4-16-3 822-2413	昭和40年9月 昭和63年3月 改築	2,652.53㎡	2,196.35㎡	鉄骨 鉄筋	一般・児童図書室、閲覧室、郷土資料室、対面朗読室他	
多摩図書館	多摩区登戸 1775-1 935-3400	昭和38年10月 平成9年1月 改築	6,167.47㎡ (区総合庁舎)	1,725.20㎡ (専有床面積分)	鉄骨 鉄筋	一般・児童図書室、閲覧室、郷土資料コーナー、対面朗読室、お話の部屋他	
麻生図書館 柿生分館	麻生区片平 3-3-1 986-6470	平成15年6月	11,605.52㎡ (柿生小学校)	211.83㎡	鉄筋	一般・児童図書室	
市民 ミュージアム	中原区等々力 1-2 754-4500	昭和63年11月	25,358㎡	19,542㎡	鉄骨 鉄筋	企画展示室1・2、博物館展示室(考古・歴史・民俗) アートギャラリー1・2・3、ミュージアムギャラリー1・2、映像ホール、ミュージアムライブラリー、研修室他	
日本民家園	多摩区枳形 7-1-1 922-2181	昭和42年4月	32,387㎡	本館 768㎡	鉄筋	展示建造物25件(国指定重要文化財7件、国指定重要有形民俗文化財1件、県指定重要文化財10件、市重要歴史記念物7件)、本館、伝統工芸館他	
				展示建物 4,212㎡			木造
				伝統工芸館 203㎡			
青少年科学館 (かわさき宙と緑の科学館)	多摩区枳形 7-1-2 922-4731	昭和46年8月 平成24年4月 改築	3,854.40㎡	3,116.65㎡	鉄骨 鉄筋	自然学習棟：展示室、プラネタリウム、学習室等 研究管理棟：事務室、標本製作室、調査研究室等	
岡本太郎美術館	多摩区枳形 7-1-5 900-9898	平成11年10月	9,468㎡	4,993㎡	鉄骨 鉄筋	常設展示室、企画展示室、テーマ展示室、ガイダンスホール、創作アトリエ、情報コーナー、収蔵庫、シンボルタワー「母の塔」他	
大山街道 ふるさと館	高津区溝口 3-13-3 813-4705	平成4年8月	636.27㎡	1,092.03㎡	鉄骨 鉄筋	展示室、イベントホール、第1・2会議室、和室他	
東海道かわさき 宿交流館	川崎市本町 1-8-4 280-7321	平成25年10月	655㎡	1,013㎡	鉄骨	展示室、休憩・交流スペース 第1・2集会室、談話室	
とどろきアリーナ	中原区等々力 1-3 798-5000	平成7年8月	20,564.51㎡	21,677.61㎡	鉄骨 鉄筋	メインアリーナ、サブアリーナ、トレーニング室、体育室、研修室、スポーツ情報コーナー他	
カルッツかわさき	川崎市富士見 1-1-4 222-5211	平成29年10月	13,230㎡	25,423.9㎡ (文化施設含む)	地上 鉄骨 地下 鉄筋	大体育室、小体育室、武道室2、研修室2、弓道場、トレーニング室、ホール(定席2,013)、アクトスタジオ、音楽練習室2、大会議室4、中会議室3、小会議室1	
川崎市幸 スポーツセンター	幸区戸手本町 1-11-3 555-3011	昭和60年6月	8,376.51㎡	3,528.44㎡	鉄骨 鉄筋	大体育室、小体育室、研修室3、トレーニング室、ロビー他	
川崎市高津 スポーツセンター	高津区二子 3-15-1 813-6531	平成9年7月	8,075.2㎡	4,572.18㎡	鉄骨 鉄筋	大体育室、小体育室、武道室2、研修室、トレーニング室、健康体力相談室、ストレッチルーム、ユニバーサル広場他	
川崎市宮前 スポーツセンター	宮前区犬蔵 1-10-3 976-6350	平成18年4月	4,033.35㎡	3,991.01㎡	鉄骨 鉄筋	大体育室、小体育室、トレーニング室、研修室2、区民サロン他	
川崎市多摩 スポーツセンター	多摩区菅北浦 4-12-5 946-6030	平成23年3月	屋内施設 4,747.15㎡ 屋外施設 約20,000㎡	7,048.55㎡	鉄骨 鉄筋	大・小体育室、武道室2、ランニングコース、屋内温水プール、トレーニング室、アーチェリー練習場、研修室、軟式野球場、テニスコート他	
川崎市麻生 スポーツセンター	麻生区上麻生 3-6-1 951-1234	昭和61年6月	4,290.48㎡	3,728.67㎡	鉄骨 鉄筋	大体育室、小体育室、武道室2、研修室、トレーニング室、健康体力相談室他	

施設名	所在地・TEL	設立年月	敷地	延床面積	構造	主な施設
石川記念武道館	幸区下平間 357 544-0493	昭和51年12月	1,017.2 m ²	1,002.747 m ²	鉄骨 鉄筋	柔道場、剣道場、ロビー他
ふれあい館 桜本こども文化 センターと併設	川崎区桜本 1-5-6 276-4800	昭和63年6月	869.52 m ²	630 m ² 内こども文化 センター330 m ²	鉄筋	会議室2、学習室、和室文化交流室、資料室 他
生涯学習プラザ 生涯学習財団 総務室 事業推進室	中原区今井南 町28-41 733-5560 733-6626	平成3年1月 財団設立 平成17年4月 名称変更	1,999.272 m ²	3,356.33 m ²	鉄筋	会議室3、活動室、研修室、多目的ルーム、フィットネスルーム、実習室、事務室他
八ヶ岳少年 自然の家	長野県諏訪郡 富士見町境字 広原 12067-482 0266-66-2011	昭和52年8月	356,691.41 m ²	9,980.80 m ²	鉄筋 木造	センターハウス：プレイホール、食堂、会議室、事務室 宿泊棟：集会室、研修室、浴室、宿泊室
青少年の家	宮前区宮崎 105-1 888-3588	昭和38年4月 昭和63年7月 改築	9,811.09 m ²	4,569.41 m ²	鉄筋	研修室棟：プレイホール、オリエンテーションホール、音楽室、創作活動室、食堂、研修室、事務室他 宿泊棟：宿泊室、浴室
黒川青少年野外 活動センター	麻生区黒川 313-9 986-2511	平成3年8月	16,120.79 m ²	998.67 m ²	鉄骨	宿泊室、集会室、厨房、工作室、野外炊事場、グラウンド他
子ども夢パーク	高津区下作延 5-30-1 811-2001	平成15年7月	9,871.76 m ²	1,827.57 m ²	鉄骨 鉄筋	全天候広場、スタジオ2、学習交流・創作・屋根裏スペース、サイクリングロード 他
有馬・野川生涯学 習支援施設(アリー ノ)	宮前区東有馬 4-6-1 853-3737	平成21年5月	1,452.21 m ²	1,607.98 m ²	鉄筋	集会室、学習室3、教養室3、フリースペース、グループ室2 児童室、グループ学習室、地域図書室 他

社会教育要覧 No. 68

令和3（2021）年 8月発行

編集 川崎市教育委員会事務局
生涯学習推進課

発行 川崎市教育委員会
川崎市川崎区宮本町6
電話 044(200)3303